

平成 27 年版

# 消 防 年 報



厚 木 市 消 防 本 部

# は じ め に

この年報は、平成 26 年度（一部 26 年）中における厚木市消防の消防概要を収録したもので、消防防災行政を広く紹介することを目的に編集しました。本書を地域防災活動の推進の参考として御活用いただき、消防行政に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 8 月

厚木市消防本部

# 目 次

## 【市と消防の概要】

### 厚木市の市勢

1 位置及び地勢	1
2 面積・人口・世帯数	2
3 人口の推移	2

### 消防の概要

1 常備消防のあゆみ	3
2 消防現勢（常備）	11
(1) 消防本部・署（分署）配置図	11
(2) 常備消防力の基準	11
(3) 消防庁舎概要	12
(4) 消防の機構図	13
(5) 消防職員配置状況	14
(6) 本部・署車両配置状況	15
(7) 消防車両種類別内訳	17
3 消防予算	18
(1) 消防費前年度比較	18
(2) 消防費財源内訳	18
(3) 年度別市当初予算と消防費の比較	18
(4) 消防費と人口の比較	18

## 【総 務】

### 消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調	19
2 消防職員階級別年齢調	20
3 消防職員免許等取得状況	21
4 消防職員採用・退職状況	22
5 消防職員年度別公務災害発生状況	22
6 人事事務	23
7 衛生管理	23
8 表彰	23
9 教育・研修	24
(1) 派遣研修	24
(2) 教養研修会等	24
(3) 現地教養訓練	24

## 消防施設

1	施設整備	25
2	水利状況	26
	(1) 地区別消防水利設置状況	26
	(2) 耐震性貯水槽の設置状況	27

## 消防車両

1	消防車両更新状況	28
2	消防車両整備の概要	28

## 【火災予防】

1	火災予防運動	29
	(1) 秋季火災予防運動	29
	(2) 春季火災予防運動	29
2	防火管理講習	30
	(1) 防火管理講習の実施状況	30
	(2) 年度別防火管理講習修了証交付状況	30
3	防火管理者等調	31
4	消防法・火災予防条例に基づく届出処理状況	32
5	防火対象物定期点検報告制度	32
6	幼稚園児、小学生の消防署見学の推移	33
7	雑草地の指導	34
8	初期消火協力の推進	34
9	消防同意事務等	35
	(1) 過去10年間の同意件数	35
	(2) 月別同意件数	35
	(3) 地区別及び用途別同意件数	36
10	防火対象物状況	37
11	高層建築物の状況	38
	(1) 高層建築物	38
	(2) 主な高層建築物	38
	(3) 地区別・中高層建築物数	39
12	消防用設備等着工・設置届出状況	39
13	立入検査実施状況	40
14	予防広報映画フィルム所有一覧	40
15	危険物施設	42
	(1) 危険物	42
	(2) 本市の状況	42
	(3) 過去10年間の危険物施設の推移	42
16	地区別危険物施設	43

17	危険物施設等立入検査状況	43
18	危険物施設の事務処理状況	44
19	少量危険物届出状況	44
20	危険物手数料	45
	(1) 手数料納入額	45
	(2) 過去10年間の危険物手数料の推移	45

## 【警 防】

### 火災の概要

1	火災種別死傷者発生調	46
2	火災概況調	46
3	過去10年間の火災件数	47
4	主要火災原因年別累年比較調	47
5	損害見積額累年比較調	48
6	全国・県・市火災発生状況調	48
7-1	月別・曜日別火災発生状況(その1)	49
7-2	月別・曜日別火災発生状況(その2)	50
8-1	時刻別火災発生状況(その1)	51
8-2	時刻別火災発生状況(その2)	52
9	月別原因別火災発生状況	53
10-1	原因別火災発生状況(その1)	54
10-2	原因別火災発生状況(その2)	55
11	月別用途別火災発生状況	56
12-1	地区別火災発生状況(その1)	57
12-2	地区別火災発生状況(その2)	58
13	月別覚知別火災発生状況	59
14	月別気象別火災発生状況	60
15	曜日別累年火災発生件数調	61
16	月別火災件数の比較調	61
17	風向と火災件数	62
18	消防相互応援件数(火災)	62
19	昭和35年以降の主な火災	63

### 指令・通信の概要

1	通信業務	64
	(1) 119番受信状況	64
	(2) 月別119番受信状況	64
	(3) 119番受信状況の推移	64
	(4) 指令係各種機器の現況	64
2	消防通信系統図	66

## 気 象

1 厚木市の気象状況	67
(1) 天候	67
(2) 気温	67
(3) 相対湿度	67
(4) 風向・風速	67
2 気象通報発令状況調	68
3 累年降雨量調	69

## 消防署部隊の出動・訓練概要

1 月別部隊出動状況	70
2 月別部隊訓練状況	70

## 【救 急】

### 救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制	71
2 応急手当普及啓発活動	71

### 救急活動

1 救急活動の概要	72
2 救急活動累年比較調	73
3 月別救急活動調	74
4 署所別救急活動調	75
5 月別覚知別救急件数調	76
6 曜日別救急件数調	76
7 年齢別搬送人員調	77
8 傷病程度別搬送人員調	77
9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調	78
10 救急隊員の行った応急処置件数調	78
11 一般市民の行った応急手当件数調	78
12 発生地区別救急件数調	79
13 時間別救急件数調	80
14 救急相互応援件数	80
15 救急支援出動件数	81
16 派遣型救急ワークステーション医師同乗出動	81

## 【救 助】

### 救助活動の概要

1	救助出動状況調	82
(1)	救助出動件数	82
(2)	地区別救助出動件数	82
(3)	消防相互応援件数(救助)	83
(4)	救助出動の推移	83
(5)	主な人命救助活動	84
2	救助技術の強化	84
3	救助関係主要機械器具等一覧表	85

## 【消防団と古式消防保存会】

### 消防団

1	厚木市消防団のあゆみ	86
2	消防団事務	90
(1)	公務災害補償	90
(2)	退職消防団員に対する報償	90
(3)	表彰	90
(4)	消防団員教養訓練等	90
3	福利厚生	91
(1)	消防団員健康診断	91
4	消防操法	91
5	消防団組織と現勢	92
6	消防団施設配置図	93
7	産業別消防団員調	94
8	消防団員退職状況	94
9	退職報償金年度別及び階級別支払状況	95
10	階級別年齢調	95
11	階級別勤務年数調	96
12	消防団員年度別公務災害発生状況	96
13	消防団員報酬	97
14	消防団員費用弁償	97
15	消防団出動状況	97
16	消防団施設一覧表	98
17	消防団車両保有状況	101
18	水防・資材倉庫施設一覧表	103

### 古式消防保存会

1	古式消防保存会のあゆみ	104
2	組織図	104

# 市と消防の概要





# 厚木市の市勢

## 1 位置及び地勢

方位	経度	地名	方位	緯度	地名
極東	東経 139° 22' 57"	下依知	極北	北緯 35° 31' 30"	上依知
極西	東経 139° 13' 54"	七沢	極南	北緯 35° 23' 30"	戸田

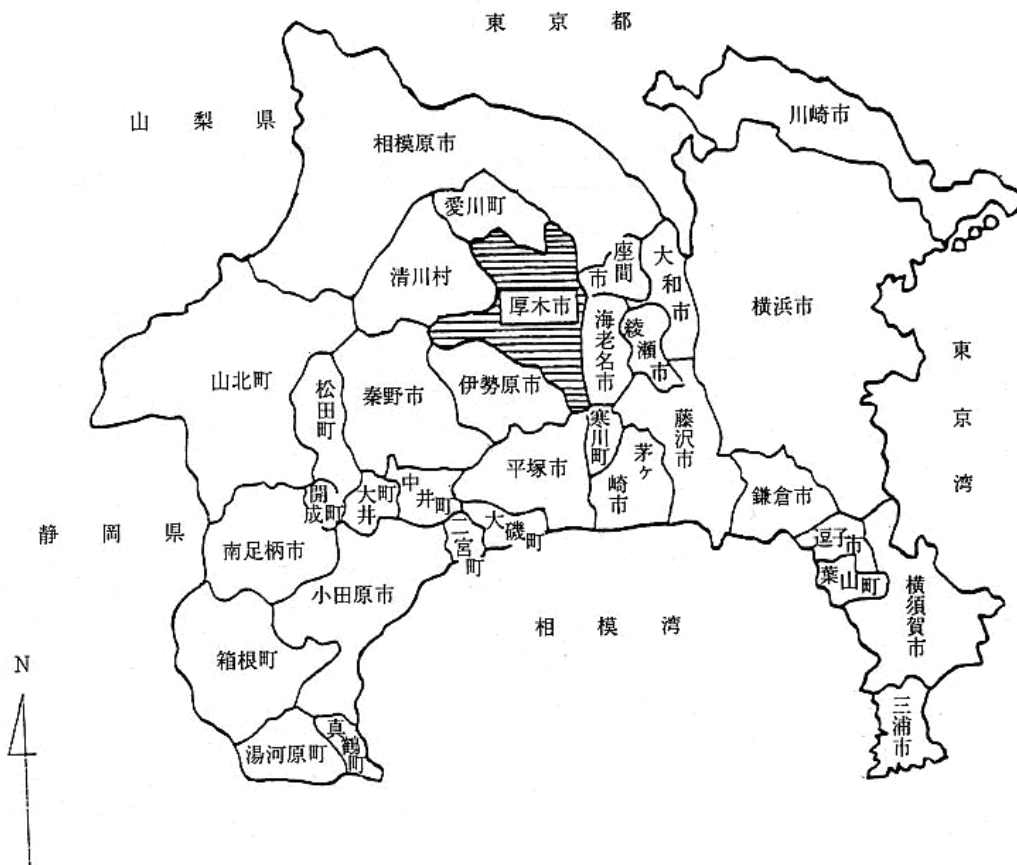
厚木市は、神奈川県中央に位置し、西に大山を境に秦野市、西から北にかけて愛甲郡清川村、愛川町に、北から東にかけては相模川をはさみ相模原市、座間市、海老名市、高座郡寒川町に、また南は平塚市、伊勢原市と6市2町1村に接している。

地勢は、西北から東南に緩やかに傾斜し、西部及び西北部は山岳地帯で数系の小山脈が南北に走っている。ことに西部においては霊峰阿夫利の峰大山がそびえ、丹沢山塊へ無限に連なっている。

市の東部は、遠く富士五湖の一つである山中湖に源を発する相模川の清流が南北に貫通し、これに併流する中津川、そして小鮎川、これら河川の流域に平野が開けている。

東西 13.76 キロメートル、南北 14.71 キロメートルの扇形に近い地形で、面積 93.84 平方キロメートルを有している。

市街地は、三河川の合流点の右岸に位置し、文化、産業、交通の要衝で東京へ 46 キロメートル、横浜へ 32 キロメートルという地理的条件に恵まれている。



## 2 面積・人口・世帯数

(平成27年4月1日現在)

区分 地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口			世帯数 (世帯)	1 km <sup>2</sup> の密度	
		計(人)	男(人)	女(人)		世帯数(世帯)	人口(人)
計	93.84	224,958	116,127	108,831	99,562	1,061	2,397
厚 木	3.597	32,624	16,809	15,815	16,552	4,602	9,070
依 知	13.952	31,545	16,578	14,967	13,847	992	2,261
睦 合	10.195	41,750	21,456	20,294	17,968	1,762	4,095
荻 野	17.276	26,662	13,576	13,086	11,024	638	1,543
小 鮎	13.376	14,777	7,627	7,150	6,281	470	1,105
南毛利	10.377	49,571	25,760	23,811	21,764	2,097	4,777
玉 川	18.223	10,349	5,141	5,208	4,164	229	568
相 川	6.316	14,071	7,440	6,631	6,265	992	2,228
緑ヶ丘	0.518	3,609	1,740	1,869	1,697	3,276	6,967

(住民基本台帳人口)

## 3 人口の推移

(各年4月1日現在)

年 別	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
18	90,028	222,826	116,401	106,425
19	91,183	223,530	116,756	106,774
20	93,056	225,213	117,818	107,395
21	94,446	226,077	118,267	107,810
22	94,534	225,242	117,603	107,639
23	92,676	223,966	116,542	107,424
24	93,513	224,038	116,534	107,504
25	94,366	224,415	116,666	107,749
26	95,641	224,700	116,705	107,995
27	96,617	224,749	116,793	107,956

(平成22年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口)

## 消防の概要

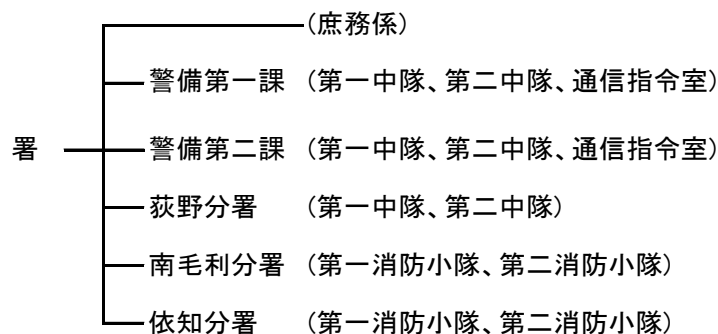
### 1 常備消防のあゆみ

昭和35年1月14日午後9時35分ごろ、中央商店街の料亭「末広」から出火した火災で8棟を全半焼（6世帯）し、繁華街で、国道に面した現場は、交通がマヒし大混乱となった。

この火災を契機として、常備消防設置の気運が一層高まり、同年3月25日「厚木市消防審議会」が設置され、同年8月の臨時市議会で部課設置条例を改正し「総務課消防係」を「消防課」に昇格、新規採用12名の消防職員を県消防学校に派遣し、卒業を待って、同年12月1日消防常備隊が発足した。

昭和35. 12. 1	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し消防職員19名をもって消防常備隊発足
昭和36. 6. 2	横浜市在住 福住喜代治氏から救急自動車1台寄贈される
昭和36. 6. 3	救急業務開始
昭和37. 1. 24	親子型消防ポンプ自動車1台購入
昭和37. 8. 6	指令車1台購入
昭和37. 10. 26	消防用中短波無線機（基地局1基 移動局5基2120KC）設置
昭和37. 11. 1	中型消防ポンプ自動車1台購入
昭和38. 4. 1	消防本部及び消防署設置 初代消防長 石川正治 就任 (1)組 織 署長以下42名 (2)設 備 水槽付消防ポンプ自動車1台 親子型消防ポンプ自動車1台 中型消防ポンプ自動車1台 救急自動車1台 (3)場 所 厚木市元町9-3
昭和39. 6. 10	救急自動車1台購入
昭和40. 6. 30	救助自動車1台購入
昭和40. 7. 10	特命救助隊編成（消防士長2名 消防士10名）
昭和41. 4. 1	第2代消防長 小林文雄 就任
昭和41. 8. 10	消防用超短波無線電話機（152.81MC）基地局1基 移動局13基に切替える
昭和41. 10. 1	厚木市消防署吹奏楽部発足
昭和41. 10. 29	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和43. 2. 20	救急自動車1台購入
昭和43. 4. 1	厚木市消防音楽隊発足 隊員以下19名
昭和43. 5. 20	庁用車1台購入
昭和45. 11. 24	広報車1台購入
昭和46. 4. 1	消防副士長制度採用
昭和46. 12. 27	指令車1台購入
昭和47. 2. 26	化学消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 3. 31	親子式消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 6. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を107名に改定
昭和47. 7. 1	厚木市消防庁舎落成 厚木市消防署の組織改革により第1警備隊、第2警備隊を設置 郵政省令の改正に基づき消防狭帯化（150.07MC）基地局1基、移動局13基に切替える

昭和47.	11. 4	はしご付消防ポンプ自動車（24m級） 1 台購入
昭和48.	3. 30	作業車 1 台購入
昭和48.	10. 5	第3代消防長 高崎正男 就任
昭和48.	11. 16	連絡車 1 台購入
昭和49.	1. 22	消防専用超短波無線電話機（救急波腹信方式147.76MHz）基地局 1 基、移動局 3 基設置
昭和49.	4. 1	消防本部機構改革に伴い課制を施行し警防課に危険物係を設置 ・庶務課（庶務係、装備係）・警防課（予防係、警防係、危険物係）
昭和50.	1. 7	消防ポンプ自動車 1 台購入
昭和50.	2. 7	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1 台寄贈される
昭和50.	4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を109名に改定
昭和51.	3. 31	日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈される
昭和51.	11. 20	厚木市消防音楽隊の組織改革により、厚木市消防音楽隊の定数を28名に改定 隊長 1 名 副隊長 2 名 楽長 1 名 隊員 24 名
昭和51.	12. 22	指揮車 1 台購入
昭和52.	4. 1	厚木市消防署荻野分署設置 消防隊、救急隊を配置
昭和53.	4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を123名に改定
昭和53.	12. 19	消防ポンプ自動車 1 台購入
昭和54.	4. 1	第4代消防長 柳谷由雄 就任 厚木市消防署南毛利分署設置
昭和54.	10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を133名に改定
昭和54.	12. 1	厚木市消防音楽隊再編成 隊員11名
昭和54.	12. 13	消防ポンプ自動車 1 台購入
昭和55.	3. 17	救急自動車 1 台購入
昭和55.	4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を137名に改定 厚木市消防署依知分署設置 消防本部署機構改革 消防本部 総務課（管理係、装備係） 警防課（予防係、警防係、危険物係）



昭和55.	7. 1	清川村の救急業務実施（応援協定に基づくもの）
昭和55.	11. 23	常備消防発足20周年式典を厚木一番街空地において実施
昭和56.	3. 27	指令車 1 台購入
昭和56.	4. 1	第5代消防長 原川久雄 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を145名に改定
昭和56.	7. 1	第6代消防長 飯塚和生 就任 消防本部機構改革により地震対策室を設置する 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を161名に改定
昭和56.	9. 29	救急自動車 1 台購入
昭和56.	10. 1	厚木市消防署南毛利分署に救急隊を配置、救急業務を開始
昭和57.	4. 1	消防ポンプ自動車 1 台購入 厚木市消防署相川分署設置 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を166名に改定
昭和58.	3. 7	はしご付消防自動車（41m級） 1 台購入
昭和58.	4. 1	第7代消防長 村上勝 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を182名に改定 消防署機構改革 荻野分署に梯子小隊を配置し、署員を25名とする 消防テレホンサービス業務開始
昭和58.	6. 10	消防用気象観測装置 FWS-7910ED 設置
昭和59.	4. 1	厚木市消防署小鮎分署設置 消防署庶務係に査察担当（2名）配置 市機構改革により地震対策室を防災対策室と名称を変更し市長部局に組み入れる
昭和59.	7. 28	資材運搬車 1 台購入
昭和59.	12. 15	照明付救助工作車 1 台購入 火災救急指令検索装置 1 台購入
昭和60.	3. 10	119番録音装置 1 台購入
昭和60.	4. 1	消防本部警防課に査察係を設置
昭和60.	12. 3	軽作業トラック 1 台購入
昭和61.	4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を186名に改定
昭和61.	7. 1	第8代消防長 高橋卯平 就任
昭和62.	2. 13	通信指令室を3階に移転すると共に、電子式一斉指令装置を導入して指令体制の充実を図り、本署、各分署にファクシミリを設置する
昭和62.	2. 18	救急車 1 台購入
昭和62.	2. 20	広報用としてミニ消防自動車 1 台購入
昭和62.	3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から竿頭綬を受賞
昭和62.	4. 1	消防本部の機構改革に伴い予防課を設置すると共に、署指令室を指令係に名称を変更し、本部警防課に組み入れ本部を3課8係とする また、依知分署に救急隊を配置、救急業務を開始

昭和62.	7. 1	第9代消防長 村上勝 就任
昭和62.	7. 1	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和62.	9. 28	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和63.	1. 5	はしご付消防自動車（12m級）1台購入
平成元.	7. 1	消防署機構改革 相川、小鮎分署を課相当へ昇格 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を219名に改定
平成元.	8. 5	査察車1台購入
平成2.	4. 1	第10代消防長 北条昌彦 就任
平成2.	10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を233名に改定
平成2.	11. 6	救急自動車2台購入（1台更新）
平成2.	11. 9	常備消防発足30周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成2.	11. 20	連絡車1台購入
平成3.	3. 14	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成3.	3. 18	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成3.	3. 25	水難救助艇及びトレーラー1台購入
平成3.	4. 1	厚木市消防署相川分署に救急隊を配置、救急業務を開始 厚木市消防署小鮎分署にはしご小隊を配置 厚木市消防署睦合分署設置（消防訓練場併設）
平成3.	4. 17	救急自動車に自動車電話を設置
平成3.	5. 1	第11代消防長 三橋知光 就任
平成3.	5. 21	第12代消防長 伊藤悟 就任
平成3.	9. 13	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈される
平成3.	10. 31	査察車1台購入
平成4.	3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から表彰旗を受賞
平成4.	3. 13	消防ポンプ自動車1台購入
平成4.	4. 1	第13代消防長 齋藤健一 就任
平成4.	7. 11	厚木市消防署玉川分署設置（東丹沢七沢観光案内所との複合施設）
平成4.	11. 16	救急救命士誕生
平成4.	12. 22	地図検索装置一式購入（更新）
平成5.	1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を240名に改定
平成5.	4. 1	第14代消防長 藤井信義 就任
平成5.	9. 21	揚州市消防隊員来厚、消防施設・設備を視察
平成6.	3. 17	高規格救急自動車1台購入
平成6.	4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を244名に改定
平成6.	7. 27	財団法人日本消防協会から普通小型乗用車1台寄贈される
平成7.	1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を246名に改定
平成7.	1. 18	阪神・淡路大震災の被災地に救助工作車1台及び隊員延べ15人を派遣し救助活動を実施
平成7.	3. 31	はしご付消防自動車（30m級）1台購入

平成7. 7. 1	消防署機構改革 厚木市消防署を厚木市厚木消防署と名称変更するとともに、厚木市消防署荻野分署を署に格上げし、厚木市北消防署と改め、1署7分署体制から2署6分署体制とする
平成7. 9. 20	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈される
平成7. 12. 29	元消防長 三橋知光氏 叙位・死亡叙勲 従五位・勲五等双光旭日章を賜る
平成8. 2. 16	消防ポンプ自動車1台購入
平成8. 4. 1	本部・署組織の一部を名称変更 (旧) (新) 総務課 → 消防総務課 総務課管理係 → 消防総務課消防総務係 庶務係 → 管理係
平成8. 5. 1	119番回線バックアップシステム設置
平成8. 11. 26	消防ポンプ自動車2台購入
平成9. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成9. 4. 1	第15代消防長 霜島榮 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を249名に改定 消防署機構改革 厚木市厚木消防署及び厚木市北消防署にそれぞれ指揮班を配置
平成10. 1. 20	高規格救急自動車1台購入
平成10. 2. 5	消防ポンプ自動車1台購入
平成10. 4. 1	第16代消防長 落合次郎 就任
平成10. 11. 6	消防本部庁舎望楼解体
平成11. 3. 10	救助工作車1台購入
平成11. 4. 1	本市初の女性消防吏員3名採用
平成11. 6. 20	厚木市北消防署新庁舎建設工事着手
平成12. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成12. 3. 3	消防ポンプ自動車1台購入
平成12. 4. 1	第17代消防長 土屋茂 就任
平成12. 10. 1	第18代消防長 山口正男 就任
平成12. 11. 3	厚木市北消防署新庁舎完成
平成12. 11. 15	消防本部庁舎耐震補強・改修工事完了
平成12. 12. 18	高規格救急自動車1台購入
平成13. 1. 25	救助支援車1台購入
平成13. 2. 1	自動車電話・携帯電話119番受信業務を開始
平成13. 6. 21	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 1. 31	消防ポンプ自動車1台購入
平成14. 4. 1	第19代消防長 小島一郎 就任
平成14. 6. 1	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信の運用開始
平成14. 6. 6	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 9. 1	厚木市火災予防査察規程改正
平成15. 2. 20	高規格救急自動車1台購入
平成15. 2. 20	NBC災害用資機材の整備 (除染シャワー等) 防災資機材運搬車2台・高規格救急自動車1台購入

平成15.	3 . 1	厚木市雑居ビル防火安全対策連絡協議会設置
平成15.	3 . 13	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成16.	1 . 29	高規格救急自動車1台購入
平成16.	2 . 25	屈折はしご付消防自動車(15m級)1台購入
平成16.	4 . 1	第20代消防長 平本菊一 就任
平成16.	7 . 9	元消防署長 葉山英雄氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝双光章を賜る
平成16.	8 . 1	高機能消防通信指令システムの導入
平成16.	12 . 9	高規格救急自動車1台購入
平成16.	12 . 16	緊急消防援助隊派遣都市として消防本部が消防庁長官より褒状を受賞
平成17.	2 . 16	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成17.	4 . 1	第21代消防長 鈴木太平 就任 消防本部・消防署機構改革 予防課予防係と査察係を統一し、予防査察係に名称変更 厚木消防署及び北消防署の指揮班を指揮第一担当・指揮第二担当に名称変更
平成17.	9 . 22	救急二輪車2台購入
平成17.	9 . 28	防災資機材運搬車1台購入
平成17.	11 . 1	救急二輪車2台の運用開始
平成17.	11 . 3	元北消防署副署長 井上雅由氏 第5回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成17.	11 . 7	厚木さつきライオンズクラブから自転(マウンテンバイク)8台寄贈される
平成18.	2 . 27	消防ポンプ自動車1台購入
平成18.	2 . 28	高規格救急自動車1台購入
平成18.	4 . 29	元厚木消防署相川分署長 飯塚勝美氏 第6回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成18.	12 . 5	救助工作車1台購入
平成19.	2 . 26	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成19.	4 . 1	第22代消防長 柏木孝之 就任 携帯電話・IP電話等からの119番通報に係る位置情報通知システムの運用開始(平成18年度総務省実証実験後) 北消防署管内の救助業務を消防隊が開始(消防隊兼務)
平成19.	10 . 9	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により初任の教育訓練を受けている消防吏員を消防職員の定数に含まないことに改定
平成19.	11 . 3	元北消防署長 金井光富氏 第9回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成19.	12 . 28	元相川分署中隊長兼消防小隊長 内田昇氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成20.	2 . 27	高規格救急自動車1台購入
平成20.	4 . 1	第23代消防長 小瀬村恒男 就任 消防本部機構改革 消防本部警防課から救急救命担当を分離し救急救命課を設置する
平成20.	4 . 29	元北消防署副署長 清水忠良氏 第10回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成20.	8 . 10	元消防長 霜島榮氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝小綬章を賜る
平成20.	11 . 3	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 第11回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成21.	1 . 15	消防ポンプ自動車1台購入
平成21.	2 . 19	高規格救急自動車1台購入
平成21.	4 . 1	北消防署睦合分署に日勤救急隊を配置、救急業務を開始



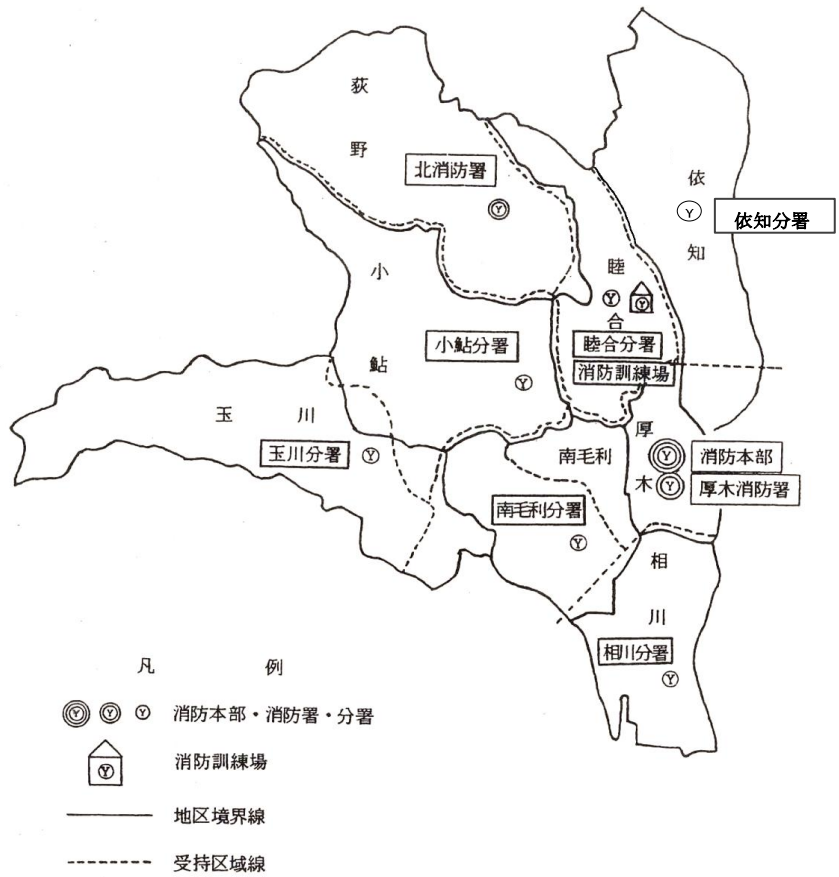
平成21. 7. 23	元相川分署長 井上涼一氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成21. 10. 7	北消防署依知分署建替えに伴う仮庁舎（旧依知公民館）への移転完了
平成22. 2. 8	高規格救急自動車1台購入
平成22. 3. 3	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成22. 3. 25	元消防本部次長 守屋英和氏 叙位・死亡叙勲 従六位・瑞宝双光章を賜る
平成22. 4. 1	第24代消防長 落合俊雄 就任
平成22. 4. 20	元副小隊長 平井俊氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成22. 4. 29	元消防長 藤井信義氏 春の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成22. 6. 1	住宅用火災警報器設置推進対策本部の設置
平成22. 11. 3	元防災担当部長 坂上鎮徳氏 第15回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成22. 12. 1	常備消防発足50周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成22. 12. 31	元消防本部参事 潮田博之氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝双光章を賜る
平成23. 2. 28	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成23. 3. 7	高規格救急自動車1台購入
平成23. 4. 1	第25代消防長 飯島悟 就任
	消防本部機構改革
	消防総務課装備係を警防課装備係に改める
	北消防署睦合分署の日勤救急隊を当直救急隊とする
平成23. 4. 29	元厚木消防署長 山崎正氏 第16回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成23. 8. 10	元北消防署警備第二課課長代理兼第一中隊長 三橋征男氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成23. 11. 3	元消防長 山口正男氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成23. 11. 3	元睦合分署長 長嶋義明氏 第17回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成23. 11. 9	厚木市大規模災害サポート隊発足
平成23. 12. 24	元小鮎分署長 高塚雅夫氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成24. 1. 30	高規格救急自動車1台購入
平成24. 2. 2	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 3. 8	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 3. 23	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 4. 1	消防本部機構改革
	消防本部警防課から指令担当を分離し、指令課を設置する
平成24. 4. 1	元北消防署警備第二課長 門倉正男氏 叙位・死亡叙勲 従七位・瑞宝単光章を賜る
平成24. 4. 5	モンゴル国へ消防車・救急車を寄贈
平成24. 4. 29	元厚木消防署長 安藤勉氏 第18回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成24. 11. 9	元北消防署長 永島優氏 第19回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25. 3. 6	高規格救急自動車1台購入
平成25. 3. 19	消防ポンプ自動車1台購入
平成25. 4. 1	厚木消防署に救急隊を1隊増隊
平成25. 4. 8	派遣型救急ワークステーション運用開始
平成25. 4. 29	元厚木消防署副署長 小島澄夫氏 第20回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25. 10. 10	元相川分署中隊長兼消防小隊長 原田義秋氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成25. 11. 3	元消防長 小島一郎氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る

平成25. 11. 3	元北消防署参事兼依知分署長 岡山正男氏 第21回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成25. 11. 3	元北消防署参事兼依知分署長 島村長幸氏 第21回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成25. 11. 29	厚木・清川消防広域化協議会を設置
平成25. 12. 25	救助工作車1台購入
平成26. 2. 7	高規格救急自動車1台購入
平成26. 3. 16	厚木市北消防署依知分署新庁舎完成
平成26. 4. 1	第26代消防長 朝倉國夫 就任
平成26. 4. 16	厚木・清川消防広域化協議会にて、「厚木・清川広域消防運営計画」及び「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」を合意
平成26. 4. 29	元北消防署睦合分署長 高部智氏 第22回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成26. 6. 30	厚木市長と清川村長が「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」を締結
平成26. 11. 1	厚木市市民救命サポート隊発足
平成26. 11. 3	元北消防署副署長兼小鮎分署長 小塩稔氏 第23回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成27. 2. 18	高規格救急自動車1台購入
平成27. 4. 1	第27代消防長 山田茂穂 就任



## 2 消防現勢(常備)

### (1) 消防本部・署(分署)配置図



### (2) 常備消防力の基準

ここにあげた数字は、平成20年消防庁告示第2号の規定に基づき、人口密度・建築物の構造により定められた本市の必要とする消防力の比較を表示したものです。

(平成27年4月1日現在)

区 分		基準消防力 (非常用を除く)	現有消防力 (非常用を除く)	基準に対する過不足
消 防 機 材	ポンプ自動車	12	10	△ 2
	はしご車	2	2	0
	化学車	2	2	0
	救急車	8	7	△ 1
	救助工作車	2	2	0
人 員	消 防 職 員	295 (現有台数に対する基準)	235	△ 60

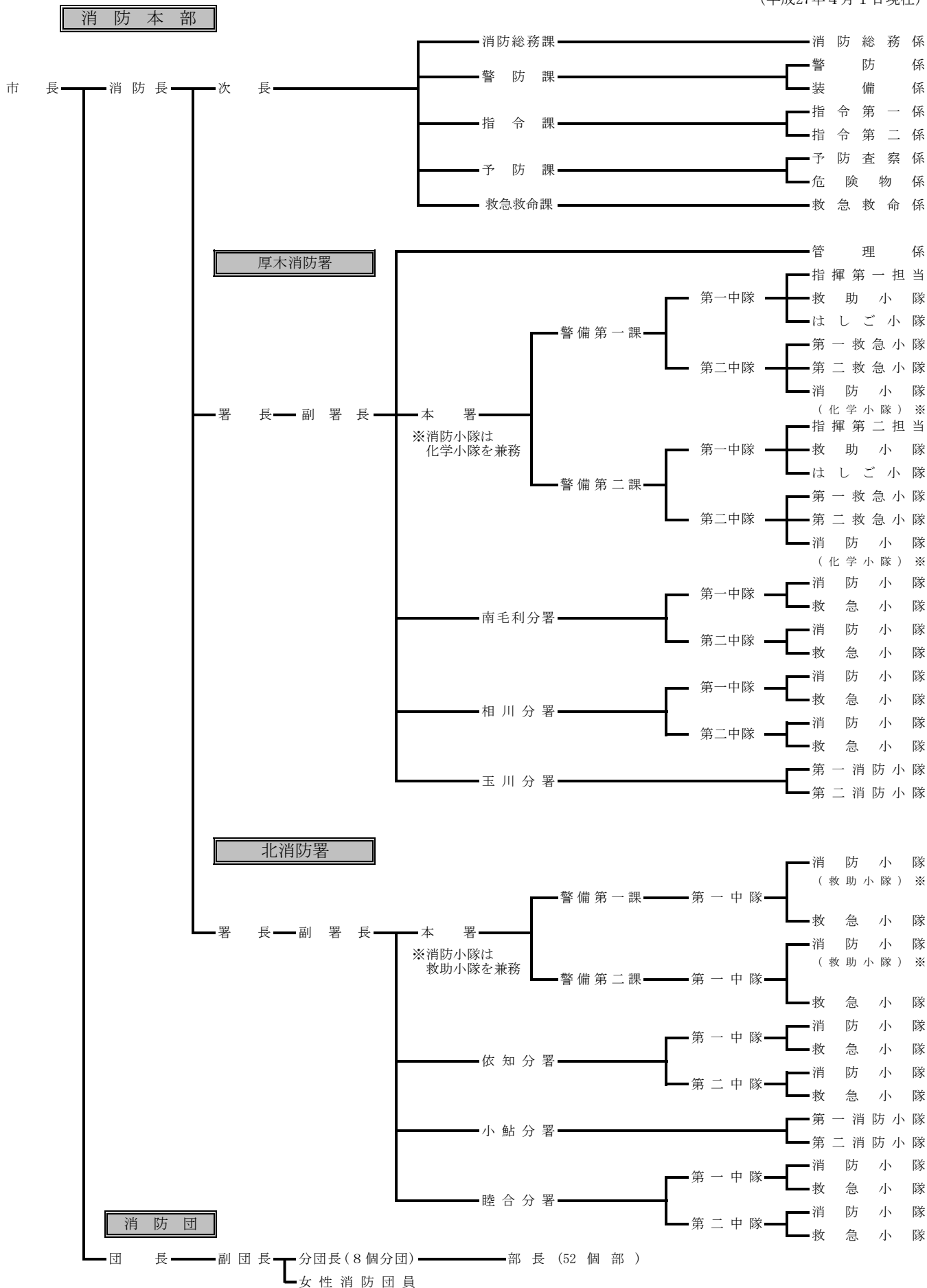
- ※1 人員には、神奈川県消防学校初任教育生（条例定数外）は含まない。  
2 △印は不足を表す。

## (3) 消防庁舎概要

本部署別		区分	所在地・電話番号	竣工年月日	構造	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )	管轄面積 (Km <sup>2</sup> )	管轄区域
厚木消防署	消防本部		寿町3-4-10		RC造 地下1階地上3階					下記以外の地域
	本署		☎ 046-221-2331 FAX 046-223-8251	昭和47年7月1日	訓練棟RC造 地上3階	2,248.232	793.796	2,070.18	9.36	
	南毛利分署		長谷1574-3 ☎ 046-248-2988 FAX 046-247-5641	昭和54年4月1日	RC造 平屋建	750.22	256.17	250.53	8.15	愛名 温水の一部 温水西(1~2) 船子の一部 長谷 愛甲の一部 愛甲(1~4) 愛甲西(1~3) 毛利台(1~3) 小野の一部 岡津古久の一部 森の里若宮
	相川分署		酒井1417-1 ☎ 046-228-0119 FAX 046-228-5221	昭和57年4月1日	RC造 平屋建	1,074.20	365.31	360.40	7.77	南町 温水の一部 船子の一部 愛甲の一部 愛甲東(1~3) 岡田 岡田(1~5) 酒井 戸田 下津古久 上落合 長沼
玉川分署		七沢751-1 ☎ 046-250-0119 FAX 046-250-9398	平成4年7月11日	RC造 2階建	2,583.08 (観光案内所含)	425.32	1,008.01	15.48	七沢 小野の一部 岡津古久の一部 森の里(1~5)	
北消防署	本署		下荻野135-1 ☎ 046-241-6111 FAX 046-241-3871	平成12年11月3日	RC造 2階建	2,400.95	936.60	1,626.76	18.58	及川の一部 上荻野 中荻野 下荻野の一部 鳶尾(1~5) まつかげ台 みはる野(1~2)
	依知分署		関口869-1 ☎ 046-245-0119 FAX 046-245-4281	平成26年3月16日	RC造 2階建	1,034.26	407.67	625.06	12.66	上依知 猿ヶ島 山際 関口 中依知 下依知 金田の一部 下川入 棚沢の一部
	小鮎分署		飯山3481-1 ☎ 046-247-0857 FAX 046-247-9491	昭和59年4月1日	RC造 2階建	1,322.00	375.37	443.38	14.96	飯山 上古沢 下古沢 宮の里(1~4) 温水の一部 緑ヶ丘(1~5) 森の里青山
	睦合分署		三田1475-1 ☎ 046-241-2119 FAX 046-241-3165	平成3年4月1日	RC造 2階建	5,998.60 (消防訓練場含)	704.21	945.62	6.87	棚沢の一部 三田 三田南(1~3) 及川の一部 及川(1~2) 妻田の一部 妻田北(1~4) 妻田西(2~3) 下荻野の一部

(4) 消防の機構図

(平成27年4月1日現在)



## (5) 消防職員配置状況

(平成27年4月1日現在)

階級等		計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員	
所属別												
合 計		235 (249)	1	3	19	40	80	28	49	12 (26)	3	
消 防 本 部		42 (56)	1	1	5	10	15	3	4	0 (14)	3	
消 防 長	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
次 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
消防総務課	6	消防総務係	6	-	-	1	-	1	1	-	(14)	3
警 防 課	6	警防係	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-
		装備係	3	-	-	-	1	1	1	-	-	-
指 令 課	13	指令第一係	7	-	-	1	2	3	1	-	-	-
		指令第二係	6	-	-	-	2	4	-	-	-	-
予 防 課	11	予防査察係	8	-	-	1	2	3	-	2	-	-
		危険物係	3	-	-	-	1	1	-	1	-	-
救急救命課	4	救急救命係	4	-	-	1	1	1	-	1	-	-
厚 木 消 防 署		113	-	1	8	21	38	12	28	5	-	
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
本 署	55	管理係	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		警備第一課	27	-	-	2	5	9	2	8	1	-
		警備第二課	27	-	-	2	6	8	2	8	1	-
南毛利分署	22	第一中隊	11	-	-	1	2	2	2	4	-	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	5	1	2	1	-
相 川 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	5	2	1	1	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	5	1	3	-	-
玉 川 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	-	2	2	-	1	-
		第二消防小隊	6	-	-	-	2	2	-	2	-	-
北 消 防 署		80	-	1	6	9	27	13	17	7	-	
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
本 署	22	管理係	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		警備第一課	11	-	-	1	-	4	3	3	-	-
		警備第二課	11	-	-	1	1	4	2	2	1	-
依 知 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	-	5	3	1	1	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	4	1	3	1	-
小 鮎 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	1	1	1	1	1	-
		第二消防小隊	6	-	-	-	1	2	1	1	1	-
睦 合 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	2	4	-	3	1	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	3	2	3	1	-

※1 消防総務課長は消防総務係、警防課長は警防係、指令課長は指令第一係、予防課長は予防査察係、救急救命課長は救急救命係、分署長は第一中隊又は第一消防小隊に含む。

2 ( ) 内の数字は、県消防学校初任教育14人(条例定数外)を含んだもの。

## (6) 本部・署車両配置状況

	担当	名称	車両番号	車名	型式	購入年月	
消防本部	消防総務課	本部指令1号車	相模800さ3195	日産プレサージュ	GF-HU30	12. 8	
		調査1号車	相模800さ6858	日産バネット	GC-SK82VN	14. 7	
	警防課	連絡1号車	相模480あ7329	日産クリッパー	GBD-U72V	17. 9	
		連絡3号車	相模501み6874	日産セレナ	DBA-C25	22. 5	
		マイクロバス	相模200さ677	日産シビリアン	PA-AHW41	19. 1	
	予防課	広報1号車	相模800さ2818	日産バネット	GC-SK82VN	12. 6	
		広報2号車	相模800す4859	日産AD	DBF-VY12	20. 11	
		連絡2号車	相模800さ7902	トヨタサクシード	UB-NCP51V	15. 3	
	救急救命課	連絡4号車	相模480う6506	ダイハツハイゼット	GBD-S330V	19. 10	
	厚木消防署	本署	厚木指令1号車	相模800す4211	トヨタハイエース	CBF-TRH221K	20. 2
厚木水槽1号車			相模800は213	日野プロフィア	KL-FS4FMGA改	15. 3	
厚木1号車			相模800さ2089	UDコンドル	KK-BKR71GN	12. 3	
はしご1号車			相模800は291	日野スペースレンジャー	KL-FE1JGEA改	16. 2	
はしご2号車			相模800は699	日野プロフィア	BDG-FH1ALXA改	22. 3	
厚木救助1号車			相模830て119	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	25. 12	
厚木支援1号車			相模800さ4048	いすゞエルフ	KK-NPS72LN	13. 1	
厚木救急1号車			相模800す5002	日産パラメディック	CBF-FPWGE50改	21. 2	
厚木救急2号車			相模800す7823	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	25. 3	
厚木作業1号車			相模41か7539	スバルサンバー	GD-TT2	12. 5	
厚木資材1号車			相模800す1871	いすゞエルフ	PB-NKS81A	17. 12	
赤バイ1号車		1相模き8420	ヤマハセロー	BA-DG08J改	17. 9		
南毛利分署		南毛利1号車	相模800さ6066	日野デュトロ	KK-XZU331M	14. 1	
		南毛利救急1号車	相模800す8608	日産パラメディック	CBF-FPWGE50改	26. 2	
		南毛利作業1号車	相模480う6757	ダイハツハイゼット	LE-S210P	19. 10	
		南毛利査察1号車	相模800さ7901	トヨタサクシード	UB-NCP51V	15. 3	
相川分署		相川1号車	相模800す6933	日野デュトロ	SKG-XZU685M	24. 1	
		厚木化学1号車	相模800は762	日野レンジャー	LDG-FE7JGAA	23. 2	
		相川救急1号車	相模800す6376	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	23. 3	
		相川作業1号車	相模41く9753	スバルサンバー	LE-TT2	14. 6	
		相川査察1号車	相模800す4860	日産AD	DBF-VY12	20. 11	
		相川2号車	相模88た3619	日産アトラス	GB-SK2F23改	8. 1	
玉川分署		玉川1号車	相模800す2077	日野デュトロ	PD-XZU378M	18. 2	
		玉川作業1号車	相模41け7303	スバルサンバー	LE-TT2	15. 2	
		玉川査察1号車	相模800す3997	日産AD	DBF-VY12	19. 11	
北消防署		本署	厚木北1号車	相模800す6998	日野デュトロ	SKG-XZU640M	24. 3
			北救急1号車	相模800す5728	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	22. 2
			北救助1号車	相模800は535	日野レンジャー	ADG-FE8JJWA改	18. 11
			北査察1号車	相模800す2976	日産ADバン	CBE-VFY11	18. 10
			北指令1号車	相模800さ8877	日産キャラバン	LC-CQGE25	15. 10
			北作業1号車	相模41き8843	スバルサンバー	GD-TT2	13. 6
			北救急2号車	相模800す4164	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	20. 2
			赤バイ2号車	1相模き8421	ヤマハセロー	BA-DG08J改	17. 9
	依知分署		依知1号車	相模800す4944	日野デュトロ	BDG-XZY378M	21. 1
		北化学1号車	相模800は365	日野レンジャープロ	PK-FE8JGFA改	17. 2	
		依知救急1号車	相模800す9340	日産パラメディック	CBF-FPWGE50改	27. 2	
		依知2号車	相模88た3031	トヨタハイエース	GB-YY101改	7. 9	
		依知作業1号車	相模41け7304	スバルサンバー	LE-TT2	15. 2	
		依知査察1号車	相模88そ993	日産ADバン	R-VFY10	10. 9	
		小鮎分署	小鮎1号車	相模800す7029	日野デュトロ	SKG-XZU640M	24. 3
	北水槽1号車		相模800は552	日野レンジャー	ADG-FE8JGWA改	19. 2	
	小鮎作業1号車		相模480い6891	ダイハツハイゼット	LE-S210P	18. 9	
	小鮎査察1号車		相模800す5548	日産AD	DBF-VY12	21. 11	
	睦合分署	睦合1号車	相模830ち119	日野デュトロ	TKG-XZU640M	25. 3	
		睦合救急1号車	相模800す6914	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	24. 1	
		睦合作業1号車	相模480あ7316	スバルサンバー	LE-TT2	17. 9	
睦合査察1号車		相模800す180	日産ADバン	CBE-VFY11	16. 8		
厚木救急3号車		相模800す537	トヨタグランビア	TC-VCH38S	16. 12		
睦合2号車		相模88た3618	日産アトラス	GB-SK2F23改	8. 1		

(平成27年4月1日現在)

無線	原 動 機		ポ ン プ		備 考
	気筒容積	社 名 級 別	放水量/min	型 式	
有	2,980				
有	1,780				広報装置
無	650				
無	1,990				リース契約車両
無	4,899				乗車定員29名
有	1,780				広報装置
有	1,490				広報装置
有	1,490				広報装置
無	650				
有	2,690				広報装置
有	20,780	日機A-2	2,390	2段バランスタービン	水5,000L
有	4,570	野口A-1	2,845	NPBF11	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	7,960				15m屈折はしご付消防自動車
有	8,866				先端屈折30mはしご付消防自動車
有	6,400				照明、クレーン、ウィンチ付
有	4,980				
有	3,490				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	2,693				乗車定員7名(高規格救急自動車)
無	650				
有	4,770				パワーゲート付
有	225				
有	4,890	日機A-1	2,940	V3000	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	3,490				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口A-2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	6,403	野口A-2	2,633	NPB115	水2,250L、消火薬液500L
有	2,693				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	650				
有	1,490				広報装置
無	1,990				資機材搬送車
有	4,560	野口A-2	2,115	2段バランスタービン	4WD普通ポンプ自動車(CD-I型)
無	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口A-2	2,664	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	2,693				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	7,684				照明、クレーン、ウィンチ付
有	1,497				広報装置
有	2,380				広報装置 サイドオーニング付
無	650				
有	2,693				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	225				
有	4,000	日機A-2	2,330	R3	4WD普通ポンプ自動車(CD-I型)水600L
有	7,680	日機A-2	2,450	2段バランスタービン	水1,500L、消火薬液500L
有	3,490				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	1,990	富士ポンB-3	1,070		小型動力ポンプ付積載車
無	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口A-2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	7,684	野口A-2	2,289	2段バランスタービン	水2,000L
有	650				
無	1,498				広報装置
有	4,009	野口A-2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車(CD-I型)
有	2,693				乗車定員7名(高規格救急自動車)
有	650				
無	1,490				広報装置
有	3,370				乗車定員7名(高規格救急自動車)
無	1,990				資機材搬送車



## (7) 消防車両種類別内訳

(平成27年4月1現在)

消 防 車 両 種 類 別	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	8 台
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
救 助 工 作 車	2 台
救 助 支 援 車	1 台
高 規 格 救 急 自 動 車	9 台
は し ご 車	2 台
指 令 車	3 台
調 査 車	1 台
広 報 車	2 台
連 絡 車	4 台
査 察 車	7 台
赤 バ イ	2 台
作 業 車 ( 防 災 資 機 材 運 搬 車 )	11 台
マ イ ク ロ バ ス	1 台
車 両 合 計	58 台
オ ー ト バ イ ( 情 報 収 集 用 )	5 台

### 3 消 防 予 算

厚木市の平成27年度一般会計当初予算額は77,780,000千円で前年度と比較して3.0%の増となっており、消防費の当初予算額は3,351,456千円で前年度比31.0%増となり、一般会計当初予算における構成比は4.3%です。

#### (1) 消防費前年度比較

単位：千円

款・項	目	平成27年度	平成26年度	比 較	
				増	減
消防費		3,351,456	2,558,601	792,855	
	常備消防費	2,928,827	2,221,251	707,576	
	非常備 消 防 費	87,376	76,055	11,321	
	消防施設費	209,785	136,450	73,335	
	水 防 費	500	2,047		1,547
	災害対策費	124,968	122,798	2,170	

#### (2) 消防費財源内訳

単位：千円

消防費	消 防 費 財 源 内 訳						率(%)
	使用料 手数料	国 庫 支出金	県支出金	諸収入	市 債	一般財源	一般財源 消 防 費
3,351,456	2,562	101,437	39,616	148,444	542,300	2,517,097	75.10

#### (3) 年度別市当初予算と消防費の比較

単位：億円

年度別 区分	19	20	21	22	23	24	25	26	27
市 予 算	679.6	743.8	754.7	751.8	789.2	736.0	737.8	754.8	777.8
消 防 費	28.7	31.7	31.9	27.1	27.6	27.1	27.8	25.5	33.5
割合 (%)	4.2	4.3	4.2	3.6	3.5	3.7	3.8	3.4	4.3

#### (4) 消防費と人口の比較

(平成27年4月1日現在の人口 224,958人、世帯数 99,562世帯で計算)

単位：円

当 初 予 算 額	人口1人当たり	1世帯当たり	
市当初予算	77,780,000,000	345,753	781,222
消 防 費	3,351,456,000	14,898	33,662

総

務



# 消防職員

## 1 消防職員階級別勤続年数調

(平成27年4月1日現在)

年数別	合計	消 防 吏 員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	249	246	1	3	19	40	80	28	49	26	3
平均	18.6	-	0.0	34.3	33.7	31.9	22.3	14.4	6.1	0.9	1.7
1年未満	19	19	1	-	-	-	-	-	-	18	-
1年	7	5	-	-	-	-	-	-	-	5	2
2	8	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-
3	9	8	-	-	-	-	-	-	5	3	1
4	3	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-
5	3	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-
6	11	11	-	-	-	-	-	2	9	-	-
7	12	12	-	-	-	-	-	2	10	-	-
8	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	2	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-
10	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
11	10	10	-	-	-	-	-	5	5	-	-
12	5	5	-	-	-	-	1	3	1	-	-
13	5	5	-	-	-	-	-	4	1	-	-
14	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-
15	5	5	-	-	-	-	1	4	-	-	-
16	5	5	-	-	-	-	3	2	-	-	-
17	3	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-
18	6	6	-	-	-	-	4	-	2	-	-
19	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
20	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
21	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
22	12	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-
23	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
24	17	17	-	-	-	2	14	1	-	-	-
25	24	24	-	-	-	2	21	1	-	-	-
26	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	6	6	-	-	-	3	3	-	-	-	-
29	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	4	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
31	12	12	-	-	3	6	3	-	-	-	-
32	7	7	-	1	1	5	-	-	-	-	-
33	7	7	-	-	3	4	-	-	-	-	-
34	5	5	-	-	2	2	1	-	-	-	-
35	11	11	-	-	4	7	-	-	-	-	-
36	3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-
37	8	8	-	2	3	3	-	-	-	-	-
38	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生14人（条例定数外）を含む。

## 2 消防職員階級別年齢調

(平成27年4月1日現在)

年齢別	合計	消防職員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	249	246	1	3	19	40	80	28	49	26	3
平均	41.6	-	59.0	56.3	55.6	53.1	42.6	35.5	34.0	23.2	42.7
18歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
19	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
20	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
21	3	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-
22	4	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-
23	7	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
24	9	9	-	-	-	-	-	-	6	3	-
25	6	6	-	-	-	-	-	-	4	2	-
26	10	10	-	-	-	-	-	-	8	2	-
27	5	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-
28	4	4	-	-	-	-	-	-	4	-	-
29	3	3	-	-	-	-	-	-	2	1	-
30	5	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-
31	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
32	6	6	-	-	-	-	-	5	1	-	-
33	7	7	-	-	-	-	-	5	2	-	-
34	6	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-
35	5	5	-	-	-	-	-	4	1	-	-
36	6	6	-	-	-	-	-	5	1	-	-
37	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
38	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
39	10	9	-	-	-	-	9	-	-	-	1
40	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
41	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
42	10	10	-	-	-	-	10	-	-	-	-
43	14	14	-	-	-	-	14	-	-	-	-
44	7	6	-	-	-	-	6	-	-	-	1
45	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
46	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
47	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
48	3	2	-	-	-	1	1	-	-	-	1
49	9	9	-	-	-	3	5	1	-	-	-
50	7	7	-	-	2	3	2	-	-	-	-
51	3	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
52	10	10	-	-	1	7	2	-	-	-	-
53	7	7	-	-	1	5	1	-	-	-	-
54	4	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
55	11	11	-	1	3	7	-	-	-	-	-
56	5	5	-	-	3	2	-	-	-	-	-
57	5	5	-	-	3	2	-	-	-	-	-
58	5	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-
59	7	7	1	1	3	2	-	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生14人（条例定数外）を含む。

### 3 消防職員免許等取得状況

(平成27年4月1日現在)

階級・所属 免許・資格		計	階 級 別 等									所 属 別									
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員	本 部	厚木消防署				北消防署				
													本 署	南 毛 利 分 署	相 川 分 署	玉 川 分 署	本 署	依 知 分 署	小 鮎 分 署	陸 合 分 署	
実 員		249	1	3	19	40	80	28	49	26	3	56	57	22	22	12	24	22	12	22	
運 転 免 許	普 通	248	1	3	19	40	80	27	49	26	3	56	57	21	22	12	24	22	12	22	
	中 型	4	-	-	-	1	-	1	1	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	
	大 型	153	-	1	10	25	60	22	31	4	-	27	40	7	15	6	18	17	9	14	
	大 型 二 種 免 許	33	-	-	3	14	14	1	1	-	-	9	10	1	4	1	4	2	1	1	
	大 型 特 殊	27	-	-	4	8	11	1	3	-	-	7	6	1	4	1	3	2	2	1	
	自 動 二 輪	144	-	-	12	25	52	17	29	8	1	26	38	9	17	8	11	15	7	13	
危 険 物 取 扱	甲 種	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乙 類	4 類	157	-	-	3	6	65	27	47	9	-	23	35	17	17	6	18	18	10	13
		5 類	9	-	-	2	3	1	-	2	1	-	1	1	1	3	-	-	-	2	1
		6 類	7	-	-	2	2	1	-	2	-	-	1	1	1	2	-	-	-	1	1
	丙 種	77	-	3	16	32	23	2	1	-	-	20	22	3	7	5	6	4	3	7	
高圧ガス（乙種化学）		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高圧ガス（丙種化学）		8	-	-	2	4	2	-	-	-	-	2	-	1	2	1	1	-	-	1	
消 防 設 備 士		4	-	-	2	-	1	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	
電 気 工 事 士		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
陸 上 特 殊 無 線		148	-	1	14	15	38	25	48	7	-	23	33	13	16	7	17	16	10	13	
ア マ チ ュ ア 無 線		35	-	-	7	15	12	1	-	-	-	9	12	2	2	-	2	4	2	2	
2 級 ボ イ ラ ー 取 扱 者		3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能		26	-	-	6	10	8	2	-	-	-	5	7	4	2	2	-	-	2	4	
玉 掛 技 能 講 習		44	-	1	1	6	24	4	6	2	-	5	18	1	5	2	5	5	-	3	
小 型 ク レ ー ン		54	-	1	6	14	24	5	4	-	-	8	20	1	3	3	8	6	2	3	
高 所 作 業 車		19	-	-	3	4	11	-	1	-	-	3	8	-	1	1	2	1	1	2	
ガ ス 溶 接		79	-	1	11	30	35	2	-	-	-	21	20	9	4	5	5	6	2	7	
小 型 船 舶 操 縦 士		76	-	-	7	16	37	9	7	-	-	11	20	8	7	4	11	10	3	2	
衛 生 管 理 者		7	-	1	1	1	1	1	2	-	-	2	-	-	3	-	1	-	-	1	
救 急（135H）		114	-	2	13	33	61	4	1	-	-	26	32	9	12	4	10	8	6	7	
救 急 II 課 程		29	-	-	2	10	17	-	-	-	-	5	5	3	4	4	3	3	-	2	
救 急 標 準 課 程		26	-	-	-	1	7	14	4	-	-	4	5	1	3	1	3	4	1	4	
救 急 科		68	-	-	-	-	16	6	39	7	-	5	19	6	5	3	9	8	5	8	
救 急 救 命 士		42	-	-	1	8	17	7	7	2	-	4	12	6	4	-	6	6	-	4	
応 急 手 当 指 導 員		201	-	1	14	37	73	26	47	3	-	30	50	21	18	12	21	20	11	18	
潜 水 士		61	-	-	2	11	23	7	16	2	-	7	21	6	5	1	8	8	2	3	
特定化学物質等作業主任者		17	-	-	1	3	7	4	2	-	-	3	3	3	4	-	1	2	-	1	

※1 厚木消防署本署には、署長、副署長、管理係を含む。

2 北消防署本署には、署長、副署長を含む。

3 実員には、初任教育生14人（条例定数外）を含む。

#### 4 消防職員採用・退職状況

(平成27年4月1日現在)

区分	年度	23	24	25	26	27
	定員		249	249	249	249
年度当初実員		245	248	248	244	249
	採用(4月1日付け)	3	9	7	6	17
	市長部局異動(4月1日付け)	1	1	1	-	1
採用(10月1日付け)		-	-	-	-	-
市長部局異動(10月1日付け)		1	-	-	-	-
退職		6	8	10	13	-
年度末実員		238	240	238	231	-

- ※1 実員には、神奈川県消防学校初任教育生(条例定数外)を含む。  
 2 市長部局異動は、市長部局からの異動者と市長部局への異動者を差し引きした人数。  
 3 平成23年度の市長部局異動(10月1日付け)は、市長部局への異動のみ。

#### 5 消防職員年度別公務災害発生状況

年度	区分	総数	負傷時の状況						治療期間		
			災害活動	演習訓練	救急業務	点検業務	消防業務	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
23	件数	3	-	1	-	1	-	1	1	-	2
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	3	-	1	-	1	-	1	1	-	2
24	件数	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
25	件数	3	1	1	-	-	1	-	-	-	3
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	3	1	1	-	-	1	-	-	-	3
26	件数	4	1	1	1	-	-	1	1	1	2
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	1	1	1	-	-	1	1	1	2

## 6 人事事務

平成 26 年度においては、多様化する消防行政に対応する常備消防組織の確立を図るため、消防司令補、消防士長、消防副士長の各昇任試験を実施しました。

## 7 衛生管理

職員の安全及び健康管理体制の充実並びに庁舎の環境整備・衛生思想の普及について、さらなる強化を図るため、産業医による巡回相談やメンタルヘルス診断のほか職場点検を実施するとともに、定期健康診断（年 1 回）・特定業務従事者健康診断（隔日勤務者年 1 回）・B型肝炎ワクチン接種他各種予防接種などを実施し疾病の予防に努めています。

## 8 表彰

消防庁長官	神奈川県消防長会
永年勤続功労章 2 人	消防功労者表彰 (団体表彰) 救急活動の部 4 部隊

※平成 26 年度中の初期消火等消防協力者に対する消防長表彰等は、4 件で個人 12 人を表彰しました。



## 9 教育・研修

職員の資質向上を図るため県消防学校等において、教養訓練等を実施しました。

### (1) 派遣研修

平成26年度中の受講状況

区分	科目	人員	日数	区分	科目	人員	日数
消防学校 初任教育	初任教育 第210期生	4	115	消防学校 特別教育	幹部特別教育 (研修教官)	1	17
消防学校 専科教育	救急科	4	49		水難救助課程	1	5
	救助科	2	20		はしご車操作員課程	1	3
	警防科	1	10		特別救助隊員研修	1	5
	予防査察科	1	10		救急救命士研修	1	1
	特殊災害科	2	7		体力練成指導員研修	1	1
	火災調査科	1	10		その他	潜水士	1
			玉掛け技能講習	1		3	
			予防技術者(試験)	2		1	
			テクニカルロープレス キューテクニシャン講習	1		3	
			第1種衛生管理者	1		4	
			湖川小出力2級小型船舶操縦士	1		2	
			小型移動式クレーン技能講習	1		3	
			酸欠・硫化水素技能講習	1		3	

### (2) 教養研修会等

- ・ 外来講師による講演(2月)

### (3) 現地・教養訓練

- ・ 水難救助合同訓練(5月)
- ・ 水防工法訓練(6月)
- ・ 潜水訓練(8月)
- ・ 山岳救助合同訓練(11月)
- ・ 軌道事故訓練(2月)
- ・ 非常用エレベーター訓練(2月)
- ・ 火災防ぎょ想定訓練(4～3月)
- ・ 機関員養成訓練(4～3月)

## 消防施設

### 1 施設整備

- 消防団器具置場1箇所を整備しました。

施設名	第6分団第6部器具置場
場所	岡津古久878番地11
構造	軽量鉄骨造2階建
面積	1階 車庫 39.85㎡ 2階 待機室 39.85㎡ 延べ 79.70㎡
屋根	カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き
外壁	窯業系サイディング（横張）
軒天	ケイ酸カルシウム板張り



器具置場完成写真

## 2 水利状況

### (1) 地区別消防水利設置状況

(平成27年4月1日現在)

地区別 区分別		合 計	厚 木	依 知	睦 合	荻 野	小 鮎	玉 川	南 毛 利	相 川	
<b>総 合 計</b>		<b>4,362</b>	<b>545</b>	<b>708</b>	<b>617</b>	<b>443</b>	<b>383</b>	<b>311</b>	<b>859</b>	<b>496</b>	
消 火 栓	公 設	2,377	250	340	393	300	222	166	479	227	
	(水利基準適合)	(1,699)	(186)	(244)	(291)	(219)	(129)	(120)	(343)	(167)	
合 計		1,932	290	361	216	133	157	139	372	264	
防 火 水 槽	公 設	小 計	675	44	125	104	74	72	60	133	63
		40t未満	202	6	61	19	25	20	18	29	24
		40～100t 未 満	450	29	64	79	49	52	42	102	33
		100t以上	23	9	-	6	-	-	-	2	6
私 設	私 設	小 計	1,257	246	236	112	59	85	79	239	201
		40t未満	206	32	51	14	10	15	2	48	34
		40～100t 未 満	1,013	206	180	96	48	65	73	181	164
		100t以上	38	8	5	2	1	5	4	10	3
そ の 他	プ ー ル 等	53	5	7	8	10	4	6	8	5	
		(44)	(4)	(6)	(7)	(10)	(3)	(3)	(7)	(4)	

※消火栓の( )は、水利基準適合消火栓、プールの( )は、鋼鉄製又はアルミ、FRP製でそれぞれ内数

## (2) 耐震性貯水槽の設置状況

東海地震における被害想定に基づき、地震で火災が同時多発すれば、広範囲に延焼する危険が最も大きい地域を重点に耐震性貯水槽を設置しており、100トン以上の主なものは次のとおりです。

No.	所在地	貯水量 (m <sup>3</sup> )	設置 年度	型式
1	厚木市旭町1丁目18番 あさひ公園内	100	S53	丸型 6.0m×3.9m
2	厚木市中町4丁目11番 さつき公園内	100	S54	〃
3	厚木市中町1丁目4番3号 立体駐車場西側	100	S55	丸型 6.0m×3.7m
4	厚木市緑ヶ丘3丁目4番 緑ヶ丘西公園内	100	S56	〃
5	厚木市酒井1975番地 旧農協相川支所内	100	S56	〃
6	厚木市妻田東2丁目23番 東河原第1公園内	100	S57	角型 4.0m×14.09m×2.0m
7	厚木市元町9番3号 北児童館内	100	S58	丸型 6.0m×3.7m
8	厚木市岡田4丁目19番5号 三嶋神社境内	100	S59	〃
9	厚木市妻田西1丁目24番 市場公園内	100	S60	〃
10	厚木市長沼244番地 長沼公園内	100	S61	〃
11	厚木市南町24番 すみれ公園内	100	S61	〃
12	厚木市水引2丁目9番 農協本所内	100	S62	〃
13	厚木市旭町4丁目13番 ふじみ公園内	100	S63	〃
14	厚木市林3丁目8番52号 消防団第3分団第1部器具置場敷地内	100	H元	〃
15	厚木市酒井2157番地 白髭公園内	100	H2	〃
16	厚木市三田2735番地1 睦合北公民館内	100	H3	〃
17	厚木市岡田3058番地 中丸公園内	100	H5	〃
18	厚木市寿町3丁目2番10号 厚木中央公園内	100	H6	〃
19	厚木市旭町1丁目30番 どんぐり公園内	100	H8	丸型 6.4m×3.16m
20	厚木市戸室1丁目40番 宮田公園内	100	H9	〃
21	厚木市酒井3009番地 八木間公園内	100	H10	〃
22	厚木市妻田南1丁目21番 中河原けやき公園内	100	H11	〃

# 消防車両

## 1 消防車両更新状況

(平成26年度)

車種別	台数	配属先	備考
高規格救急自動車	1	北消防署 依知分署	更新
小型動力ポンプ付積載車	2	第7分団第4部(温水) 第8分団第3部(酒井)	更新

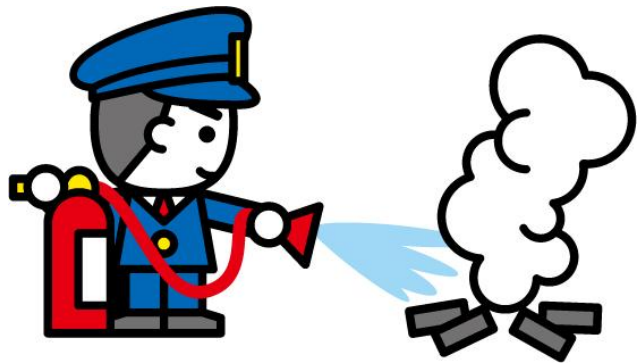
## 2 消防車両整備の概要

消防車両の保守管理は迅速整備の基本方針で、車両の機能保持を図っています。

(平成26年度)

車種 区分	合計	常備			非常備
		消防ポンプ車	救急車	その他車両	小型動力ポンプ付積載車
法定整備	158	12	11	70	65
車検	43	2	4	20	17
一般整備	132	19	47	48	18

# 火災予防



秋・春の火災予防運動をはじめ、年間計画に基づく防火対象物の立入検査、歳末火災特別警戒、消防訓練指導等を行い、市民並びに事業所等に火災予防と人命の安全確保を呼びかけ、防火意識の高揚に努めています。

## 1 火災予防運動

### (1) 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日

#### ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (オ) 多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、危険物施設及び多数の観客等が参加する行事における露店等）
- (エ) 住宅用火災警報器設置促進戸別訪問
- (オ) 住宅防火診断
- (カ) 幼稚園の園児等を対象とした防火教室

### (2) 春季火災予防運動 3月1日～3月7日

#### ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (オ) 林野火災予防対策の推進
- (カ) 多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、営業用バス、危険物運搬車両）
- (エ) 消防演習
- (オ) 林野火災防止標識の点検及び整備
- (カ) 小学校の児童を対象とした防火教室

## 2 防火管理講習

防火対象物における防火安全の充実強化を図るため、消防法第8条第1項に規定する防火管理者を定めなければならない防火対象物のうち、甲種、乙種防火管理講習の課程を修了していない者を対象に防火管理講習を開催した。

### (1) 防火管理講習の実施状況

#### ア 甲種防火管理新規講習

(ア) 時期 6月・10月・2月の年3回

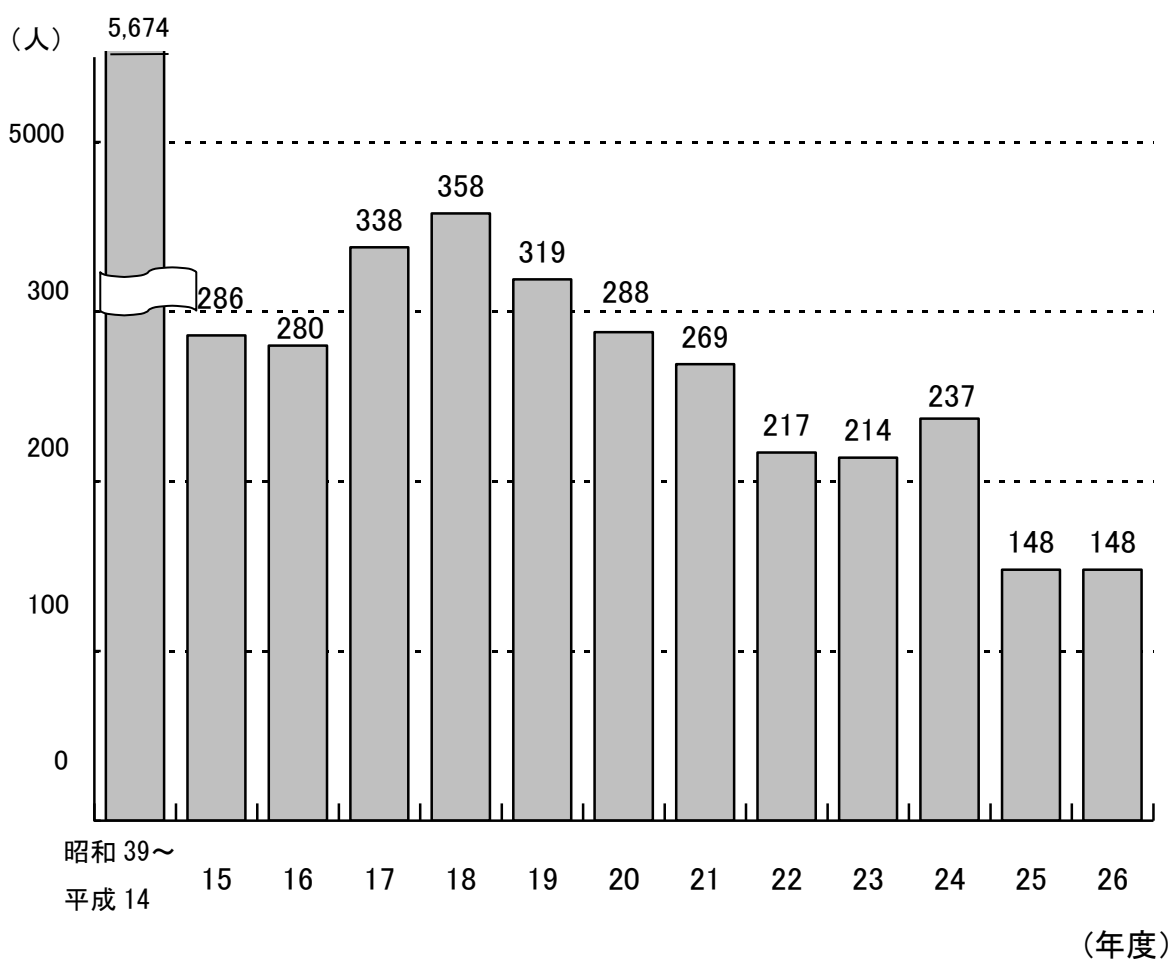
(イ) 修了証交付数 142人

#### イ 乙種防火管理講習

(ア) 時期 6月・10月・2月の年3回

(イ) 修了証交付数 6人

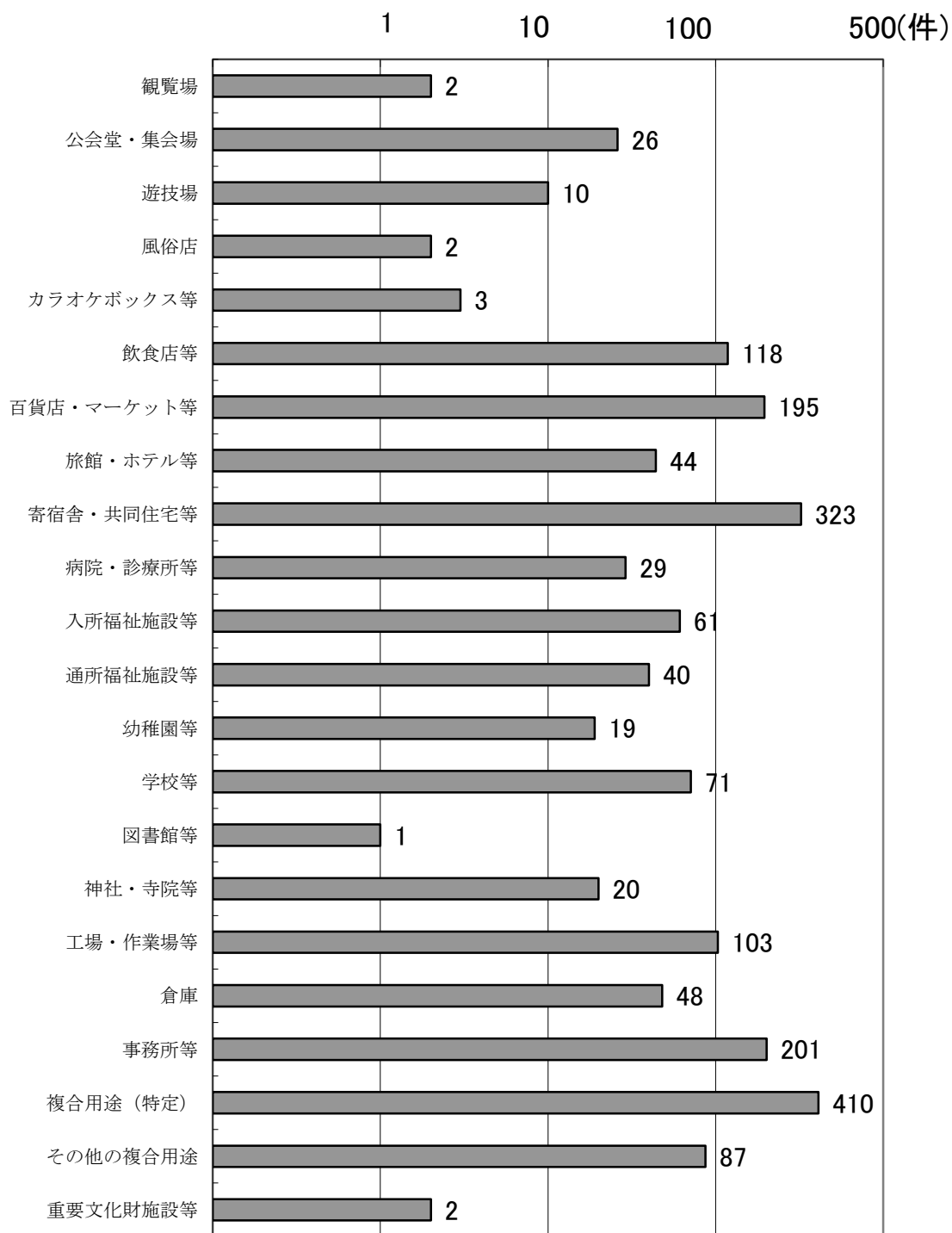
### (2) 年度別防火管理講習修了証交付状況





### 3 防火管理者等調

防火管理者の選任及び消防計画の届出を必要とする防火対象物 (1,815 件)



(平成27年3月31日現在)

#### 4 消防法・火災予防条例に基づく届出処理状況

(平成26年度)

届 出 別	届 出 数 (件)
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	857
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	508
消 防 用 設 備 等 の 点 検 結 果 報 告 書	1,904
ボ イ ラ ー 設 備 等	49
防 火 対 象 物 使 用 開 始	193
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	-
催 物 開 催	5
ネ オ ン 管 灯 設 備	-
喫 煙 等 禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	27
合 計	3,543

#### 5 防火対象物定期点検報告制度

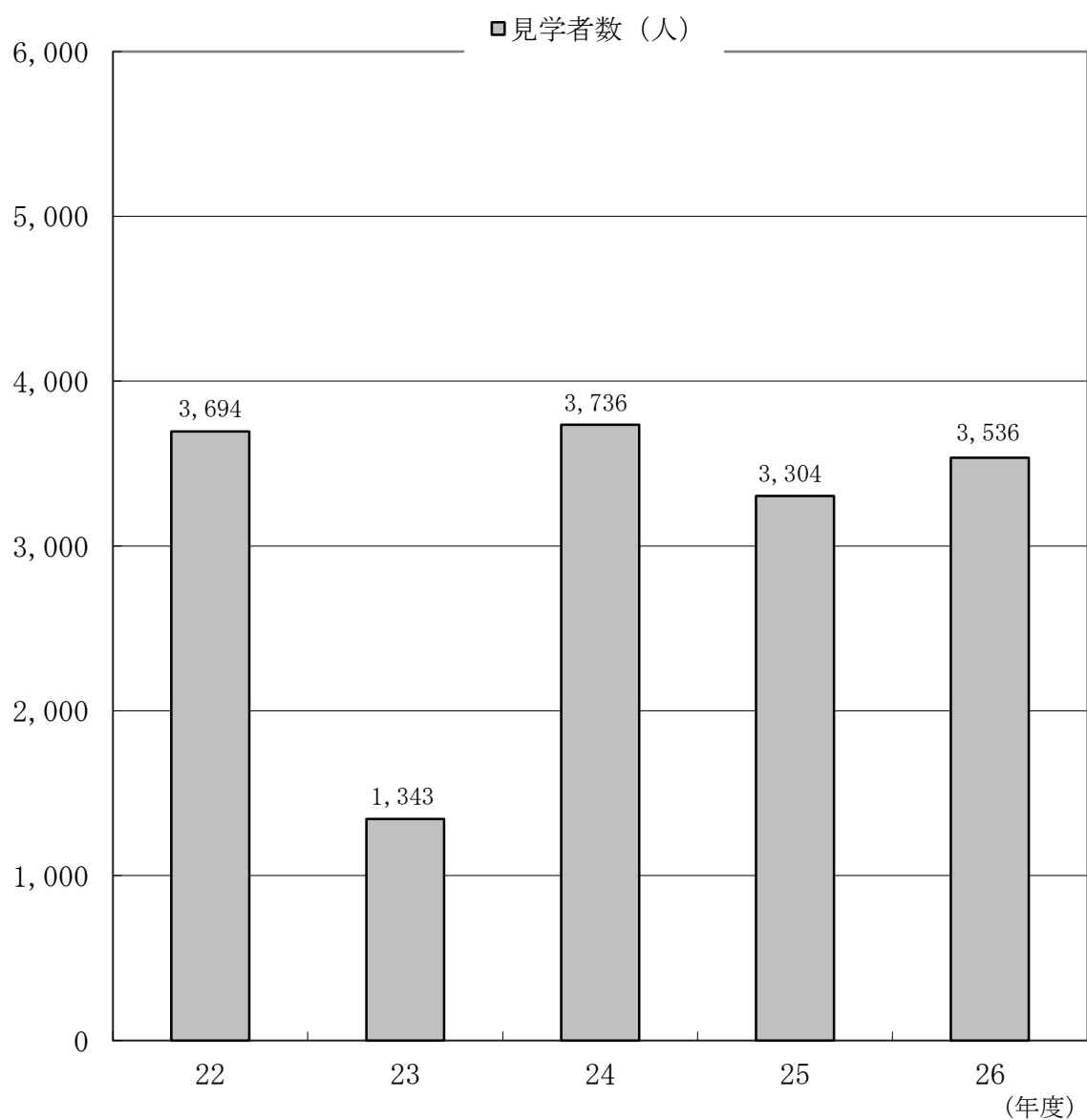
##### ◎実施目的及び実施対象物の状況

この制度は、旅館、ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物の管理権原者等による防火管理の徹底を図ることを目的に一定の規模、用途の管理権原者等に対し、点検報告を義務付けるもので、消防機関が行う法令要件に該当する旨、又は防火対象物点検基準に適合した建物である旨を「防火優良認定証及び防火基準点検済証」で表示し、広く市民に防火上の情報を提供するとともに、防火安全上の目安に活用してもらうことを目的としています。平成27年3月31日現在、46件の防火対象物に「防火優良認定証」の表示に係る通知書を交付しています。

## 6 幼稚園児、小学生の消防署見学の推移

幼稚園等の保育活動及び小学生の社会科校外学習等の一環として、消防署を見学された方々に火災等についての講話を行い、消防署員の訓練状況や消防についての知識を高めていただくとともに、火災予防思想の普及に努めています。

年 度	22	23	24	25	26
見学者数（人）	3,694	1,343	3,736	3,304	3,536



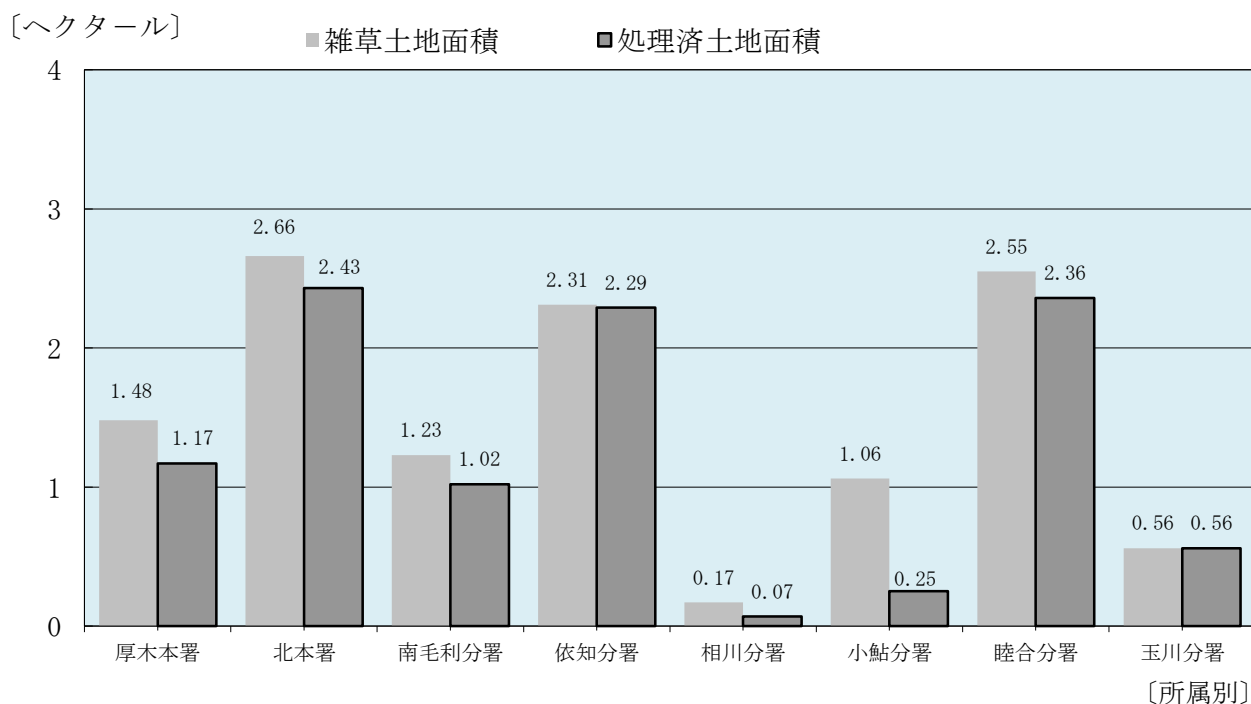
## 7 雑草地の指導

毎年10月1日から翌年3月31日までを雑草火災防止対策期間として、空き地等に繁茂している火災予防上危険な雑草処理の指導を行いました。

平成26年度中の状況は、10月上旬に実態調査を行った結果、12.02ヘクタール（所有者304人）の雑草地があり、11月に文書等による刈取り依頼、12月に刈取り指導等を行い、1月に最終調査を行った結果、10.15ヘクタール（所有者258人）の雑草地約84.4%が処理されました。

（平成26年度）  
単位：ヘクタール

所屬別 土地面積等	厚木本署	北本署	南毛利分署	依知分署	相川分署	小鮎分署	睦合分署	玉川分署
雑草土地面積	1.48	2.66	1.23	2.31	0.17	1.06	2.55	0.56
処理済土地面積	1.17	2.43	1.02	2.29	0.07	0.25	2.36	0.56



## 8 初期消火協力の推進

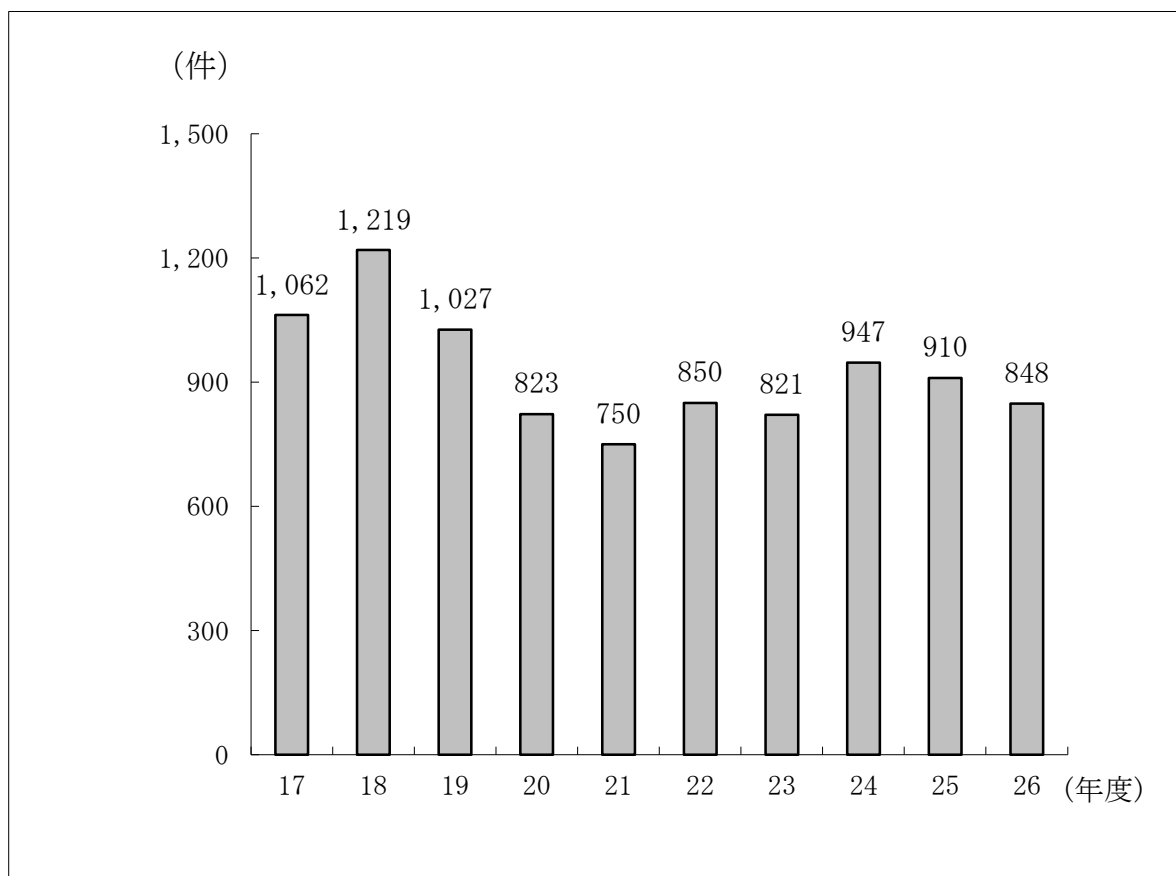
不幸にして発生した火災の被害を最小限にとどめるには、適切な初期消火活動が大切です。そこで、市民の方々などによる初期消火活動等の消防協力の推進を図るため、火災に使用した消火器の薬剤の詰め替えをしました。

（平成26年度）

消火協力の あった火災	無償で詰め替えた消火器の個数			
	建物火災	車両火災	その他の火災	合計
2件	1個	3個	—	4個

## 9 消防同意事務等

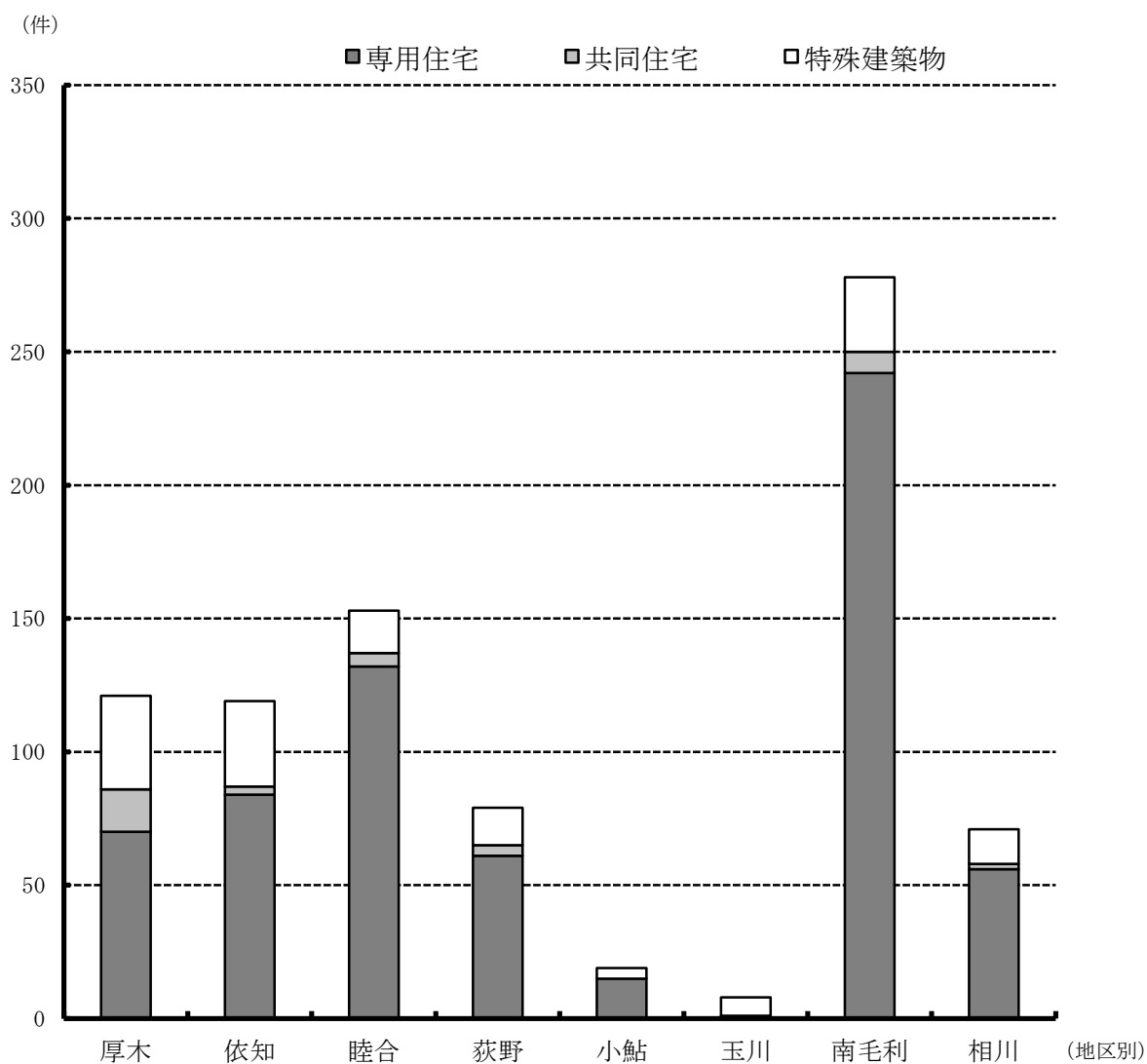
### (1) 過去10年間の同意件数



### (2) 月別同意件数

月	区分	合計件数	新築件数	増築件数	改築件数	用途変更件数	移転件数	その他の件数
4		64	60	3	-	1	-	-
5		71	71	-	-	-	-	-
6		108	103	3	1	-	-	1
7		72	67	3	-	2	-	-
8		70	69	1	-	-	-	-
9		57	56	1	-	-	-	-
10		71	66	3	-	2	-	-
11		80	75	5	-	-	-	-
12		76	71	5	-	-	-	-
1		55	53	1	-	1	-	-
2		78	75	2	-	1	-	-
3		46	44	2	-	-	-	-
合計		848	810	29	1	7	0	1

(3) 地区別及び用途別同意件数



用途 \ 地区	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	合計
専用住宅	70	84	132	61	15	1	242	56	661
共同住宅	16	3	5	4	-	-	8	2	38
特殊建築物	35	32	16	14	4	7	28	13	149
合計	121	119	153	79	19	8	278	71	848

10 防火対象物状況（消防用設備等の設置対象物数を示す。）

（平成27年3月31日現在）

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		24年度	25年度	26年度
1	イ 劇場・映画館・演芸場等	6	6	6
	ロ 公会堂・集会場	35	36	36
2	イ キャバレー・カフェ・ダンスホール等	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	14	13	13
	ハ 風俗営業等を営む店舗等	2	2	2
	ニ カラオケボックス等	3	3	3
3	ロ 飲食店	150	151	149
4	百貨店・マーケット等	320	329	341
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	70	70	71
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	3,912	3,937	3,949
6	イ 病院・診療所・助産所	88	89	89
	ロ 老人福祉施設・自力避難困難者入所施設	54	60	65
	ハ 社会福祉施設・救護施設等	54	56	62
	ニ 幼稚園等	19	19	20
7	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	256	258	261
8	図書館・博物館・美術館等	3	3	3
9	ロ 9イ以外の公衆浴場	-	-	-
11	神社・寺院・教会等	38	39	39
12	イ 工場・作業場	703	704	710
13	イ 自動車車庫・駐車場	65	65	65
14	倉庫	1,033	1,034	1,040
15	前各項に該当しない事業場	1,153	1,158	1,158
16	イ 1～4、5イ、6、9イを含む複合用途防火対象物	786	790	796
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	559	559	562
17	重要文化財施設等	10	10	10
18	延長50m以上のアーケード	1	1	1
合 計		9,334	9,392	9,451

## 11 高層建築物の状況

### (1) 高層建築物

(軒の高さが31メートルを超える建築物及び地階を除く階数が11以上の建築物。) 数113件

### (2) 主な高層建築物

(平成27年3月31日現在)

番号	名称	所在地	階数 (地上/地下)	軒の高さ (m)	延面積 (㎡)	用途
1	厚木アクストメインタワー	岡田3050	26/1	107	57,400	(16)ロ
2	リヴァージュ21	東町2-1	21/1	69	18,800	(16)イ
3	厚木ビジネスタワー	中町3-16-1	16/1	59	11,800	15
4	メイテック関東テクノセンター	森の里青山15	14/1	55	12,100	15
5	日産テクニカルセンター103号棟	岡津古久560-2	10/2	51	106,900	15
6	神奈川工科大学情報学部棟	下荻野1030	13/1	51	16,343	7
7	第1伊藤ビル	旭町1-24-13	12/1	50	9,700	15
8	リーフィアレジデンス本厚木	栄町2-7-12	16/0	48	7,600	(5)ロ
9	信金中央金庫厚木システムセンター	森の里青山22	9/1	47	43,600	15
10	ルリエ本厚木	寿町3-1	14/2	46	19,800	(16)イ
11	エクセル本厚木	旭町2-1-3	14/1	44	8,900	(5)ロ
12	神奈川県消防学校(第1訓練場)	上落合57	11/0	44	3,800	7
13	ポレスター本厚木	泉町13-10	15/0	44	4,000	(5)ロ
14	プレシス本厚木エクシア	栄町1-1-2	15/0	44	4,700	(5)ロ
15	プレール本厚木	水引2-2-30	14/0	43	4,500	(5)ロ

※ 用途は、消防法施行令別表第一に掲げる用途区分による。



## (3) 地区別・中高層建築物数

(平成27年3月31日現在)

地区	階層	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	21階	26階	合計 (棟)
厚木		568	135	157	98	80	49	35	14	12	18	12	19	4	2	1	-	1,204
依知		210	31	10	4	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	262
睦合		361	63	66	9	6	3	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	513
荻野		84	16	46	2	5	6	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	164
小鮎		80	18	8	2	5	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	116
玉川		50	30	9	7	2	4	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	107
南毛利		441	98	66	32	18	3	4	1	4	3	-	4	-	-	-	-	674
相川		171	42	54	7	6	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	1	287
合計 (棟)		1,965	433	416	161	125	70	47	22	18	22	15	25	4	2	1	1	3,327

## 12 消防用設備等着工・設置届出状況

(平成26年度)

設備名	着工届出数	設置届出数
消火器	-	75
屋内消火栓設備	20	22
スプリンクラー設備	23	28
泡消火設備	2	1
不活性ガス消火設備	3	2
ハロゲン化物消火設備	1	-
粉末消火設備	4	3
屋外消火栓設備	4	8
動力消防ポンプ設備	-	1
自動火災報知設備	182	182
ガス漏れ火災警報設備	1	1
漏電火災警報器	-	-
消防機関へ通報する火災報知設備	18	16
非常警報設備 (ベル)	-	1
非常警報設備 (放送)	-	30
避難器具	27	23
誘導灯	-	133
誘導標識	-	4
消防用水	-	2
排煙設備	-	1
連結散水設備	-	-
連結送水管	-	7
非常コンセント設備	-	3
パッケージ型消火設備	1	1
合計	286	544

### 13 立入検査実施状況

(平成26年度)

用途別 概要	防火対象物数	立入検査 実施数	指導対象物数	指導事項数	指導事項内容						
					設備関係	消防関係	建築物関係	火気使用関係	電気関係	危険物関係	防火管理関係
観覧場・集会場等	42	4	1	11	5	2	-	-	-	3	1
物品販売店舗	341	104	56	129	53	5	13	-	-	42	16
旅館・ホテル	71	17	14	48	9	4	1	-	-	29	5
共同住宅	3,949	711	115	179	116	2	-	-	2	18	41
病院等	89	22	12	22	12	-	-	-	-	10	-
工場・倉庫等	1,750	64	9	33	23	1	-	-	6	1	2
複合用途(特定)	796	57	27	117	34	7	1	-	-	65	10
上記以外の対象物	2,413	399	56	165	85	11	2	-	6	54	7
その他	-	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-
危険物施設等	-	122	73	254	11	7	-	2	234	-	-
合計	9,451	1,595	363	958	348	39	17	2	248	222	82

(注) その他は営業用等のバス(69台)、住宅防火診断(26件)を実施。

### 14 予防広報映画フィルム所有一覧

(貸出しに必要なもの ①申込書 ②認定証 ③身分証明書等 ②③は提示するか写しを添付)

題名	種類	映写時間(分)	備考
クマさんのマイホーム	16mm	16	児童用
動物村の消防士	16mm	20	
わんわん火事だわん	16mm	18	
ぼくは子象の消防隊	16mm	17	
火事のある日	16mm	20	
トラちゃんの消防隊長	16mm・VHS	15	
119ちゃんの安全点検	16mm	15	
ウルトラマンキッズの消防隊	16mm	18	
火事と子馬	16mm	22	
森と子どもの歌	VHS	15	
わたしたちの防火	VHS	35	
ケンちゃんと防災家族	VHS	18	
スーパーマリオの消防隊	VHS	10	
ドラゴンボール悟空の消防隊	VHS	11	
マリーベルの火の用心	VHS	11	
タイムスリップ 1923	VHS	15	
レッツゴーなかまたち	VHS	15	
消火ロボゼウレス	16mm・VHS	15	
忍たま乱太郎の地震用心火の用心	VHS	11	
ちびまるこちゃんの火の用心	VHS	14	
レスキューQ太のかつやく	16mm・VHS	15	
忍たま乱太郎の消防隊	VHS	22	
ちびまる子ちゃんの地震を考える	VHS	13	
カルガモ親子の火の用心	VHS	13	
しましまとらのしまじろうの消防隊	VHS	10	

題 名	種 類	映写時間(分)	備 考	
千日前火災「断たれた避難路」	1 6 mm	20	ビル火災関係	
ジョエルマビルの惨事	1 6 mm	16		
炎とビル (酒田火災)	1 6 mm	26		
ビル火災からの脱出	1 6 mm	16		
煙の恐ろしさ	16mm・VHS	25		
東京消失	1 6 mm	50		
高層住宅火災から生命を守る	VHS	17		
火災のあとに残るもの	16mm・VHS	28		
恐ろしいガス火災	1 6 mm	26		ガス火災関係
地震の時どうする	1 6 mm	16	地震関係	
急襲 津波災害に備える	VHS	25		
地震の知識と対策	VHS	23		
地震だ！火を消せ!!(手話付き)	VHS	25		
地震！パニックを避けるために (〃)	1 6 mm	23		
1 9 9 5 阪神大震災	VHS	22		
阪神大震災の教訓	VHS	20		
家庭の地震対策 No.1	VHS	10		
職場の地震対策 No.2	VHS	10		
マグニチュード 明日への架け橋	VHS	90		
防火管理で火の用心	VHS	18		その他
職場を守る自衛消防	1 6 mm	20		
ある防火管理者の悩み	1 6 mm	34		
大型店舗防火管理の知識	VHS	20		
防火の知識と避難誘導ホテル・旅館	1 6 mm	20		
防火管理者のしごと	VHS	20		
火災から職場を守るには	VHS	17		
力をあわせて防火管理	VHS	20		
あなたは今日から防火管理者	VHS	20		
危険物の取扱い	1 6 mm	20		
街の中の危険物	1 6 mm	20		
工場防火を考える	1 6 mm	25		
友情は燃えて	1 6 mm	35		
火災の恐怖から守れ！老人と子供	VHS	15		
旅館・ホテルの自衛消防活動	VHS	30		
防災シルバーシート	1 6 mm	18		
火災その時あなたは	VHS	20		
火災の悲劇を防ぐ	VHS	22		
火災を断つ	VHS	19		
いざという時こうする	VHS	16		
火の用心 7つのポイント	1 6 mm	20		
消防署のしごと	1 6 mm	20		
火災！あなたの工場は大丈夫？	VHS	27		
猛煙からの脱出	VHS	20		
もしもそのとき…火災を科学する	VHS	30		
煙火災と有毒ガス	VHS	19		
家族でガッテン	VHS	25		
ドラマでわかる初期対応	VHS	26		
あなたのお宅は安心ですか？	VHS	18		
あなたと防災	VHS	20		
住宅火災 あなたの家庭は大丈夫？	VHS	20		
住宅火災から学ぶ	VHS	25		
うっかり町の屋根の下	VHS	25		
うっかり町は大騒ぎ	VHS	20		
家族 de 防火	VHS	20		
防火対策と防火製品	VHS	17		
火災・煙・有毒ガス	VHS	22		
ホテル旅館・ビルの防火対策	VHS	16		
住宅火災から命を守る	VHS	21		
出来ることから始めよう	VHS	20		

## 15 危険物施設

### (1) 危険物

一般的に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質などの危険性のあるものを称している場合が多く、消防法上の危険物は消防法第2条第7項において「別表第一の品名欄に掲げる物品で、同表の性質欄に掲げる性状を有するものをいう。」と定義されています。

なお、消防法では指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いを原則的には禁止しており指定数量以上の危険物を貯蔵、取り扱う場合は許可を受けなければならないと規定され貯蔵、取扱いの許可を受けた施設が「危険物施設」であります。

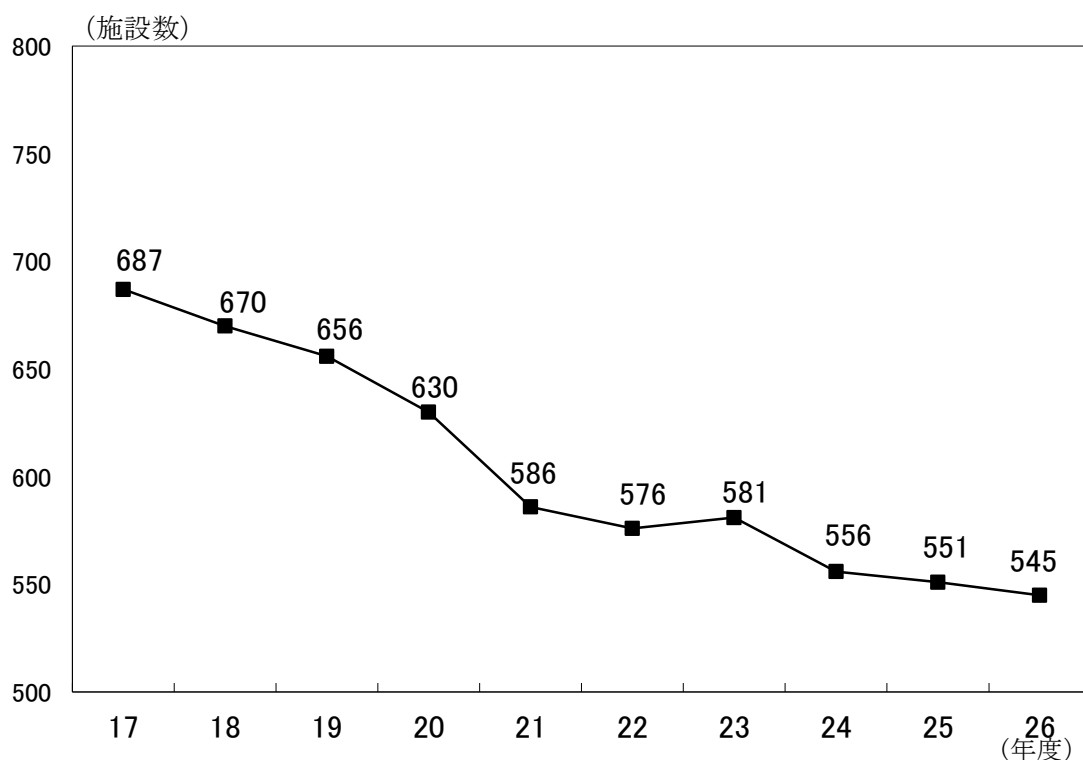
また、危険物はあらゆる生活分野に浸透している石油製品等に代表されるように、社会生活の向上に大きく貢献している反面、ひとたびその取扱い等を誤ると火災や爆発事故等の災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

### (2) 本市の状況

本市の危険物施設数は、平成27年3月31日現在545施設となっております。

施設別にみると地下タンク貯蔵所が110施設（20.2%）で最も多く、次に屋内貯蔵所が100施設（18.3%）、一般取扱所が93施設（17.1%）の順となり、また、地区別にみると依知地区及び南毛利地区に施設が多く設置されていますが、これは両地区に工業団地があり工場等が多数存在しているためです。

### (3) 過去10年間の危険物施設の推移



16 地区別危険物施設

(平成27年3月31日現在)

施設別		地区別										
		合計	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	緑ヶ丘	構成比(%)
合 計		545	46	169	56	33	47	56	74	58	6	100
製 造 所		7	-	6	-	-	1	-	-	-	-	1.3
貯 蔵 所	屋 内	100	3	32	7	6	5	18	14	13	2	18.3
	屋 外 タ ン ク	37	-	24	1	-	6	1	3	2	-	6.8
	屋 内 タ ン ク	11	4	4	-	-	-	1	-	2	-	2.0
	地 下 タ ン ク	110	13	30	3	5	7	13	25	13	1	20.2
	簡 易 タ ン ク	8	-	1	-	3	1	2	1	-	-	1.5
	移 動 タ ン ク	54	7	3	25	5	3	-	-	11	-	9.9
	屋 外	36	-	26	-	-	6	-	4	-	-	6.6
取 扱 所	給 油 ( 営 業 )	45	4	10	6	6	3	1	7	8	-	8.3
	給 油 ( 自 家 )	42	1	9	4	5	6	3	7	6	1	7.7
	第 1 種 販 売	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	第 2 種 販 売	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	0.2
	一 般	93	13	24	9	3	9	17	13	3	2	17.1

17 危険物施設等立入検査状況

(平成26年度)

施設別	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 1 種 販 売	第 2 種 販 売	一 般
施 設 数	545	7	100	37	11	110	8	54	36	87	1	1	93
検査実施施設数	121	-	4	-	-	6	2	44	-	58	-	1	6
延 べ 人 員	271	-	8	-	-	12	4	114	-	119	-	2	12
指 導 施 設 数	70	-	3	-	-	6	2	2	-	52	-	-	5
指 導 事 項 数	249	-	3	-	-	9	2	2	-	222	-	-	11

※移動タンク貯蔵所の検査実施施設数は、他市町村長の許可施設を含む。

## 18 危険物施設の事務処理状況

消防法の規制を受ける危険物施設の平成26年度中における設置許可、変更許可及び完成検査の事務取扱い件数は147件あり、このうち設置及び変更許可は73件、完成検査は74件でした。

また、届出等の事務取扱い件数は222件で、そのうち主なものは危険物製造所等資料提出（取扱者関係を含む）が147件、次に保安監督者選任（解任）届が50件となっています。

(平成26年度)

施設別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	第 1 種 販 売	第 2 種 販 売	一 般
合 計		414	4	27	2	1	53	-	10	9	163	-	3	142
許 可	設 置	12	-	3	-	-	2	-	-	3	1	-	-	3
	変 更	61	1	1	1	-	7	-	-	-	19	-	-	32
完 成	設 置	13	-	3	-	-	3	-	-	3	-	-	-	4
	変 更	61	-	1	1	-	6	-	-	-	18	-	1	34
仮 使 用		45	1	1	-	-	-	-	-	-	13	-	-	30
小 計		192	2	9	2	-	18	-	-	6	51	-	1	103
種類、数量変更届		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
譲 渡 引 渡 届		2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
廃 止 届		22	-	-	-	1	7	-	3	-	4	-	-	7
保安監督者選任(解任)届		50	1	11	-	-	6	-	-	-	25	-	1	6
資 料 提 出	取扱者関係	28	-	-	-	-	9	-	6	3	-	-	-	10
	そ の 他	119	1	7	-	-	11	-	1	-	82	-	1	16
小 計		222	2	18	-	1	35	-	10	3	112	-	2	39

## 19 少量危険物等届出状況

(平成26年度)

施設別 区分	合 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	移 動 タンク	屋 外 貯 蔵 所	販 売 所	取 扱 所
平成26年度届出数	24	5	1	1	-	1	3	-	13
平成26年度廃止届出数	13	1	-	-	-	2	-	-	10
合 計	37	6	1	1	-	3	3	-	23

## 20 危険物手数料

### (1) 手数料納入額

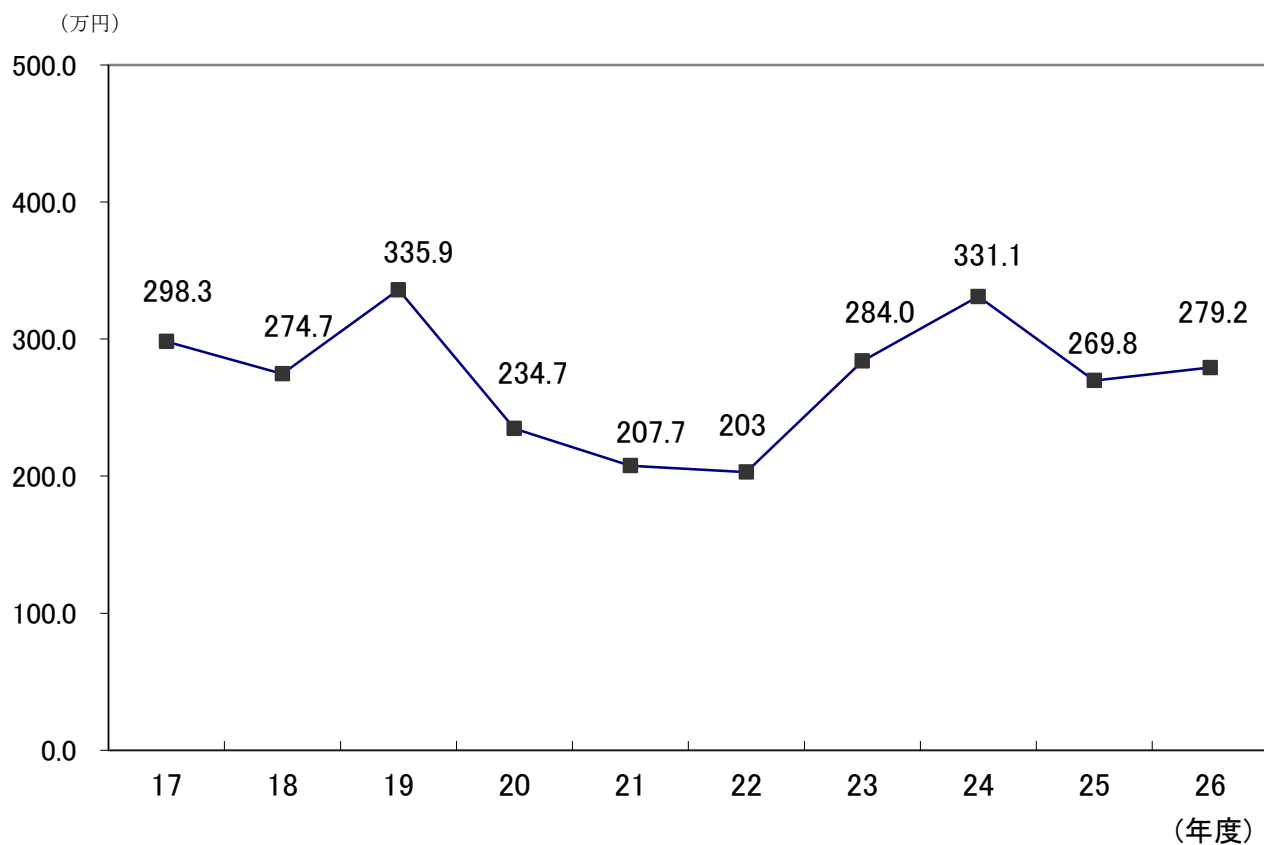
指定数量以上の危険物を貯蔵又は取扱いをする場合、及び指定数量以下の少量危険物を貯蔵又は取扱いをするタンクの水張検査等を受ける場合の市条例に基づく手数料納入額です。

(平成26年度)

区分	合計	許 可 及 び 完 成 検 査			タンク検査		仮貯蔵・仮取扱・仮使用		
		設置許可	変更許可	完成検査	水張	水圧	仮貯蔵	仮取扱	仮使用
金額(円)	<b>2,792,950</b>	333,000	1,300,500	828,250	12,000	33,000	—	43,200	243,000
					—	—			

※タンク検査欄の下段は、指定数量未満の危険物等の手数料納入額

### (2) 過去10年間の危険物手数料の推移



警

防





## 火災の概要

平成26年中の火災は54件で、前年に比べ9件の減少となっています。これは、約7日に1件の割合で火災が発生したことになります。

この火災件数を種別ごとにみると、建物火災が20件（全火災の37.0%）、林野火災が4件（7.4%）、車両火災が6件（11.1%）、その他の火災が24件（44.5%）となっています。これらを前年と比較すると、建物火災が4件減少し、林野火災が3件増加、車両火災が3件、その他の火災が5件減少しました。

また、火災による死傷者については、死者0人、負傷者5人で前年に比べ死者が2人、負傷者が1人の減少となっています。

損害見積額は、49,808千円で、前年と比較すると20,128千円の減少となっています。

なお、出火原因別の出火件数を多い順にみると（その他、不明・調査中を除く。）、放火（疑い含む。）10件、たばこ9件、たき火7件と続いています。また、放火（疑い含む。）の件数は、全体の18.5%を占めています。

### 1 火災種別死傷者発生調

死傷者等		火災種別				合計
		建物	林野	車両	その他	
25年	件数	24	1	9	29	63
	死者	-	-	1	1	2
	負傷者	6	-	-	-	6
26年	件数	20	4	6	24	54
	死者	-	-	-	-	-
	負傷者	5	-	-	-	5

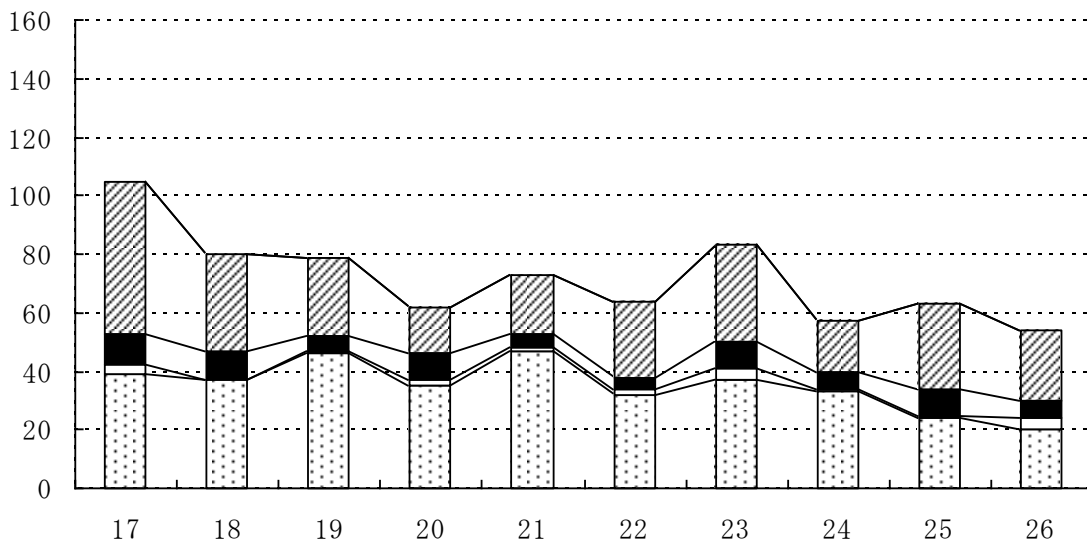
### 2 火災概況調

平成27年1月1日 人口 225,133人

区分	件数等	摘要
火災発生件数	54件	建物20、林野4、車両6、その他24（件）
建物焼損面積	397㎡	平成25年 767㎡
林野焼損面積	25 a	平成25年 1 a
建物焼損棟数	28棟（類焼含む）	全焼5、半焼3、部分焼8、ぼや12（棟）
損害額	49,808（千円）	平成25年 69,936（千円）
り災世帯数	14世帯	全損1世帯、半損3世帯、小損10世帯
死者	0人	平成25年 2人
負傷者	5人	平成25年 6人
1日当たり発生件数	0.15件	平成25年 0.17件
1日当たり建物焼損面積	1.1㎡	平成25年 2.1㎡
1日当たり林野焼損面積	0.0685a	平成25年 0.0027a
1日当たり建物焼損棟数	0.052棟	平成25年 0.104棟
1日当たり損害見積額	136（千円）	平成25年 191（千円）
1日当たりのり災世帯数	0.04世帯	平成25年 0.04世帯
市民1人当たりの損害見積額	221（円）	平成25年 310（円）
1件当たりの損害見積額	922（千円）	平成25年 1,110（千円）

### 3 過去10年間の火災件数

□建物 □林野 ■車両 ▨その他



種別 \ 年別	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
建 物	39	37	46	35	47	32	37	33	24	20
林 野	3	-	1	2	1	2	4	1	1	4
車 両	11	10	5	9	5	4	9	6	9	6
そ の 他	52	33	27	16	20	26	33	17	29	24
合 計	105	80	79	62	73	64	83	57	63	54

### 4 主要火災原因別累年比較調

年別 \ 区分	たばこ	たき火	火遊び	こんろ	放火	放火の疑い	風呂かまど	ストーブ	ライター・マッチ	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	配線器具	その他	不明・調査中	合計
21	9	5	3	10	6	9	-	2	-	-	4	-	19	6	73
22	7	6	2	8	9	6	1	2	1	2	-	-	13	7	64
23	2	8	6	3	10	8	2	2	-	-	2	1	12	27	83
24	9	5	2	9	12	3	1	-	1	-	2	2	4	7	57
25	7	5	1	3	14	10	-	-	-	-	-	1	9	13	63
26	9	7	-	-	7	3	-	2	-	-	-	-	14	12	54

## 5 損害見積額累年比較調

(単位：千円)

年別 火災種別	22	23	24	25	26
建 物	241,667	105,930	24,121	65,308	44,353
林 野	—	—	—	—	—
車 両	699	6,705	2,468	2,212	3,199
そ の 他	2,704	11,774	418	2,416	2,256
合 計	245,070	124,409	27,007	69,936	49,808

## 6 全国・県・市火災発生状況調

(平成26年中)

種分 区分	火 災 件 数							損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	
全 国	43,632	23,569	1,488	4,457	86	1	14,031	79,333,318
神奈川県	2,366	1,333	20	215	—	—	798	2,416,813
厚 木 市	54	20	4	6	—	—	24	49,808







8-2 時刻別火災発生状況（その2）

火災種別 時刻別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
00-01								1		11		12
01-02												
02-03												
03-04		2		197	83							280
04-05										1		1
05-06												
06-07												
07-08								587				587
08-09												
09-10					1							1
10-11				308	26			100				434
11-12				3,509	1,024					2,191		6,724
12-13												
13-14		1		35	5					8		48
14-15				225	95							320
15-16				1,038	30					28		1,096
16-17				40	183							223
17-18								50				50
18-19		1						4				4
19-20				13	8			100		9		130
20-21				10,174	20,219			390				30,783
21-22				2	1					8		11
22-23		1		5,797	1,340			1,967				9,104
23-24												
不明												
合 計		5		21,338	23,015			3,199		2,256		49,808

9 月別原因別火災発生状況

原因別	月												合 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
たばこ	2		2	1				1	1	1		1	9
こんろ													
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ	1											1	2
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管										1			1
電気機器											1		1
電気装置								1					1
電灯・電話等の配線													
内燃機関													
配線器具													
火あそび													
マッチ・ライター													
たき火	4			2			1						7
溶接機・溶断機													
灯火		1	1										2
衝突の火花													
取灰													
火入れ													
放火	3			1		1		1			1		7
放火の疑い	1								1			1	3
その他			3	2	1		1					2	9
不明・調査中	1	1	1	4		1	1	1	1		1		12
合 計	12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54





10-2 原因別火災発生状況（その2）

火災種別 原因別 原因別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
たばこ		1		6,835	1,408					37		8,280
こんろ												
かまど												
風呂かまど												
炉												
焼却炉												
ストーブ				308	27							335
こたつ												
ボイラー												
煙突・煙道												
排気管								100				100
電気機器												
電気装置					183							183
電灯・電話等の配線												
内燃機関												
配線器具												
火あそび												
マッチ・ライター												
たき火												
溶接機・溶断機												
灯火		2		210	91					9		310
衝突の火花												
取灰												
火入れ												
放火		1		10,209	20,225			391		10		30,835
放火の疑い				2						9		11
その他		1		3,549	1,024			591				5,164
不明・調査中				225	57			2,117		2,191		4,590
合 計		5		21,338	23,015			3,199		2,256		49,808

# 1 1 月別用途別火災発生状況

用途別	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
住宅			1							1		2	4
併用住宅													
共同住宅	1		2					2	1				6
劇場													
公会堂													
キャバレー													
遊技場													
性風俗店													
カラオケボックス等													
料理店													
飲食店													
物品販売店舗													
旅館													
病院											1		1
グループホーム等													
福祉施設													
幼稚園													
学校												1	1
図書館													
特殊浴場													
公衆浴場													
停車場													
神社・寺院	1			1									2
工場								1		1			2
スタジオ													
駐車場							1						1
航空機格納庫													
倉庫													
事務所													
複合用途（特定）	1								1				2
複合用途（非特定）													
地下街													
準地下街													
文化財													
その他		1											1
計	3	1	3	1			1	3	2	2	1	3	20
自動車車両		1		3			1		1				6
鉄道車両													
船舶													
航空機													
林野	1		1	2									4
その他	8		3	4	1	2	1	1	1		1	2	24
計	9	1	4	9	1	2	2	1	2		1	2	34
合計	12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54

1 2 - 1 地区別火災発生状況（その1）

火災種別 地区別	火災件数							焼損棟数									り災世帯数				焼損面積							
	建 物	屋 外					計	爆 発	火 元				類 焼					全 損	半 損	小 損	計	り 災 人 員	焼 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	焼 損 表 面 積 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	そ の 他 (a)		
		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や										計	
厚木地区	5				6	11		1			4	5	4	1	3	1	9	1	1	3	5	11	305	11				
依知地区	2			1	1	8	12	1			1	1													17	15		
睦合地区	7			1	1		9			1	2	4	7							1	4	5	8	37	11		5	
荻野地区						2	2																					
小鮎地区	2				1	3	6				1	1	2								1	1	3	1	4	3		
玉川地区				1	1	3	5																			5	7	
南毛利地区	4			3		2	9			1	2	1	4								1	2	3	5	54	11		
相川地区																												
合 計	20			6	4	24	54	1	1	2	5	11	19	4	1	3	1	9	1	3	10	14	27	397	37	25	27	

1 2 - 2 地区別火災発生状況（その2）

58

火災種別 地区別	死傷者			損害額(千円)								
	死 者	負 傷 者	30 日 死 者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
厚木地区				10,176	20,220			977		2,200		33,573
依知地区					183			1		10		194
睦合地区		1		4,117	1,116			50		28		5,311
荻野地区										1		1
小鮎地区		2		237	83							320
玉川地区								100				100
南毛利地区		2		6,808	1,413			2,071		17		10,309
相川地区												
合 計		5		21,338	23,015			3,199		2,256		49,808

1 3 月別覚知別火災発生状況

(平成26年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火災報知専用電話 (NTT加入を除く 固定電話から)	1		1									2	4
火災報知専用電話 (NTT加入の 固定電話から)		1		2				1					4
火災報知専用電話 (携帯電話から)	6	1	5	7	1	1	3	1	3	1	1	2	32
加入電話 (固定電話から)			1									1	2
加入電話 (携帯電話から)						1							1
警察電話													
駆け付け通報	3												3
事後聞知	2			1				2	1	1	1		8
その他													
合 計	12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54

1 4 月別気象別火災発生状況

(平成26年中)

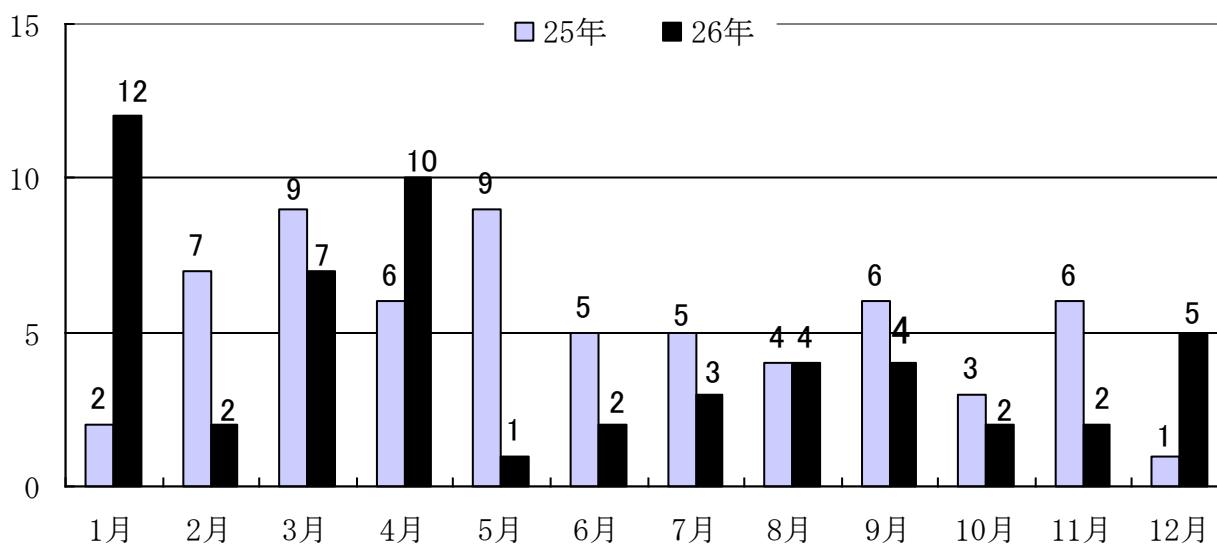
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		気象別												
風速別	1 m未満	3			1			1		1		2		8
	1 m以上	7	1	2	5	1	1		2	2	2		1	24
	2 m以上	1	1	1	2		1						1	7
	3 m以上			2					1	1			1	5
	4 m以上	1		2	2			1					2	8
	5 m以上							1	1					2
	6 m以上													
	7 m以上													
	8 m以上													
	9 m以上													
	10 m以上													
	15 m以上													
不明														
合計		12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54
湿度別	30%未満	2		1						1	1		1	6
	30%以上	5	1	2	5		1			1			3	18
	45%以上		1	2	2	1		1			1			8
	55%以上			1			1	1	1	1				5
	65%以上	3		1				1	2					7
	75%以上	2			3								2	7
	85%以上								1	1			1	3
不明														
合計		12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54
天気別	晴	9	1	4	7	1	2	3	2	3	2		4	38
	曇	2	1	3	3				2			1		12
	雨	1								1		1	1	4
	雪													
	その他													
不明														
合計		12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5	54

15 曜日別累年火災発生件数調

曜日 年別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
17	22	15	13	15	7	14	19	-	105
18	9	12	10	13	12	11	13	-	80
19	14	10	7	12	14	11	11	-	79
20	7	11	10	6	6	8	14	-	62
21	12	12	12	14	9	10	3	1	73
22	10	12	6	5	6	9	15	1	64
23	12	14	6	9	10	12	20	-	83
24	6	8	11	7	8	8	9	-	57
25	12	10	6	10	5	10	10	-	63
26	13	7	3	11	9	1	10	-	54

16 月別火災件数の比較調

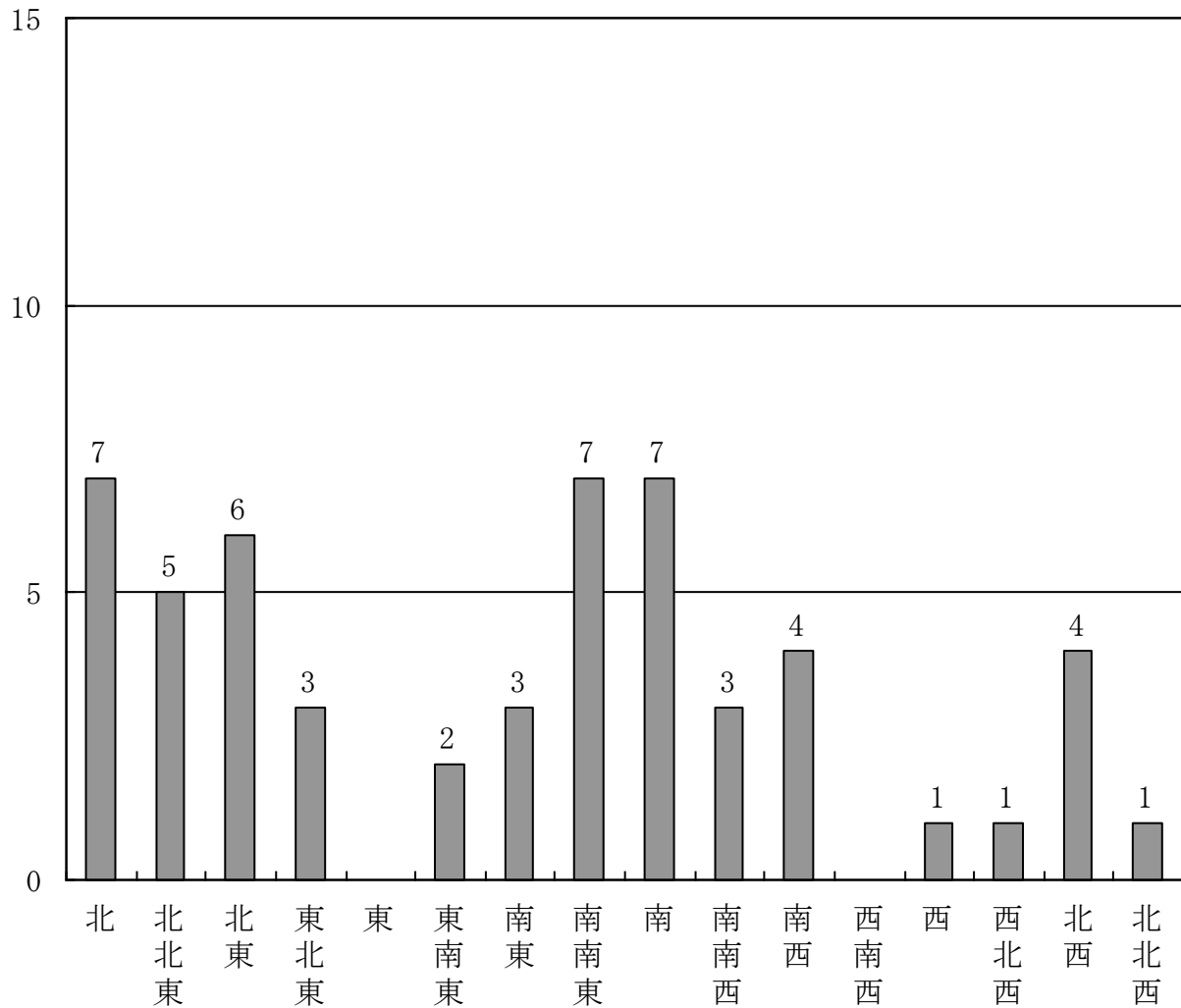
月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25年	2	7	9	6	9	5	5	4	6	3	6	1
26年	12	2	7	10	1	2	3	4	4	2	2	5





# 17 風向と火災件数

(平成 26 年中)



# 18 消防相互応援件数 (火災)

(平成 26 年中)

区分	応援市町村	横	相	平	綾	海	伊	大	秦	座	愛	清	合
	市町村	浜	模	塚	瀬	老	勢	和	野	間	川	川	計
応援	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	4
東名高速	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2
受援	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	3
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

## 19 昭和35年以降の主な火災

(平成26年12月31日現在)

発生年月日	出火時分	出火場所	用途	全焼	半焼等	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)	焼死者
37.4.5	1:00	厚木2573	住 宅	3	1	234	2,058	-
10.5	20:45	厚木1812	組 合 事 務 所	2	3	700	4,374	-
38.12.13	12:34	厚木1332	住 宅	1	-	12	6	1
39.3.12	1:00	金田916	工 場	-	1	380	12,393	-
4.6	15:10	岡田1357	住 宅	3	2	335	1,128	1
9.8	10:12	厚木1300先	米軍ジェット戦闘機	1	-		不明	1
10.20	19:30	厚木316	店舗・工場	1	-	549	17,772	-
40.1.21	12:20	上古沢74	林 野			10(アール)	4	1
41.3.24	18:19	金田982	工 場	2	1	5,219	331,025	-
6.14	22:43	飯山3061	工 場	1	2	1,456	136,982	-
44.12.18	1:27	旭町4-16-10	住 宅	-	1	25	1,210	1
45.1.7	12:20	飯山2367	学 校	1	2	640	20,390	-
5.21	8:26	中町2-12-13	飲 食 店 舗	1	-	756	28,903	-
7.8	20:16	幸町8-8	住 宅	-	1	40	973	1
11.13	4:30	上依知2677	住 宅	1	-	84	1,465	4
46.5.12	16:35	三田984	住 宅	1	-	139	5,678	1
10.5	18:30	温水2200	工 場	1	-	1,855	82,663	-
47.1.27	1:00	寿町1-9-1	住 宅 他	4	3	348	17,684	-
2.20	1:14	厚木794-2	住 宅	1	1	236	11,217	1
48.8.18	0:10	酒井2191	住 宅	1	-	33	1,484	1
49.1.20	21:59	妻田247	住 宅	3	-	535	58,249	-
5.25	10:30	中依知88-1	工 場	1	-	3,942	218,443	-
50.4.30	23:42	金田871	工 場	1	-	389	65,648	-
51.11.9	0:10	中町1-7-11	倉庫・住宅	1	3	201	23,543	-
52.1.20	23:27	温水2200	工 場	1	-	1,865	59,533	-
6.29	2:20	寿町2-2-20	倉 庫	1	-	509	30,703	-
53.1.30	13:58	妻田559-3	住 宅	1	-	32	1,950	3
3.29	9:29	下依知49-4	住 宅	-	1	28	3,609	1
54.2.12	7:30	金田160-2	住 宅	1	-	150	17,978	1
5.17	3:50	旭町3-17-15	住 宅	1	-	62	7,257	1
56.2.4	18:34	下萩野1150-2	住 宅	-	1	23	2,591	2
2.24	4:40	金田519	住 宅	-	1	52	3,463	1
5.5	16:48	三田3-4	住 宅	3	-	132	30,909	1
57.1.9	3:04	飯山3061-3	工 場	1	-	355	51,144	-
12.24	22:29	下萩野231	住 宅	1	-	49	10,267	1
59.6.5	2:48	上萩野2688	工 場	1	-	3,320	150,270	-
12.16	14:17	金田62-2	工 場	2	-	727	73,277	-
60.4.19	10:41	恩名437	住 宅	1	-	220	22,929	1
61.2.25	16:54	寿町2-8-18	住 宅	1	1	457	32,487	-
62.8.4	3:20	戸田933	牛 舎	3	-	582	35,272	-
63.11.11	17:21	猿ヶ島101	住 宅	4	3	397	25,220	-
H元.6.20	21:15	三田2003	工 場	1	-	2,399	272,534	-
7.1	1:15	飯山278	作 業 場	1	-	961	47,606	-
2.1.16	3:42	岡津古久910	事 務 所 他	3	-	659	16,907	-
4.5.2	16:00	妻田西1-31-38	住宅(かや葺き)	1	3	273	34,631	-
9.18	21:10	森の里5-14-11	建 築 中 住 宅	1	4	167	15,790	-
5.1.22	20:45	愛甲375	住 宅	1	-	416	39,400	-
2.18	11:27	下川入404-3	作 業 場	1	1	428	19,900	-
6.10.27	2:45	中町2-10-15	店 舗	-	3	438	150,358	-
7.9.19	9:32	下萩野972-2	住 宅	1	1	40	4,600	1
11.19	0:15	及川111	住 宅	2	3	333	20,212	-
8.4.11	19:32	関口75	作 業 場	1	-	376	23,539	-
6.3	0:48	三田975	倉 庫	2	-	217	10,974	-
9.7.24	13:05	金田378	住 宅	1	1	137	16,658	-
10.1.31	23:37	上古沢1894	住 宅	3	-	271	7,571	-
12.2.7	2:07	上依知592-14	倉 庫	10	3	720	150,175	-
13.10.16	1:37	下川入216	作 業 場 他	4	11	932	174,081	-
14.10.22	15:10	中町3-1-17	複 合 用	-	1	132	24,764	-
15.10.24	19:00	下依知300	倉 庫	-	1	2,232	225,205	-
16.6.9	3:24	金田699-1	工 場	1	-	931	149,309	-
17.10.18	13:04	上依知421	工 場	1	2	365	22,848	-
18.7.29	0:42	船子607-40	住 宅	1	5	186	19,167	-
19.12.13	5:20	上依知1323	住 宅	1	-	104	5,299	2
20.11.13	20:57	林3-14-43	住 宅	1	2	134	20,966	1
21.5.27	10:31	温水2263-6	住 宅	2	1	122	17,558	1
22.11.2	13:37	岡津古久560	工 場	-	1	378	116,115	-
23.4.2	1:50	下依知1094	住 宅	1	-	192	68,184	2
25.6.20	13:40	旭町4-8-8	住 宅	2	9	370	45,909	-
26.4.20	20:20	厚木町3-8	住 宅 等	5	3	305	10,174	-

## 指令・通信の概要

### 1 通信業務

指令課では、24時間2交替勤務を行って、火災・救急その他の災害発生による119番の受信、消防隊等への出動命令、出動部隊との無線交信による災害状況等の把握及び出動部隊への防ぎよ活動上必要な情報伝達、救急病院との連絡等、消防通信全般を総轄しています。

「火事と救急は119」でおなじみの119番通報ですが、本来の目的である災害出動に伴う緊急通報以外に、火災や救急の問い合わせや、いたずら、消防機関に対する相談などといった誤った使用が多く見受けられます。

平成26年中の119番受信総件数は、15,863件で、前年に比べると14件増加し、1日の平均受信件数は、43件となっています。また、携帯電話等からの受信件数は、6,754件（全受信の42%）あり増加の傾向にあります。

#### (1) 119番受信状況（平成26年中）

（）内は、携帯電話等からの受信件数（内数）

種別	受信件数	比率（%）	種別	受信件数	比率（%）
火災	212（114）	1.3	いたずら	50（19）	0.3
救急	10,483（4,387）	66.1	まちがい	740（494）	4.7
その他の災害	235（129）	1.5	試験・その他	2,859（905）	18.0
問い合わせ	1,284（706）	8.1	計	15,863（6,754）	100

#### (2) 月別119番受信状況（平成26年中）

（）内は、携帯電話等からの受信件数（内数）

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	1,312 (557)	1,379 (584)	1,292 (508)	1,195 (530)	1,276 (517)	1,265 (547)	1,342 (612)	1,453 (664)	1,288 (547)	1,307 (545)	1,237 (505)	1,517 (638)	15,863 (6,754)

#### (3) 119番受信状況の推移

（）内は、携帯電話等からの受信件数（内数）

年別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
件数	14,703 (5,798)	15,426 (6,202)	15,693 (6,427)	15,849 (6,691)	15,863 (6,754)

#### (4) 指令係各種機器の現況

##### ア 高機能消防指令システム

指令台（PD9502A）3台・自動出動指定装置・地図等検索装置・長時間録音装置・非常用指令設備・指令制御装置・指令情報送信装置・指令情報出力装置・署所端末・災害状況等自動案内装置・順次指令装置・音声合成装置・出動車両運用監理装置・システム監視装置・電源設備（無停電電源設備含む）・遠隔録音装置・119番補助受付装置・電子メール指令装置・消防情報支援装置・災害現場支援情報検索装置

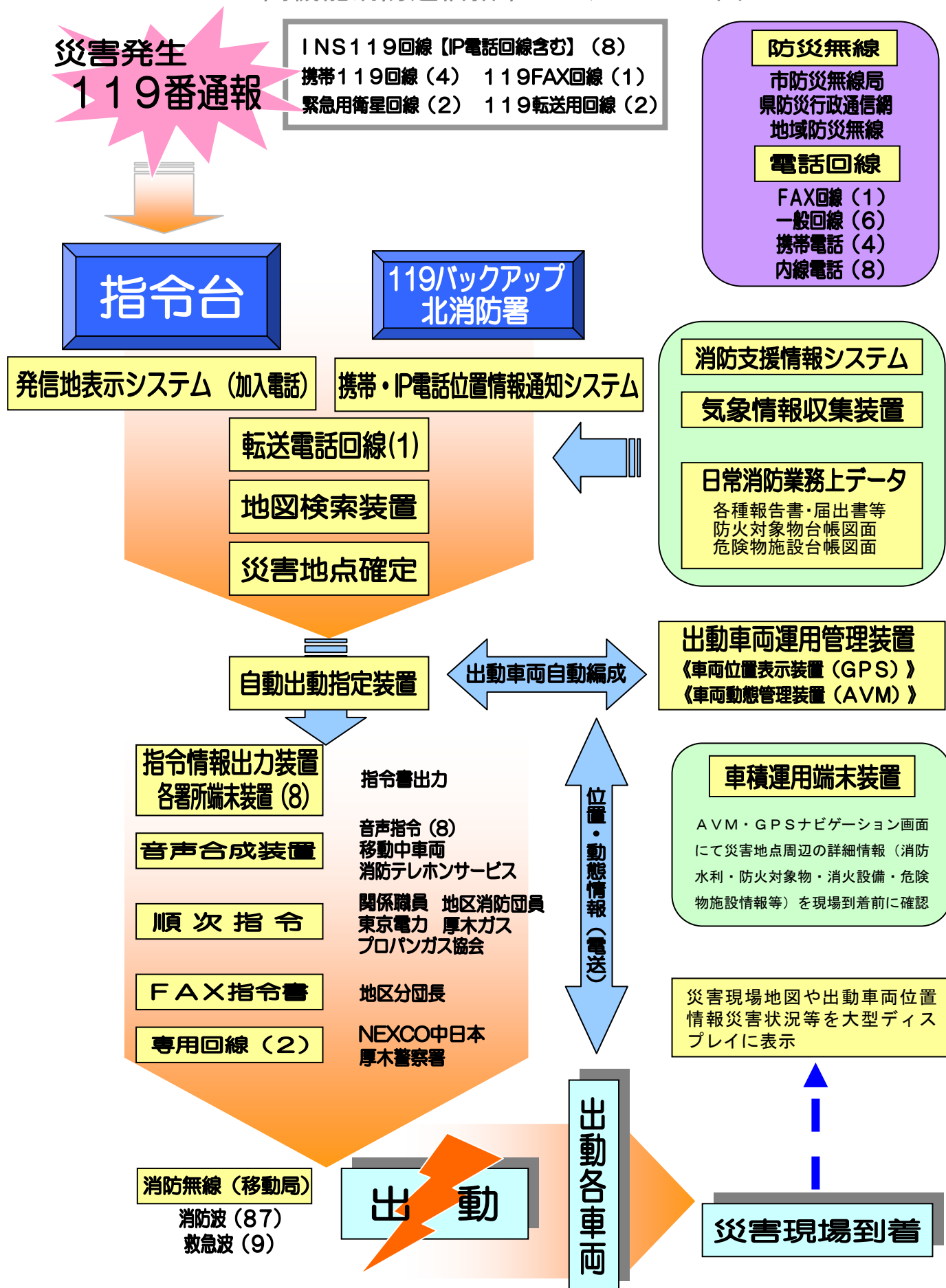
- イ 指揮台 (PD9503A) 1台
- ウ NTT発信地表示装置
- エ 携帯・IP電話発信位置表示装置  
携帯電話：(NTTドコモ・au・ソフトバンクモバイル・イーモバイル)  
IP電話：(NTT-IP・KDDI・ソフトバンクテレコム・フュージョン)
- オ 表示盤  
(ア) 車両運用表示盤  
(イ) 多目的情報表示装置 (東芝DLP50 インチ4面マルチプロジェクト)  
(ウ) 支援情報表示盤  
(エ) 50インチプラズマディスプレイ (災害対策室・多目的情報表示装置連動)
- カ 無線統制台 (PD2234A)

【 局数及び周波数 】

局名 \ 波名	消防波	救急波
	市町村波(1) 150.07MHz " (2) 151.43MHz 県波 152.77MHz 全国波(1) 150.73MHz " (2) 148.75MHz " (3) 154.15MHz	147.76MHz 143.76MHz
基地局	2	2
半固定局	8 (分署6、北署1、指令室1)	—
移動局	79 (内携帯43)	9

- キ 庁舎監視カメラ装置
- ク 気象情報収集装置 (FWS-5803型)
- ケ 聴覚障害者専用緊急通報用ファクシミリ
- コ 市防災行政無線台 (富士通RC7100)
- サ 市地域防災無線装置
- シ 県防災行政通信網 (ファクシミリ付)
- ス 消防団幹部等災害連絡用ファクシミリ (リコー)
- セ 震度情報表示盤
- ソ 防災テレビ
- タ 受令機
- チ Em-NET (緊急情報ネットワークシステム)
- ツ J-ALERT (全国瞬時警報システム)

### 高機能消防通信指令システムフロー図



# 気 象

## 1 厚木市の気象状況

### (1) 天候 (9時現在調)

(平成26年中)

月別 区分	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
晴 (日数)	207	24	17	16	18	19	10	17	17	13	17	16	23
曇 (日数)	108	6	7	9	8	10	13	10	9	12	9	10	5
雨 (日数)	48	1	2	6	4	2	7	4	5	5	5	4	3
雪 (日数)	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### (2) 気 温 (°C)

(平成26年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温	36.4	15.7	19.3	23.1	25.0	30.6	31.9	36.4	35.2	32.4	30.0	23.4	16.0
最低気温	-3.0	-2.6	-2.3	-3.0	1.5	10.3	16.9	18.5	19.4	15.0	8.5	4.1	-1.8
平均気温	15.5	5.1	4.7	9.2	13.5	19.1	22.4	25.7	27.0	22.5	18.0	13.2	6.1

### (3) 相対湿度 (%)

(平成26年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高湿度	99.9	95.0	99.9	94.4	94.9	92.5	92.7	92.7	93.3	92.5	93.3	95.5	97.4
最低湿度	8.0	13.3	17.2	8.0	16.1	12.2	20.8	29.4	38.6	22.2	20.8	23.0	13.3
平均湿度	63.8	55.6	59.7	57.5	60.7	61.3	71.4	71.0	69.4	65.5	67.4	66.7	59.8

### (4) 風向・風速 (M/S)

(平成26年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均風向	北北西	北	北	北	北北西	南	北北西	南	北北西	北北西	北北西	北	北
平均風速	1.8	1.5	1.8	2.0	1.8	2.2	1.9	2.0	2.4	1.7	1.7	1.5	1.5
瞬間最大風速 及び 風向	22.9 南	14.9 北	21.9 北西	20.2 南南東	16.9 南西	17.4 南南東	15.3 北北西	16.4 南南東	19.3 南南東	15.0 南南東	22.9 南	13.6 北	16.4 南南西

## 2 気象通報発令状況調

(平成26年中)

種別	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	合計		320	13	34	25	14	23	42	43	36	18	43	5
警報	暴風	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	大雨	9	-	-	-	-	-	3	1	1	2	2	-	-
	洪水	5	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-
	波浪	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	小計	18	0	2	0	0	0	4	2	2	2	6	0	0
注意報	強風	6	-	2	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-
	大雨	33	-	1	2	1	4	7	8	3	3	3	-	1
	洪水	31	-	1	2	1	5	7	8	2	2	2	-	1
	大雪	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雷	79	1	3	6	4	11	10	16	11	6	6	1	4
	乾燥	24	5	4	4	2	2	-	-	-	-	1	1	5
	濃霧	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	霜	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	低温	11	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	その他	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	198	13	20	16	13	22	25	33	16	11	14	2	13
情報	台風について	22	-	-	-	-	-	-	-	4	-	18	-	-
	地震について	7	-	1	-	1	1	1	-	-	1	-	2	-
	雨について	11	-	-	-	-	-	6	2	-	3	-	-	-
	雪について	14	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	その他	50	-	-	9	-	-	6	6	14	1	5	1	8
	小計	104	0	12	9	1	1	13	8	18	5	23	3	11

### 3 累年降雨量調

年区分		月別												
		合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
17年	降水日数	102	6	8	11	9	7	10	11	9	11	14	4	2
	月間総雨量	1,401.5	53.5	57.5	82.0	78.5	70.5	134.0	318.0	202.0	175.5	204.0	22.5	3.5
18年	降水日数	123	7	9	8	10	17	12	14	10	10	10	9	7
	月間総雨量	1,762.5	49.0	134.5	97.5	137.5	153.5	230.5	205.5	157.5	129.5	213.0	101.0	153.5
19年	降水日数	108	6	5	6	15	10	7	19	8	9	10	6	7
	月間総雨量	1,477.5	49.5	42.5	62.0	112.5	127.5	85.0	404.5	83.0	291.0	115.5	28.0	76.5
20年	降水日数	120	6	8	10	12	14	12	9	17	11	8	7	6
	月間総雨量	1,975.5	18.0	42.5	118.0	207.0	333.0	211.5	76.5	393.0	256.5	197.5	64.5	57.5
21年	降水日数	125	8	8	12	6	11	16	16	7	8	12	15	6
	月間総雨量	1,553.5	146.0	69.5	90.5	167.5	162.5	177.0	137.0	168.0	58.0	180.0	137.0	60.5
22年	降水日数	125	4	12	15	15	12	13	10	6	12	12	8	6
	月間総雨量	1,876.5	12.0	118.5	196.5	198.0	104.5	146.5	107.0	126.0	386.0	210.0	71.5	200.0
23年	降水日数	117	1	10	8	8	13	12	13	15	13	10	7	7
	月間総雨量	1,471.5	1.0	111.0	75.5	64.0	223.5	133.0	78.5	245.5	254.5	147.0	86.5	51.5
24年	降水日数	120	7	8	11	12	10	16	10	5	13	11	7	10
	月間総雨量	1,698.0	45.0	125.0	148.5	151.0	242.0	252.0	158.0	21.5	232.5	98.5	137.0	87.0
25年	降水日数	105	6	8	10	9	8	10	10	8	11	14	4	7
	月間総雨量	1,513.0	58.0	58.5	49.0	324.5	56.5	155.5	53.5	40.0	352.5	289.0	33.0	43.0
26年	降水日数	114	7	7	11	11	10	12	10	10	10	10	11	5
	月間総雨量	1,732.5	28.5	75.5	140.5	140.0	106.0	370.5	64.0	80.5	150.0	437.0	70.0	70.0

※雨量の単位：ミリメートル



消防署部隊の出動・訓練概要

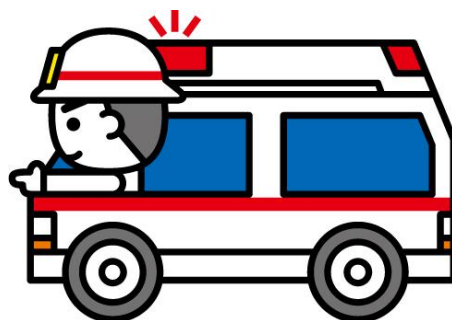
1 月別部隊出動状況

月別 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員			
合計	11,482	12,356	36,924	991	1,058	2,338	1,000	1,048	3,205	927	1,014	3,114	846	920	2,844	956	1,052	3,226	903	945	2,869	963	1,035	3,160	1,019	1,102	3,363	944	1,037	3,170	934	1,008	3,099	874	918	2,797	1,125	1,219	3,739
火災	54	229	820	12	39	134	2	11	41	7	37	133	10	42	163	1	2	8	2	5	18	3	13	47	4	12	43	4	23	78	2	9	31	2	5	19	5	31	105
救急	11,106	11,106	32,418	957	957	1,971	975	975	2,925	898	898	2,694	820	820	2,460	927	927	2,781	882	882	2,646	940	940	2,820	988	988	2,964	905	905	2,715	877	877	2,631	844	844	2,532	1,093	1,093	3,279
救助	125	683	2,391	8	45	157	8	44	161	9	51	177	6	39	150	14	69	238	7	36	125	12	55	198	17	88	301	12	71	241	11	65	217	8	43	143	13	77	283
警戒	164	296	1,142	14	17	76	15	18	78	13	28	110	10	19	71	14	54	199	8	18	64	8	27	95	8	12	47	17	28	105	23	31	122	20	26	103	14	18	72
風水害	33	42	153	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2 月別部隊訓練等状況

月別 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			
	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員				
合計	195	439	868	21	35	97	4	10	24	9	18	39	29	72	120	34	88	160	16	40	78	28	67	106	18	43	73	11	23	45	6	12	22	13	22	72	6	9	32	
消防操法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
梯子車 架てい操法	21	36	55	3	4	5	1	2	4	1	2	6	4	7	5	4	7	4	-	-	-	2	2	8	3	7	16	1	1	1	1	1	1	1	1	3	5	-	-	-
揚水、放水	5	8	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	2	4	8	-	-	-	-	-	-	1	1	4	1	2	4	
走行	24	48	79	3	6	15	-	-	-	6	14	20	2	2	4	-	-	-	2	4	6	6	13	18	2	3	4	1	2	4	2	4	8	-	-	-	-	-	-	
消防器具	11	16	49	1	2	4	1	2	5	-	-	-	2	3	6	-	-	-	1	1	6	1	1	9	1	1	4	1	2	3	1	2	4	1	1	4	1	1	4	
梯子車 現地架てい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
救助	110	289	515	12	21	60	1	3	5	-	-	-	19	57	94	29	79	148	11	32	56	16	48	60	9	24	33	5	12	21	-	-	-	7	12	34	1	1	4	
救助器具	12	16	52	1	1	4	-	-	-	2	2	13	1	1	4	-	-	-	1	2	4	2	2	6	-	-	-	-	-	2	5	9	1	1	4	2	2	8		
救命ボート	1	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
救急	4	9	30	1	1	9	1	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
礼式	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
潜水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
水防	1	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
演習	3	7	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	21	1	3	12	
地震初動 態勢訓練	2	5	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	8	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-			

救 急



# 救急救命

## 1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制

救急現場から医療機関への搬送途上で救急救命士等が行う応急処置の質の向上のため、厚木市消防本部は、湘南・県央の一部・県西地区の14消防本部を統轄する湘南地区メディカルコントロール協議会に加盟し、活動しています。

主な活動内容は、医師による救急救命士への指示及び救急隊員への指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、病院実習等の再教育及び各種研修会の開催となっています。

救急救命士の教育（病院実習）状況 (平成26年度)

区分	人数	区分	人数
救急救命士の再教育実習	37	生涯教育講座 (救急セミナー)	214
気管挿管病院実習	1		
薬剤投与病院実習	0		

事後検証実施状況

一次検証	件数	二次検証	件数
	9,960		210

指示・指導・助言実施状況

件数
224

※一次検証とは、救急技術指導者（消防職員）が部隊活動、医学的判断、処置について検証を行う。

※二次検証とは、一次検証の中から心肺停止症例、重症外傷症例等について検証医師が検証を行う。

## 2 応急手当普及啓発活動

救急車が到着するまでの間、救急現場に居合わせた人の一刻も早い応急手当が、傷病者救命のために大変重要なこととなるため、市民の方々に心肺蘇生法の実技指導を中心とした各種講習会を実施しています。また、だれでもが自動体外式除細動器（心臓の不整脈等が原因で発生する心肺停止傷病者へ電気ショックを行う医療機器）の使用ができることとなり、応急手当等の技術習得に市民の関心が、年々高まっています。

救命講習会実施状況

	平成6年度～累計		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
普及員	21	490	2	41	4	92	3	56	5	79
上級	31	1,033	1	28	2	62	2	49	2	61
普通	1,658	38,508	103	2,312	120	2,767	135	3,008	125	2,741
一般	1,253	42,332	87	2,851	105	5,035	121	3,672	119	3,641
合計	2,963	82,363	193	5,232	231	7,956	261	6,785	251	6,522

※応急手当普及員講習の件数及び受講者数については、普及員再講習の件数及び受講者数を含む。

## 救急活動

### 1 救急活動の概要

平成 26 年中の救急出動件数は 11,106 件で、前年に比べ 417 件 (3.9%) の増、搬送人員は 9,946 人で、前年に比べ 227 人増となり、1 日当りの平均は、出動件数が 30.4 件、搬送人員は 27 人で、これは約 47 分に 1 回の割合で救急車が出動したことになります。

事故種別ごとの出動件数は、急病が 6,912 件で全体の 62.2% を占め、次いで一般負傷 1,511 件で全体の 13.6%、交通事故 1,169 件で全体の 10.5% の順になっております。

派遣型救急ワークステーションによる医師同乗出動件数は 231 件となり、医師による迅速な医療行為が行われました。

\*表中にある事故種別は、次のように区分しています。

火 災・・・火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

自然災害・・・暴風、豪雨等の自然現象に起因する災害による事故をいう。

水 難・・・水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等の事故をいう。

交 通・・・交通機関相互の衝突等若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

労働災害・・・工場等において就業中発生した事故をいう。

運動競技・・・運動競技中に発生した事故をいう。

一般負傷・・・他に分類されない不慮の事故をいう。

加 害・・・故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

自損行為・・・故意に自分自身に傷害等加えた事故をいう。

急 病・・・疾病によるもので救急業務として取り扱ったものをいう。

そ の 他・・・医療機関から医療機関へ搬送されたもの又は災害現場へ医師、看護師等を搬送したものをいう。

不 搬 送・・・傷病者搬送拒否、容態回復等をいう。

\*表中にある傷病者程度は、次のように分類しています。

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの。

中 等 症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。

軽 症・・・傷病の程度が入院を必要としないもの。

そ の 他・・・医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

\*派遣型救急ワークステーション医師同乗出動基準

- ① 心肺蘇生を必要とする傷病者又はこれに準ずる状態の重症傷病者が発生した場合。
- ② 傷病者の救出に相当の時間を要し、医師の救命処置が必要と判断した場合。
- ③ 多数傷病者事故が発生し、医師の救命処置及びトリアージが必要と判断した場合。
- ④ 前号に掲げる場合のほか医師の救命処置が必要と判断した場合。

## 2 救急活動累年比較調

(平成26年中)

事故種別	区分 \ 年別	22	23	24	25	26
	合計	救急件数	9,640	9,882	10,201	10,689
搬送人員		9,022	9,316	9,508	9,719	9,946
火災	救急件数	53	67	60	76	81
	搬送人員	9	12	3	7	4
自然災害	救急件数	-	4	4	1	-
	搬送人員	-	4	2	2	-
水難	救急件数	7	8	4	7	10
	搬送人員	1	4	2	2	3
交通	救急件数	1,388	1,285	1,246	1,234	1,169
	搬送人員	1,405	1,340	1,283	1,231	1,136
労働災害	救急件数	108	118	103	126	138
	搬送人員	106	119	103	122	129
運動競技	救急件数	74	70	73	81	86
	搬送人員	74	71	73	80	86
一般負傷	救急件数	1,203	1,248	1,352	1,329	1,511
	搬送人員	1,132	1,186	1,286	1,246	1,427
加害	救急件数	101	91	94	103	95
	搬送人員	92	85	93	88	80
自損行為	救急件数	164	160	138	172	161
	搬送人員	130	128	109	121	107
急病	救急件数	5,800	6,082	6,363	6,684	6,912
	搬送人員	5,471	5,783	5,960	6,163	6,298
その他	救急件数	742	749	764	876	943
	搬送人員	602	584	594	657	676
不搬送件数		744	720	824	1,085	1,241

※不搬送件数は内数

### 3 月別救急活動調

(平成26年中)

月別	区分	計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	救急件数	11,106	81	-	10	1,169	138	86	1,511	95	161	6,912	943
	搬送人員	9,946	4	-	3	1,136	129	86	1,427	80	107	6,298	676
1	救急件数	957	7	-	-	86	11	2	129	10	14	629	69
	搬送人員	840	-	-	-	83	11	2	119	10	5	560	50
2	救急件数	975	5	-	-	78	14	2	156	13	14	609	84
	搬送人員	865	-	-	-	78	15	2	146	12	10	544	58
3	救急件数	898	7	-	-	76	7	4	115	6	11	571	101
	搬送人員	792	2	-	-	71	6	4	106	4	8	520	71
4	救急件数	820	6	-	1	79	6	9	105	5	9	526	74
	搬送人員	734	1	-	-	80	6	9	103	2	6	474	53
5	救急件数	927	7	-	1	125	15	11	126	3	18	542	79
	搬送人員	841	-	-	-	118	12	11	120	2	14	502	62
6	救急件数	882	6	-	-	89	14	10	126	10	19	522	86
	搬送人員	780	-	-	-	88	13	10	117	9	12	481	50
7	救急件数	940	5	-	-	104	7	9	114	7	16	606	72
	搬送人員	845	-	-	-	96	7	9	111	6	11	553	52
8	救急件数	988	3	-	1	95	18	4	114	15	12	629	97
	搬送人員	879	-	-	-	100	18	4	106	12	8	569	62
9	救急件数	905	10	-	1	98	10	12	130	9	12	554	69
	搬送人員	821	1	-	-	96	9	12	121	9	9	511	53
10	救急件数	877	10	-	6	104	5	10	119	6	6	535	76
	搬送人員	784	-	-	3	100	5	10	114	5	4	486	57
11	救急件数	844	6	-	-	98	12	5	129	4	15	518	57
	搬送人員	766	-	-	-	92	10	5	121	4	10	479	45
12	救急件数	1,093	9	-	-	137	19	8	148	7	15	671	79
	搬送人員	999	-	-	-	134	17	8	143	5	10	619	63

#### 4 署所別救急活動調

(平成26年中)

事故種別	区分 署別	計	厚 木 消 防 署			北 消 防 署		
			本 署	南毛利分署	相川分署	本 署	依知分署	睦合分署
合 計	救急件数	11,106	4,175	1,580	1,173	1,440	1,247	1,491
	搬送人員	9,946	3,688	1,443	1,070	1,305	1,128	1,312
火 災	救急件数	81	27	15	12	8	4	15
	搬送人員	4	1	1	-	2	-	-
自然災害	救急件数	-	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	-	-	-	-	-	-	-
水 難	救急件数	10	4	1	2	1	1	1
	搬送人員	3	1	-	1	1	-	-
交 通	救急件数	1,169	396	154	176	143	151	149
	搬送人員	1,136	388	147	179	133	145	144
労働災害	救急件数	138	35	27	19	15	28	14
	搬送人員	129	33	26	17	13	26	14
運動競技	救急件数	86	24	13	9	18	6	16
	搬送人員	86	24	13	9	18	6	16
一般負傷	救急件数	1,511	590	242	140	212	139	188
	搬送人員	1,427	549	236	137	202	130	173
加 害	救急件数	95	54	7	5	7	11	11
	搬送人員	80	43	6	4	8	10	9
自損行為	救急件数	161	48	23	17	21	20	32
	搬送人員	107	31	16	11	15	12	22
急 病	救急件数	6,912	2,584	940	692	919	837	940
	搬送人員	6,298	2,340	866	631	842	774	845
その他	救急件数	943	413	158	101	96	50	125
	搬送人員	676	278	132	81	71	25	89
不 搬 送 件 数		1,241	509	142	128	144	130	188

※厚木消防署本署は2隊体制

※不搬送件数は内数

## 5 月別覚知別救急件数調

(平成26年中)

月別 覚知別	計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合計	11,106	957	975	898	820	927	882	940	988	905	877	844	1,093
119	10,366	888	914	827	769	846	798	881	923	840	830	800	1050
加入電話	572	51	51	64	38	61	70	44	47	46	36	39	25
東名 専用電話	5	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	1
かけつけ 通報	38	4	5	3	2	3	2	5	3	4	2	-	5
消防 専用電話	25	2	1	1	3	2	3	1	5	2	2	-	3
その他	100	12	4	2	8	14	9	9	8	13	7	5	9

## 6 曜日別救急件数調

(平成26年中)

曜日別	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	11,106	81	-	10	1,169	138	86	1,511	95	161	6,912	943
日	1,567	15	-	1	145	16	36	221	20	18	986	109
月	1,638	9	-	-	158	23	5	210	17	32	1,033	151
火	1,595	3	-	4	170	18	15	222	6	21	968	168
水	1,535	19	-	-	157	27	4	224	11	13	949	131
木	1,465	13	-	5	179	17	2	180	8	23	920	118
金	1,685	12	-	-	202	20	10	211	14	32	1,040	144
土	1,621	10	-	-	158	17	14	243	19	22	1,016	122



## 7 年齢別搬送人員調

(平成26年中)

年齢区分	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,946	4	-	3	1,136	129	86	1,427	80	107	6,298	676
新生児 (生後28日以内)	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	35
乳幼児 (29日以上7歳未満)	526	-	-	-	25	-	-	161	1	-	311	28
少年 (7歳以上18歳未満)	466	-	-	-	138	1	40	74	6	2	186	19
成人 (18歳以上65歳未満)	4,246	2	-	-	823	109	44	404	67	88	2,464	245
高齢者 (65歳以上)	4,670	2	-	3	150	19	2	788	6	17	3,334	349

## 8 傷病程度別搬送人員調

(平成26年中)

傷病程度	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,946	4	-	3	1,136	129	86	1,427	80	107	6,298	676
死亡	128	-	-	1	6	2	-	4	1	12	100	2
重症	769	-	-	1	33	9	1	49	2	15	477	182
中等症	4,454	1	-	-	323	66	40	589	20	45	2,931	439
軽症	4,594	3	-	1	773	52	45	785	57	35	2,790	53
その他	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調

(平成26年中)

傷病程度	計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
合計	9,946	38	526	466	4,246	4,670
死亡	128	-	2	3	30	93
重症	769	4	17	19	262	467
中等症	4,454	29	151	159	1,675	2,440
軽症	4,594	5	355	285	2,279	1,670
その他	1	-	1	-	-	-

10 救急隊員の行った応急処置件数調

(平成26年中)

区分 事故種別	対応 象急 人処 員置	合 計	応急処置												特定行為等				
			小 計	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	血 圧 測 定	血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	心 電 図	そ の 他	小 計	除 細 動	輸 液	気 道 確 保	薬 剤 投 与
合計	9,903	30,324	29,820	149	1,187	4	-	220	1,804	155	9,413	9,703	4,198	2,987	504	29	172	179	124
急病	6,278	19,138	18,726	25	58	3	-	173	1,382	118	5,967	6,132	3,379	1,489	412	25	139	146	102
交通	1,128	3,639	3,628	17	666	-	-	8	50	8	1,110	1,121	133	515	11	1	4	4	2
一般 負傷	1,416	4,105	4,085	71	335	1	-	11	72	15	1,329	1,397	223	631	20	-	7	9	4
その他	1,081	3,442	3,381	36	128	-	-	28	300	14	1,007	1,053	463	352	61	3	22	20	16

※ 特定行為中の気道確保は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して行ったもの。

11 一般市民の行った応急手当件数調

(平成26年中)

事故種別	計	止血	気道確保	人工呼吸	心肺蘇生	その他
合計	1,079	221	59	-	120	679
急病	599	28	49	-	100	422
交通	91	18	2	-	1	70
一般負傷	263	138	5	-	9	111
その他	126	37	3	-	10	76

12 発生地区別救急件数調

(平成26年中)

地区名	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 搬 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	11,106	81	-	10	1,169	138	86	1,511	95	161	6,912	943
小 計	10,886	80	-	9	1,107	135	85	1,486	95	159	6,815	915
厚 木	2,416	21	-	3	187	21	8	345	43	36	1,422	330
依 知	1,494	6	-	5	190	39	6	175	17	29	983	44
睦 合	1,713	13	-	-	190	12	14	224	14	32	1,097	117
荻 野	1,177	5	-	-	92	8	18	179	5	14	782	74
小 鮎	543	1	-	-	49	6	10	80	1	8	364	24
玉 川	299	5	-	-	19	2	4	39	-	1	135	94
南 毛 利	2,127	14	-	-	250	30	12	307	9	32	1,318	155
相 川	662	8	-	1	112	12	10	66	4	4	434	11
緑ヶ丘	208	3	-	-	10	2	-	33	1	1	135	23
宮の里	67	1	-	-	3	-	-	11	-	1	50	1
森の里	180	3	-	-	5	3	3	27	1	1	95	42
小 計	220	1	-	1	62	3	1	25	-	2	97	28
管 外	清 川	155	-	-	23	3	1	24	-	1	77	26
	他 都 市	12	-	-	1	6	-	-	-	-	4	1
東名高速	36	1	-	-	24	-	-	-	-	1	9	1
小田原厚木 道 路	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-
圏 央 道	13	-	-	-	7	-	-	1	-	-	5	-

### 13 時間別救急件数調

(平成26年中)

時間別	計	救 急 事 故 種 別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	11,106	81	-	10	1,169	138	86	1,511	95	161	6,912	943
0~2	568	10	-	-	42	3	-	50	13	11	402	37
2~4	421	1	-	-	18	3	-	45	10	6	310	28
4~6	472	1	-	-	30	1	-	44	10	7	356	23
6~8	740	5	-	1	92	3	-	95	6	13	504	21
8~10	1,201	8	-	2	158	24	7	171	4	12	736	79
10~12	1,260	11	-	5	122	24	23	152	4	18	751	150
12~14	1,232	2	-	1	103	12	25	176	2	19	727	165
14~16	1,193	10	-	-	118	29	14	192	9	19	678	124
16~18	1,171	12	-	1	160	20	6	184	3	15	649	121
18~20	1,139	8	-	-	166	7	4	185	5	15	665	84
20~22	965	9	-	-	88	9	5	118	8	14	648	66
22~24	744	4	-	-	72	3	2	99	21	12	486	45

### 14 消防相互応援件数 (救急)

(平成26年中)

区分	計	横	相	平	綾	海	伊	大	秦	座	愛	清	町
		浜市	模原市	塚市	瀬市	老名市	勢原市	和市	野市	間市	川町	川村	田市
応援	167	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	155	-
東名高速	19	-	-	-	-	5	10	-	4	-	-	-	-
受援	8	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※東名高速応援の件数については、東名高速道路上に出動した厚木市地内の件数（17件）は含めてない。

15 救急支援出動件数

(平成26年中)

出動基準	東名高速道路 小田原厚木道路 圏	国道129号・246号 の上の交通事故	全 (C 疑い P 含む A 症 例)	救急隊到着遅延	集団救急事故	その他			合計	ドクターヘリ要請に伴う 支援出動
						救急隊長の要請	指令係長の判断	重症患者に伴う支援出動		
件数	44	53	319	50	1	64	56	861	1,448	5

16 派遣型救急ワークステーション医師同乗出動

(平成26年中)

月別	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	231	—	—	1	15	5	—	17	1	10	176	6
1月	25	—	—	—	—	—	—	1	1	3	19	1
2月	21	—	—	—	—	—	—	2	—	—	19	—
3月	17	—	—	—	—	1	—	1	—	—	13	2
4月	20	—	—	—	4	—	—	2	—	—	13	1
5月	19	—	—	—	2	1	—	3	—	—	13	—
6月	21	—	—	—	3	—	—	3	—	1	14	—
7月	16	—	—	—	1	—	—	—	—	1	14	—
8月	21	—	—	—	1	—	—	1	—	1	16	2
9月	17	—	—	—	1	1	—	1	—	2	12	—
10月	15	—	—	1	1	—	—	1	—	—	12	—
11月	15	—	—	—	1	1	—	—	—	1	12	—
12月	24	—	—	—	1	1	—	2	—	1	19	—

救

助



## 救助活動の概要

平成26年中の救助出動件数は、125件で前年に比べ12件の増加となっています。事故種別による出動件数は、交通事故が42件、その他の事故が27件、建物等による事故が27件、火災が14件、水難事故が10件、ガス及び酸欠事故が5件の順となっています。

活動件数は、93件で前年に比べ10件の増加（救助出動件数に対する活動件数の率は、74.4%）となっています。また、被救助人員は、102人で前年に比べ24人の増加となっています。交通事故による被救助人員が38人で全体の37.2%を占め、その他の事故による被救助人員は23人で全体の22.5%となっています。

地区別救助出動件数では、6地区が10件以上で、その中でも、南毛利地区が25件で最も多く、全体の20.0%を占め、続いて厚木地区の24件、睦合地区の23件と続いています。

### 1 救助出動状況調

#### (1) 救助出動件数 (平成26年中)

区分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及び 酸欠	その他	計
出動件数	14	42	10	—	27	5	27	125
延べ出動隊員数	546	757	247	—	418	97	436	2,501
活動件数	14	28	5	—	24	5	17	93
延べ活動隊員数	62	167	55	—	143	31	134	592
被救助人員	3	38	5	—	28	5	23	102

#### (2) 地区別救助出動件数 (平成26年中)

区分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	東名	応援等	計
火災	2	—	6	—	2	—	4	—	—	—	14
交通事故	4	5	8	3	3	—	8	5	4	2	42
水難事故	2	2	2	—	—	—	1	—	—	—	10
風水害等自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
建物等による事故	9	3	6	—	1	—	8	—	—	—	27
ガス及び酸欠事故	2	—	1	—	2	—	—	—	—	—	5
その他	5	2	—	4	3	4	4	2	—	3	27
計	24	12	23	7	11	4	25	7	4	8	125

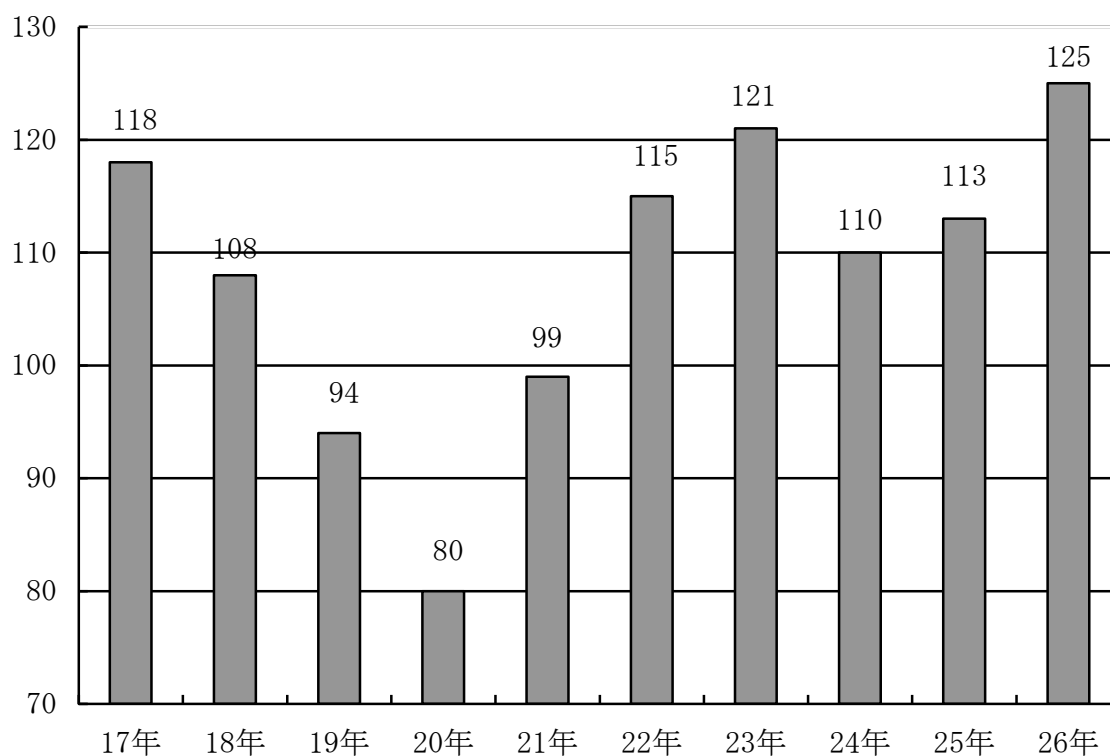
※ 東名の件数については、市内件数を含める。

(3) 消防相互応援件数（救助）

（平成26年中）

区分	応援市町村									
	横浜市	相模原市	海老名市	伊勢原市	座間市	秦野市	愛川町	寒川町	清川村	計
応援	—	—	1	—	1	—	2	—	4	8
東名高速	—	—	1	2	—	1	—	—	—	4
受援	—	—	1	—	1	—	—	—	—	2
東名高速	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 救助出動の推移





## (5) 主な人命救助活動

(平成 26 年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
1月13日	(覚 知) 1時24分 (救 出) 1時45分	ガス及び 酸欠事故	地下駐車場に駐車していた車両内に男性が頭部からビニールを被り応答がなく、また、車内にはガスボンベが積載されていたもの。活動隊員の防護対策を図るとともに、車両周辺の環境測定を実施し、窓ガラスを破壊後、ドアを開放し車外に救出する。	1 簡易防護服 2 可燃性ガス警報器 3 ガラス破壊用ポンチ
8月9日	(覚 知) 11時21分 (救 出) 22時28分	その他の 事故	登山者が山道から約 80 メートル滑落し、身動きが出来なくなったもの。救出のため入山を開始し、約 2 時間後に現場到着する。要救助者を担架に収容し、徒手搬送にて下山を開始し約 4 時間 30 分後に救出する。	1 山岳用担架 2 山岳用ロープ 3 携帯灯光器
11月25日	(覚 知) 16時45分 (救 出) 19時12分	機械によ る事故	建設現場で使用している作業用エレベーターと同シャフト内の天井（7階部分）との間に作業員が取り残されたもの。作業用エレベーターの落下防止を図るとともに、高所活動時の安全対策を徹底し、建設用機材と電動油圧救助器具を併用しシャフト天井部分に開口部を作成し救出する。	1 建設用機材（切断用機材） 2 電動油圧救助器具 3 安全帯

## 2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的としています。

(平成 26 年中)

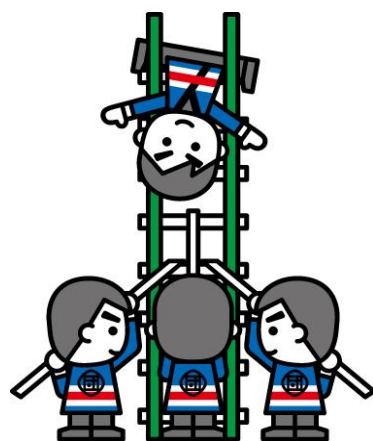
訓練等区分	月 日	場 所	参加 人員	内 容
水難救助合同訓練	5月16日	厚木市岡田4丁目17番東側相模川相模大堰上流	71人	3市・1町(厚木市・海老名市・座間市・愛川町) 合同により、基本・応用・想定訓練を実施
県央都市消防行政協議会緊急消防援助隊派遣部隊合同訓練	10月16日	神奈川県消防学校・総合防災センター	76人	大規模災害における消防相互応援協定に基づく協力体制の強化及び多数傷病者発生による救出訓練を実施
山岳救助合同訓練	12月7日	愛甲郡清川村煤ヶ谷字五葉松5167番1物見隧道周辺	46人	清川村消防団員と合同による山岳地での滑落事故を想定した救出訓練を実施
救助実戦訓練会	12月16日	横浜市消防訓練センター	205人	横浜市特別救助隊、県内消防本部救助隊が連携し大規模地震災害を想定した訓練を実施
火災合同訓練	2月3日	市内事業所	34人	電気設備を有する市内事業所と合同による、火災、救出活動を主体とした訓練を実施

3 救助関係主要機械器具等一覧表

(平成27年4月1日現在)

用途	一般救助用								重量物排除用			
名称	かぎ付はし(一)	三連はし(一)	ワイヤーはし(一)	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	(スプレッダー) 油圧救助器具	救助用油圧ジャッキ
数量	6	15	2	1	3	20	6	21	2	1	4	2
用途	重量物排除用				切断用							
名称	可搬式ウインチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具 (カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター		
数量	7	2	1	5	3	23	1	2	30	12		
用途	測定用				破壊用			呼吸保護用				
名称	(酸素濃度測定器含む) 複合ガス検知器	(ポケット型含む) 放射能測定器	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ポケットタブ	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数量	13	50	3	6	6	3	3	75	5	2	57	
用途	隊員保護用											
名称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	防毒衣		
数量	7	23	11	11	15	5	10	22	74	4		
用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアータント	
数量	10	64	4	4	4	1	1	6	1	5	3	

# 消防団と古式消防保存会



# 消 防 団

## 1 厚木市消防団のあゆみ

江戸時代中期から末期にかけての消防は、火災現場付近の人々が駆けつけて消火にあたる「駄付火消」であった。しかし、組織化されていないため火事が発生する度に、いざこざが絶えなかった。

明治初期、厚木町において、住民が中心となり、一定の人員と火消道具を備え消火技術をもった「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられ、現在の消防団へと発展した。

明治初期  明治27. 2. 9	厚木町に「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられた周囲の村々は「駄付火消」であったが徐々に「消防組」となる 勅令（第15号）により消防組規則設定																												
	各町村の公設消防組設置年月日																												
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">町 村 名</th> <th style="width: 40%;">設置年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>厚木町消防組</td><td>明治28年1月</td></tr> <tr><td>荻野村消防組</td><td>明治28年1月</td></tr> <tr><td>妻田村消防組</td><td>明治37年</td></tr> <tr><td>小鮎村消防組</td><td>大正3年</td></tr> <tr><td>南毛利村消防組</td><td>大正3年</td></tr> <tr><td>及川村消防組</td><td>大正10年</td></tr> <tr><td>相川村消防組</td><td>大正11年</td></tr> <tr><td>三田村消防組</td><td>大正14年</td></tr> <tr><td>棚沢村消防組</td><td>大正14年</td></tr> <tr><td>下川入村消防組</td><td>大正14年</td></tr> <tr><td>林村消防組</td><td>大正14年</td></tr> <tr><td>依知村消防組</td><td>大正2年</td></tr> <tr><td>玉川村消防組</td><td>大正3年</td></tr> </tbody> </table>	町 村 名	設置年月日	厚木町消防組	明治28年1月	荻野村消防組	明治28年1月	妻田村消防組	明治37年	小鮎村消防組	大正3年	南毛利村消防組	大正3年	及川村消防組	大正10年	相川村消防組	大正11年	三田村消防組	大正14年	棚沢村消防組	大正14年	下川入村消防組	大正14年	林村消防組	大正14年	依知村消防組	大正2年	玉川村消防組	大正3年
町 村 名	設置年月日																												
厚木町消防組	明治28年1月																												
荻野村消防組	明治28年1月																												
妻田村消防組	明治37年																												
小鮎村消防組	大正3年																												
南毛利村消防組	大正3年																												
及川村消防組	大正10年																												
相川村消防組	大正11年																												
三田村消防組	大正14年																												
棚沢村消防組	大正14年																												
下川入村消防組	大正14年																												
林村消防組	大正14年																												
依知村消防組	大正2年																												
玉川村消防組	大正3年																												
明治28. 1 大正11. 大正12. 4 昭和3.	厚木町消防組で、米国製の吸管付手押ポンプ購入 厚木町消防組第4部（天王町）で、横浜市から中古の蒸気ポンプを購入 厚木町消防組第2部（本町）で、手引ガソリンポンプ（30馬力）購入 昭和3年11月、昭和天皇即位の御大典の挙行に当たり、御大典記念事業として、消防施設の整備が行われた 厚木町消防組第4部（天王町）消防ポンプ自動車（30馬力）1台購入 第7部（旭町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入 第2部（本町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入 厚木神社前に防火井戸を設置 荻野村消防組で村内主要箇所貯水池12基設置 玉川村消防組で火の見櫓を3基設置																												
昭和8. 12	厚木町消防組では、消防ホースの接手をねじ式から町野式にした																												

昭和14. 1. 24	勅令（第20号）により「警防団令」が発令された。この令により各町村の警防団は4月1日から発足することになり、明治27年勅令に基づく「消防組規制」によって誕生し、さらに発展してきた各町村の消防組も「消防組規制」の廃止とともに「防空、水火災消防その他の警防に従事」する警防団に改組され、戦時体制に協力することになる
昭和22. 4. 30	勅令（第185号）「消防団令」が制定公布され、従来の警防団は廃止
昭和22. 12. 23	法律（第226号）「消防組織法」が施行され、従来、警察に属していた消防は完全に分離独立し、消防は市町村の責任に移り、市町村長がこれを管理することになる
昭和30. 2. 1	町村合併促進法に基づき、厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村を合併して厚木市が発足、同時に厚木市消防団を設置 初代消防団長 木下信勝 氏就任 (1) 組織 団長以下613名（12個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 21台 手引動力ポンプ 6台
昭和30. 7. 8	依知村、相川村を合併、これらの消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下865名（16個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 34台 手引動力ポンプ 8台
昭和31. 8. 15	2代目消防団長 新戸裕治 氏就任
昭和31. 9. 30	荻野村を合併、荻野村消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下975名（18個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 8台
昭和32. 6. 11	消防団員等公務災害補償責任共済に加入
昭和33. 2. 1	3代目消防団長 山本総三郎 氏就任
昭和33. 4. 1	4代目消防団長 向島孝秋 氏就任 組織改革により団長以下1,010名とする
昭和35. 4. 1	常備隊発足計画により消防団の縮小を実施 (1) 組織 団長以下618名（18個分団）
昭和37. 1. 7	消防団と消防常備隊の出初め式を厚木市総合グラウンドで挙
昭和39. 4. 1	消防団組織改革により団長以下555名（8個分団） 中型消防自動車2台、オート三輪車搭載可搬ポンプ3台を新たに配置し、少数精鋭とした
昭和39. 6. 30	消防団員退職報償金支給責任共済に加入
昭和40. 10. 17	第1回消防団員家族慰安会を実施
昭和46. 6. 1	消防団の組織改革を実施 (1) 組織 8個分団 52個部 団長以下564名
昭和49. 10. 12	第1回消防団分団別対抗ソフトボール大会を実施

昭和51.	4 . 1	5 代目消防団長 吉村博 氏就任
昭和53.	4 . 29	元副団長 平井實 氏 昭和53年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55.	4 . 29	元分団長 片倉三衛 氏 昭和55年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55.	7 . 30	第1回消防団員健康診断を実施
昭和55.	8 . 1	消防団出動区分の見直しを実施
昭和56.	4 . 1	消防団員福祉共済に加入
昭和56.	4 . 29	元分団長 井上泰一 氏 昭和56年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和57.	4 . 1	6 代目消防団長 小泉阿栗 氏就任
昭和57.	11 . 3	元団長 吉村博 氏 昭和57年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和59.	4 . 1	7 代目消防団長 小瀬村初男 氏就任
昭和59.	10 . 24	消防団再編成小委員会を設置し、今後の消防団組織を検討
昭和60.	8 . 11	第1回厚木市消防団消防操法大会を実施
昭和61.	9 . 1	第7回6都県市合同防災訓練開催
昭和62.	4 . 29	元副団長 飛川正春 氏 昭和62年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和63.	4 . 1	消防団再編成小委員会の答申に基づき消防団組織を改正し、本部付団員を解消し各分団へ再配置した
昭和63.	11 . 3	8 代目消防団長 和田美正 氏就任 元分団長 大塚喜代忠 氏 昭和63年秋の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成元.	11 . 3	元分団長 浅岡昭二 氏 平成元年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成2.	10 . 14	第1回厚木市消防団員家族運動会を実施
平成3.	4 . 29	元分団長 堀池勲 氏 平成3年春の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成3.	8 . 13	9 代目消防団長 関野靖穂 氏就任
平成3.	8 . 26	厚木市消防団訪中 (揚州市)
平成4.	9 . 27	厚木市消防団訪中 (揚州市)
平成5.	4 . 29	元団長 小泉阿栗 氏 平成5年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成6.	4 . 1	10代目消防団長 萩原隆行 氏就任
平成6.	4 . 29	元分団長 成瀬佳三 氏 平成6年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成7.	4 . 29	元分団長 坂本榮一 氏 平成7年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成9.	4 . 29	元団長 関野靖穂 氏 平成9年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成11.	4 . 29	元分団長 青木鐵雄 氏 平成11年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る

平成14.	4 . 1	11代目消防団長 森久保純生 氏就任
平成15.	1 . 22	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信運用開始
平成15.	3	服制準則に準拠した冬作業服の更新
平成15.	2 . 7	日本消防協会特別表彰「まとい」受章
平成15.	12	団活動環境の改善として防寒衣を新規導入
平成16.	12 . 16	団活動環境の改善として防火帽を更新
平成17.	4 . 1	女性消防団員任用のため厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例を施行し、定員を579人に改定する。
平成17.	7 . 1	本市初の女性消防団員任用 (20名)
平成17.	11 . 20	市制50周年記念 第1回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成18.	2 . 24	消防団地域活動表彰受賞
平成18.	4 . 1	12代目消防団長 森屋昭一 氏就任
平成18.	4 . 29	元副分団長 北條正博 氏 平成18年春の消防関係生存者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成18.	11 . 19	第2回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成19.	11 . 18	第3回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成20.	4 . 1	下川入第1・2・3自治会が睦合北地区自治会連絡協議会から依知北地区自治会連絡協議会へ所属が変更となったことに合わせて、厚木市消防団第3分団第6部を第2分団第10部に変更
平成20.	11 . 16	第4回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成21.	11 . 15	第5回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成22.	1 . 18	元副分団長 井上一男 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	3 . 1	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成22.	4 . 1	13代目消防団長 堀池春夫 氏就任
平成22.	11 . 3	元消防団長 萩原隆行 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	11 . 7	あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成23.	4 . 1	厚木市消防団協力事業所表示制度を制定
平成23.	11 . 6	第2回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成24.	11 . 9	厚木市消防団協力事業所表示証交付式を挙行
平成24.	11 . 11	第3回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成25.	4 . 29	元副分団長 小泉勝敏 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成25.	11 . 10	第4回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成26.	4 . 1	14代目消防団長 井上衛 氏就任
平成26.	11 . 9	第5回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成27.	3 . 15	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成27.	3 . 30	団活動環境の改善として防火衣一式を更新



## 2 消防団事務

### (1) 公務災害補償

平成 26 年度中の補償状況 消防団員 0 人

### (2) 退職消防団員に対する報償

平成 26 年度中の退職消防団員は 6 人であり、5 年未満勤務の退団者 6 人には、礼状と記念品をそれぞれ贈り、その労をねぎらいました。

### (3) 表彰

ア 消防庁長官		
永年勤続功労章	1	人
イ 神奈川県知事		
勤続章(30年)	4	人
勤続章(20年)	13	人
ウ 厚木市消防団長		
功績表彰	43	人
功労表彰	9	人
分団表彰	1	分団
部表彰	7	個部
エ 日本消防協会長		
功績章	1	人
精績章	1	人
勤続章(30年)	3	人
エ 神奈川県消防協会長		
功績章	6	人
勤続章(20年)	10	人
オ 厚木市表彰条例に基づく表彰		
一般表彰	44	人

### (4) 消防団員教養訓練等

消防団幹部研修	1	人(6月)
消防団副団長研修	1	人(7月)
消防団員指導員研修	1	人(10月)
消防団員幹部教育「指揮幹部科」	1	人(10月)
消防団員指導者講習	9	人(11月)
消防団員幹部候補研修	1	人(12月)
消防団幹部地震対策特別講習	3	人(12月)
団員専科教育「機関科」	4	人(1月)
消防団長・副団長研修会	3	人(2月)
消防団分団長特別研修	1	人(2月)



### 3 福利厚生

#### 消防団員健康診断

過酷な消防業務に携わる団員の日常における健康状態を把握するため、自営業者、健康診断を実施していない事業所等に勤務されている団員を対象とした健康診断（診察、身体計測、尿検査、血液検査、心電図、胸部レントゲン）を平成26年8月に実施した。

受診者 67人

### 4 消防操法

#### 第49回神奈川県消防操法大会

実施日 平成26年7月30日（水）  
実施場所 神奈川県消防学校屋外訓練場  
成績 小型ポンプ操法の部 優良賞 第4分団



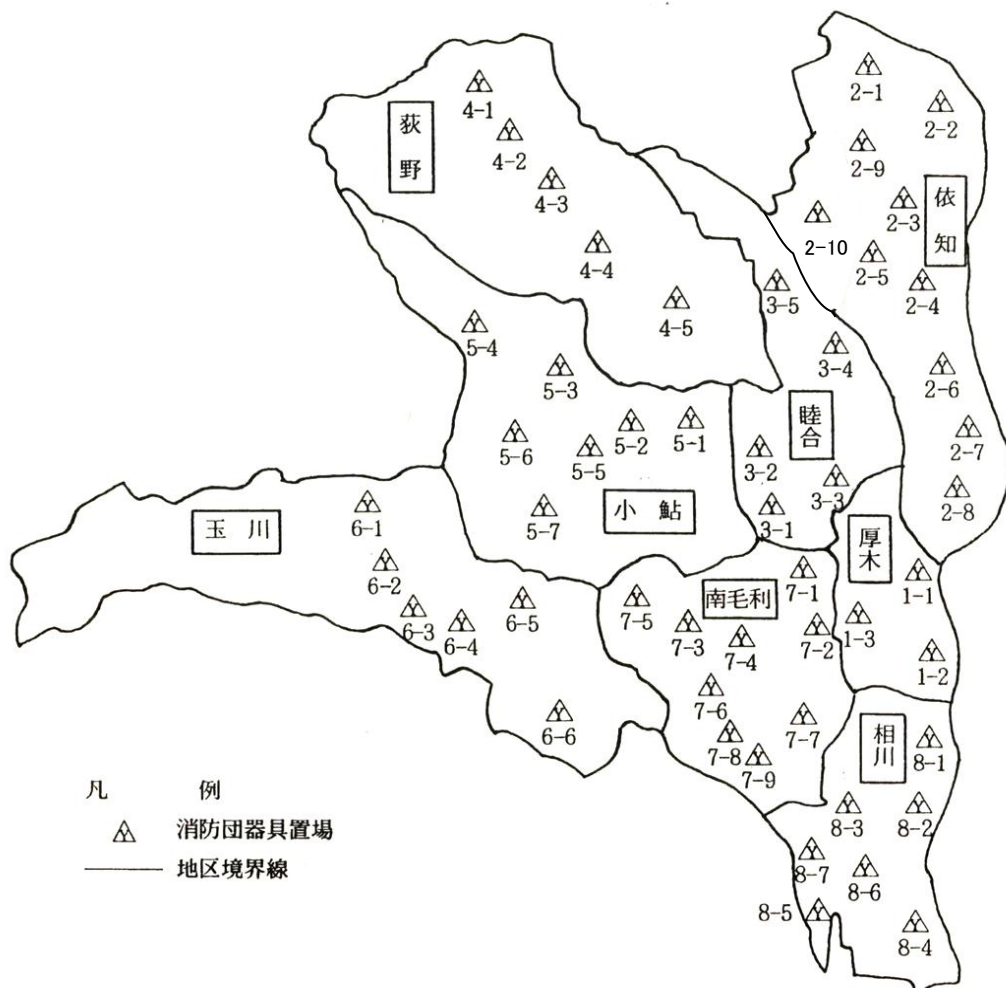
## 5 消防団組織と現勢

消 防 団 員 …………… 定員579名、実員557名  
 団 ・ 分 団 ・ 部 数 …………… 1 団、8 個分団、52個部  
 小型動力ポンプ付積載車 …………… 52 台

(平成27年4月1日現在)

階 級 と 実 員								ポンプ台数	
団	副	分	副	部	副	団	計	消	積
長	長	団	分	長	部	員		防	載
		長	団	長	長			ポ	小
								ン	型
								プ	動
								ン	力
								付	ポ
								積	ン
								載	プ
								車	付
								台	台
1	2	8	8	52	52	434	557	-	52
1	2	-	-	-	-	11	14	-	-
-	-	1	1	3	3	36	44	-	3
-	-	1	1	10	10	77	99	-	10
-	-	1	1	5	5	40	52	-	5
-	-	1	1	5	5	41	53	-	5
-	-	1	1	7	7	56	72	-	7
-	-	1	1	6	6	49	63	-	6
-	-	1	1	9	9	69	89	-	9
-	-	1	1	7	7	55	71	-	7

## 6 消防団施設配置図



## 7 産業別消防団員調

(平成27年4月1日現在)

区分 総数等	農	林	水	鉱	建	製	飲食店・小売業・卸売業	金	不	運	電	サ	公	そ
	業	業・狩猟業	産養殖業	業	設業	造業		融・保険業	動産業	輸・通信業	気・ガス・水道業	ービス業	務	の他
557	19	-	-	-	74	104	54	54	9	40	15	80	65	43
(率)	3.4	-	-	-	13.3	18.7	9.7	9.7	1.6	7.2	2.7	14.4	11.7	7.7

## 8 消防団員退職状況

区分 年度別	計	在職年数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
19	106	30	30	34	10	2	-	-
20	9	7	1	1	-	-	-	-
21	84	20	22	25	10	4	2	1
22	10	3	6	-	-	1	-	-
23	75	18	20	23	9	3	1	1
24	6	4	1	1	-	-	-	-
25	81	10	12	25	14	15	-	5
26	6	6	-	-	-	-	-	-

## 9 退職報償金年度別及び階級別支払状況

(単位：円)

区分		年度別					
		21	22	23	24	25	26
団 長	人員	1	-	-	-	1	-
	金額	929,000	-	-	-	929,000	-
副 団 長	人員	-	-	-	-	1	-
	金額	-	-	-	-	484,000	-
分 団 長	人員	6	-	1	-	3	-
	金額	2,775,000	-	799,000	-	1,625,000	-
副分団長	人員	-	-	-	-	3	-
	金額	-	-	-	-	1,525,000	-
部 長	人員	27	2	11	-	31	-
	金額	6,885,000	308,000	2,916,000	-	9,749,000	-
副 部 長	人員	5	-	4	-	9	-
	金額	1,082,000	-	1,007,000	-	2,849,000	-
団 員	人員	25	5	41	2	23	-
	金額	4,230,000	935,000	8,591,000	377,000	4,437,000	-
合 計	人員	64	7	57	2	71	0
	金額	15,901,000	1,243,000	13,313,000	377,000	21,598,000	0

※退職報償金は、5年以上在職し、消防団活動を続けて退職した場合に、その労苦に報いるため、支給することになっています。

## 10 階級別年齢調

(平成27年4月1日現在)

階 級 年 齢	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	長	団	分	長	部	長
合 計	557	100.0	1	2	8	8	52	52	434
20歳未満	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳以上25歳未満	7	1.3	-	-	-	-	-	-	7
25歳以上30歳未満	30	5.4	-	-	-	-	-	-	30
30歳以上35歳未満	75	13.5	-	-	-	-	1	8	66
35歳以上40歳未満	109	19.6	-	-	-	-	7	11	91
40歳以上45歳未満	152	27.3	-	-	1	-	22	16	113
45歳以上50歳未満	114	20.5	-	1	2	7	15	13	76
50歳以上55歳未満	42	7.5	-	-	1	1	3	4	33
55歳以上	28	5.0	1	1	4	-	4	-	18
平 均	41.2	-	62.0	53.0	52.9	46.9	44.4	41.5	40.4

## 11 階級別勤務年数調

(平成27年4月1日現在)

階級 年数	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	団 長	団 長	分 団 長	長	部 長	員
合 計	557	100.0	1	2	8	8	52	52	434
5 年 未 満	161	28.9	-	-	-	-	1	2	158
5 年 以 上 10 年 未 満	215	38.6	-	-	-	-	22	27	166
10 年 以 上 15 年 未 満	89	16.0	-	-	1	2	15	16	55
15 年 以 上 20 年 未 満	65	11.7	-	-	3	3	11	5	43
20 年 以 上 25 年 未 満	14	2.5	-	1	1	3	2	1	6
25 年 以 上 30 年 未 満	10	1.7	1	1	1	-	-	1	6
30 年 以 上	3	0.5	-	-	2	-	1	-	-
平 均	8.3	-	29.0	24.0	21.8	18.1	11.9	9.9	7.1

## 12 消防団員年度別公務災害発生状況

年 度 別	区 分	負 傷 時 の 状 況									治 療 期 間		
		総 数	火 災	水 災	訓 練	特 別 警 戒	点 検 整 備	警 防 調 査	救 急	そ の 他	1 週 間 未 満	1 ヶ 月 未 満	1 ヶ 月 以 上
21	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	3	1	-	2	-	-	-	-	-	2	1	-
22	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
23	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
24	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
26	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 13 消防団員報酬

(平成27年4月1日現在)  
(単位：円)

階級 報酬	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	団員
年額	115,000	100,500	80,500	54,500	49,500	40,500	39,500

### 14 消防団員費用弁償

(平成27年4月1日現在)  
(単位：円)

種別	火災	水防	その他の災害	警戒	訓練
出動1回につき	3,400	3,400	3,400	2,700	2,700

### 15 消防団出動状況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

区分	出動別	合計	火災	風水害	訓練・演習	特別警戒等	その他	管外応援
		件数	286	57	16	96	51	65
計	人員	6,014	938	398	1,702	1,624	1,344	8
本団	件数	35	16	2	9	2	6	-
	人員	119	48	6	27	6	32	-
1分団	件数	32	7	1	6	6	12	-
	人員	727	146	30	108	143	300	-
2分団	件数	35	9	2	6	6	11	1
	人員	952	186	55	188	262	253	8
3分団	件数	35	10	3	6	6	10	-
	人員	741	148	90	125	160	218	-
4分団	件数	55	3	2	38	5	7	-
	人員	938	15	58	612	151	102	-
5分団	件数	28	2	1	7	11	7	-
	人員	604	38	29	167	267	103	-
6分団	件数	22	2	2	9	5	4	-
	人員	559	47	34	153	205	120	-
7分団	件数	26	7	1	8	5	5	-
	人員	941	301	50	167	245	178	-
8分団	件数	18	1	2	7	5	3	-
	人員	433	9	46	155	185	38	-

※災害件数については、1災害に対して複数の分団が出動している災害も含んでいます。

16 消防団施設一覽表

(平成27年4月1日現在)

器 具 置 場								ホ ー ス 乾 燥 塔						
分団	部	所在地	延(占有)面積 (㎡)	器具置場面積 (㎡)	待機室面積 (㎡)	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ (m)	設置年月	サイレン	防災無線
1	1	東町8-10	83.19	29.25	53.94	昭和58年3月	鉄骨造2階 カラー石綿スレート葺	東町8-10	鉄骨	1	13	昭和58年3月	有	無
	2	旭町3-14-4	53.98	30.00	23.98	平成5年3月	鉄筋コンクリート造 1階の一部	旭町3-14-4	鉄骨	1	12	平成5年3月	有	無
	3	水引1-1-3	78.00	39.00	39.00	平成17年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	水引1-1-3	鋼管	1	12	平成17年2月	有	無
2	1	上依知290-2	50.92	28.98	21.94	昭和61年10月	木造平屋 カラー鉄板葺	上依知290-2	コンクリート	1	12	昭和61年10月	有	無
	2	猿ヶ島199-2	47.78	28.13	19.65	昭和60年2月	木造平屋 カラー鉄板葺	猿ヶ島83-2	鉄骨	4	13	昭和35年7月	有	有
	3	山際982-2	49.89	27.41	22.48	昭和60年11月	鉄骨造2階 複合施設	山際982-2	コンクリート	1	12	昭和60年11月	有	無
	4	関口31	76.23	36.12	40.11	平成16年3月	鉄骨造2階 複合施設	関口31	コンクリート	1	12	平成16年3月	有	無
	5	関口305-4	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	関口305-4	コンクリート	1	12	昭和61年8月	有	有
	6	中依知661-6	57.96	28.98	28.98	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中依知661-6	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	無
	7	下依知902	48.02	24.84	23.18	昭和63年3月	木造2階 カラー鉄板葺	下依知902	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	8	金田685-3	50.51	28.98	21.53	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	金田685-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	有
	9	山際805-4	100.80	45.00	55.80	平成12年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	山際805-4	コンクリート	1	12	平成12年1月	有	無
	10	下川入1366-3	66.24	33.12	33.12	平成4年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	下川入1366-3 下川入1005-3	コンクリート 鉄骨	1 4	12 15	平成4年3月 昭和30年4月	有 有	無 有
3	1	林3-8-52	92.75	34.43	58.32	平成2年2月	鉄骨造2階 カラー石綿コロニアル葺	林3-8-52	鋼管	1	12	平成15年9月	有	無
	2	及川473-3	73.71	35.65	38.06	平成10年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	及川473-3	コンクリート	1	12	平成10年2月	有	有
	3	妻田西2-6-16	79.92	38.88	41.04	平成18年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	妻田西2-6-16	鋼管	1	12	平成18年12月	有	無
	4	三田2727-2	75.60	37.80	37.80	平成21年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	三田2727-2	鋼管	1	12	平成21年12月	有	無
	5	棚沢1593-6	75.75	34.97	40.78	平成13年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	棚沢1593-6	コンクリート	1	12	平成13年2月	有	有



		器 具 置 場					ホ ー ス 乾 燥 塔								
分団	部	所在地	延(占有)面積(m <sup>2</sup> )	器具置場面積(m <sup>2</sup> )	待機室面積(m <sup>2</sup> )	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線	
4	1	上荻野1325-2	52.92	26.46	26.46	平成3年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	上荻野1325-2	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無	
	2	上荻野1203-2	43.05	23.18	19.87	昭和59年3月	木造2階 カラー鉄板葺	上荻野1203-2	コンクリート	1	12	昭和59年3月	有	無	
	3	上荻野36-1	43.05	23.18	19.87	昭和59年3月	木造2階 カラー鉄板葺	北 消 防 署 兼 用							
	4	中荻野743-7	93.57	48.03	45.54	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中荻野743-7	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	有	
	5	下荻野773-2	72.78	34.90	37.88	平成8年12月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	下荻野773-2	コンクリート	1	12	平成8年12月	有	無	
5	1	飯山272-5	80.40	40.20	40.20	平成3年3月	木造2階 石綿スレート葺	飯山272-5	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無	
	2	飯山1228-3	46.37	26.50	19.87	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山1228-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	無	
	3	飯山4586-5	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山4586-5	コンクリート	1	12	昭和61年3月	有	有	
	4	飯山5100-1	53.80	26.90	26.90	昭和62年8月	木造2階 カラー鉄板葺	飯山5100-1	鉄 骨	4	12	昭和44年1月	有	有	
	5	飯山3141-9	79.50	34.78	44.72	平成2年1月	木造2階 石綿スレート葺	飯山3141-9	コンクリート	1	12	平成2年1月	有	無	
	6	上古沢77-2	43.05	23.18	19.87	昭和59年2月	木造2階 カラー鉄板葺	上古沢77-2	コンクリート	1	12	平成11年2月	有	有	
	7	下古沢328-1	45.95	23.18	22.77	平成元年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	下古沢328-1	コンクリート	1	12	平成元年3月	有	有	
6	1	七沢1274	79.92	38.88	41.04	平成20年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1274	鋼 管	1	12	平成20年12月	有	無	
	2	七沢1523-7	51.34	28.98	22.36	昭和59年2月	木造2階 カラー鉄板葺	玉 川 分 署 兼 用							
	3	七沢199-8	76.33	26.08	50.25	平成元年2月	鉄骨一部木造2階 石綿スレート葺	七沢199-8	コンクリート	1	12	平成元年2月	有	無	
	4	小野839-1外	83.72	41.86	41.86	平成9年2月	木造2階 亜鉛メッキ鋼葺	小野839-1	コンクリート	1	12	平成9年2月	有	無	
	5	小野2161-1	53.82	28.98	24.84	昭和60年3月	木造2階 カラー鉄板葺	小野2161-1	コンクリート	1	12	昭和60年3月	有	有	
	6	岡津古久878-11	79.70	39.85	39.85	平成27年1月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	岡津古久878-11	鋼 管	1	12	平成27年1月	有	無	

器 具 置 場							ホ ー ス 乾 燥 塔							
分 団	部	所 在 地	延 (占有) 面積 (㎡)	器具置場 面積 (㎡)	待機室 面積 (㎡)	設置年月	構 造	所 在 地	構 造	脚数	高さ (m)	設置 年月	サイレン	防災無線
7	1	戸室2-5-17	60.48	30.24	30.24	平成4年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	戸室2-5-17	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無
	2	恩名3-4-25	48.86	28.99	19.87	昭和59年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	恩名3-4-25	コンクリート	1	12	昭和59年2月	有	無
	3	温水西2-2-20	43.89	25.26	18.63	昭和47年11月	木造平屋 カラー鉄板葺	温水1681-1	鋼 管	1	14.5	平成15年2月	有	有
	4	温水612	49.68	24.84	24.84	昭和63年3月	鉄骨造2階 複合施設	温水612	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	5	愛名36-8	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	愛名36-8	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無
	6	長谷1574-3	43.92	24.16	19.76	昭和62年8月	鉄骨造2階 複合施設	南 毛 利 分 署 兼 用						
	7	船子1250-2	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	船子1250-2	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無
	8	愛甲西1-3-5	75.92	34.39	41.53	平成11年1月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	愛甲西1-3-5	コンクリート	1	12	平成11年1月	有	有
	9	愛甲東2-8-2	46.74	23.19	23.55	昭和62年9月	木造2階 カラー鉄板葺	愛甲東2-8-2	鉄 骨	4	12	昭和50年3月	有	有
8	1	岡田4-19-16	53.82	28.98	24.84	昭和59年10月	木造2階 カラー鉄板葺	岡田4-19-16	鉄 骨	4	16	昭和41年2月	有	有
	2	酒井2090-8	80.38	39.95	40.43	平成5年3月	木造2階 ガルバリウム鋼板葺	酒井2090-8	コンクリート	1	12	平成5年3月	有	無
	3	酒井940-1	75.67	37.17	38.50	平成14年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	酒井940-1	コンクリート	1	12	平成14年2月	有	無
	4	戸田1202-3	62.10	33.12	28.98	平成6年3月	木造平屋 亜鉛メッキ葺	戸田1202-3	コンクリート	1	12	平成6年3月	有	有
	5	長沼160-2	46.37	23.19	23.18	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	長沼160-2	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	6	下津古久716-3	48.02	26.49	21.53	昭和61年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	下津古久716-3	コンクリート	1	12	昭和61年12月	有	無
	7	上落合555-2	81.14	39.89	41.25	平成17年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上落合555-2	鋼 管	1	12	平成17年12月	有	無

17 消防団車両保有状況

(平成27年4月1日現在)

分団	部	車両番号	型式	購入年月	ポンプ性能		
					社名	馬力	級別
1	1	相模800す5003	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す5004	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800さ1674	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
2	1	相模800す866	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模88た7372	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	3	相模88た5310	ニッサン GB-SK2F23	平成8年12月	トーハツ	37	B 3
	4	相模800す4185	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800さ3972	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ9166	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	7	相模88た7371	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	8	相模800さ1675	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800す1890	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	10	相模800す1891	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
3	1	相模800す867	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800す5755	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5761	ニッサン PDG-SZ5F24	平成22年2月	マキタ沼津	43	B 2
	4	相模800さ3973	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	5	相模800す4186	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
4	1	相模800さ6011	ニッサン KG-SR8F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800さ7546	ニッサン GE-SH4F23	平成15年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800さ1676	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模88た7374	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	5	相模88た9465	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	購 入 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
5	1	相模800す1892	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800さ9167	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	3	相模88た9464	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模800す7818	ニッサン CBF-SQ2F24	平成25年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す605	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6012	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800す5756	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
6	1	相模800す5005	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す4187	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800さ7116	ニッサン KG-SR8F23改	平成14年9月	トーハツ	46	B 3
	4	相模88た5311	ニッサン GB-SK2F23	平成8年12月	トーハツ	37	B 3
	5	相模88た7373	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	6	相模800す604	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
7	1	相模800す1893	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800す5757	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5006	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す9397	ニッサン GBF-SQ2F24	平成27年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す3118	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6013	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800さ9168	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	8	相模800さ1677	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800さ9102	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	購 入 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
8	1	相模800す4188	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ6014	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800す9361	いすゞ TKG-NHS85AN	平成27年3月	トーハツ	62	B 2
	4	相模800す3119	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	62	B 2
	5	相模800す1894	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800す5758	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	7	相模800さ9169	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

小型動力ポンプ付積載車 52台

## 18 水防・資材倉庫施設一覧表

(平成27年4月1日現在)

名 称		所 在 地	延(占有) 面積(m <sup>2</sup> )	設 置 年 月	構 造
水 防 倉 庫	厚木水防倉庫	旭町3丁目14番4号	25.90	平成5年3月	鉄筋コンクリート
	依知水防倉庫	中依知661番6	26.50	平成2年3月	木造カラー石綿葺
	林水防倉庫	林3丁目1567番先	33.12	昭和54年4月	木造亜鉛葺
	睦合水防倉庫	三田2727番地2	29.40	平成21年12月	鉄骨造ガルバリウム鋼板葺
	荻野水防倉庫	上荻野1203番地2	34.78	昭和59年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	小鮎水防倉庫	飯山1433番地1	33.12	昭和57年3月	木造亜鉛葺
	玉川水防倉庫	小野2161番地	39.74	昭和60年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	南毛利水防倉庫	温水612番地	31.05	昭和63年3月	鉄骨造
	相川水防倉庫	戸田366番地1	45.54	昭和63年1月	鉄骨造
資 材 倉 庫	関口資材倉庫	関口31番地	100.00	平成16年3月	鉄骨造カラー鉄板
	毛利台資材倉庫	毛利台1丁目28番8号	31.10	昭和62年12月	鉄骨造炭酸マグネシウム板
	荻野資材倉庫	下荻野1071番地4	39.74	昭和58年3月	プレハブ平屋造カラー鉄板

# 厚木鳶職組合 古式消防保存会

## 1 古式消防保存会のあゆみ

厚木市鳶職組合によって創設された古式消防保存会は、惜しまれる古式消防のしきたりを後継者に引継ぎ、消防昔日の姿を保存することを目的に、昭和45年5月9日に会員59人を以て結成された。

現在は、年頭における消防出初め式をはじめ、各種福祉施設等に出向き、木遣り歌はしご乗りの勇姿を披露、大勢の方々から大きな期待が寄せられている。

古式消防保存会歴代会長

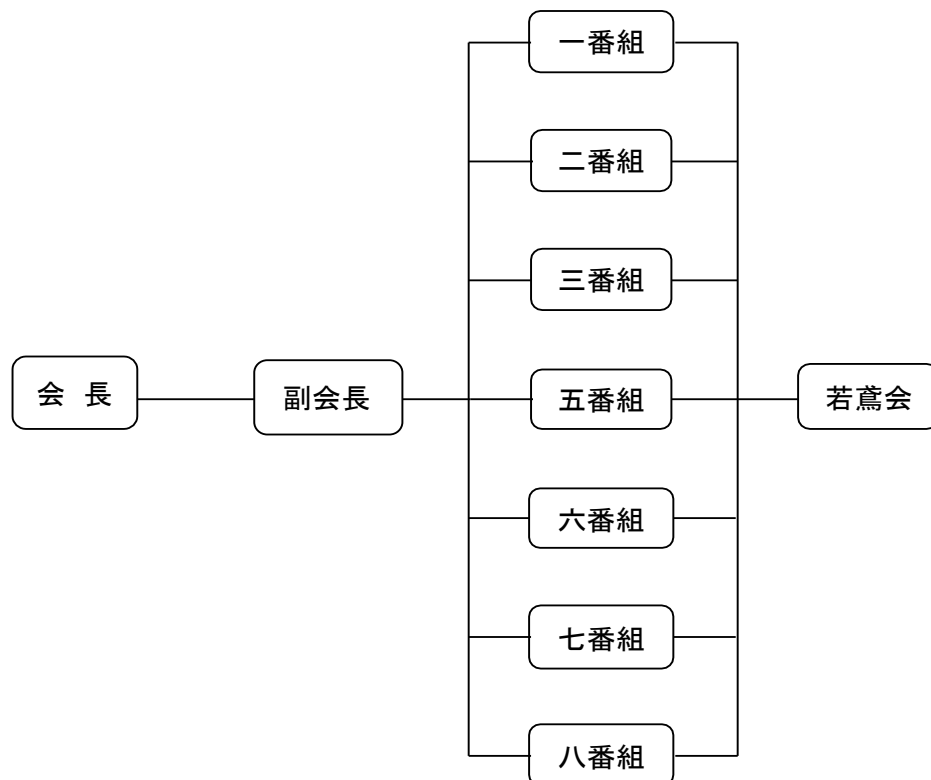
就任日	会 長 名		
昭和45. 5. 9	初代会長	飯島 正治	氏
昭和49. 3. 15	2代目会長	石井 倉造	氏
昭和53. 4. 1	3代目会長	桐生 高雄	氏
平成元. 4. 1	4代目会長	井上 忠雄	氏
平成3. 4. 1	5代目会長	小池 高利	氏
平成5. 4. 1	6代目会長	加藤 邑夫	氏
平成7. 4. 1	7代目会長	小池 高利	氏
平成13. 4. 1	8代目会長	中村 直二	氏
平成17. 4. 1	9代目会長	栗原 幸男	氏
平成25. 4. 1	10代目会長	森屋 知之	氏

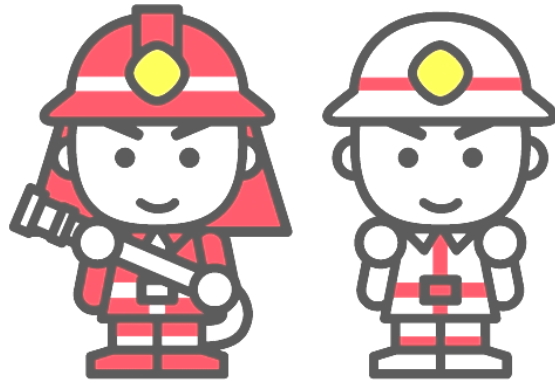


※厚木鳶職組合は、昭和39年に初代組合長である内田石松氏と組合員19人で結成された。

その後、2代目組合長として関野保治氏（昭和41年就任）、3代目組合長として森屋種治氏（昭和43年就任）が組織の拡大に尽力を注ぎ、4代目組合長として飯島正治氏（昭和45年就任）が就任した際に、古式消防保存会が創設された。

## 2 組織図





平成 27 年版

## 消 防 年 報

平成 27 年 8 月

編集発行 厚木市消防本部 消防総務課 消防総務係  
神奈川県厚木市寿町 3 丁目 4 番 10 号  
電話 046-223-9366(直通)  
FAX 046-223-8251  
<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp>

表紙の写真は、北消防署依知分署高規格救急自動車  
(平成 27 年 3 月 4 日更新)

# 無防備な 心に火災が かくれんぼ

(平成 27 年度 全国統一防火標語)

